

第七十九回帝國議會
衆議院

日本勸業銀行法中改正法律案外五件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十七年二月六日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君

理事小笠原八十美君 理事深澤 吉平君

理事石坂 豐一君

岡本實太郎君

庄司 一郎君

羽田武嗣郎君

三木 武夫君

吉植 庄亮君

川俣 清音君

西尾 末廣君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 森山 鏡一君

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省主税局長 松隈 秀雄君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省會社部長 田中 豐君

大藏書記官 中村 建城君

大藏書記官 樺田 光男君

大藏書記官 池田 勇人君

國民貯蓄獎勵局長 氏家 武君

燃料局長官 楠瀬 常猪君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

農工銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

北海道殖産銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

出、貴族院送付)

稅務代理士法案(政府提出、貴族院送付)

社債等登錄法案(政府提出、貴族院送付)

會計法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)

付)

○由谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、尙

ホ御打合せノ意味デ申上ゲマスガ、委員諸

君カラ大藏大臣ニ質問ノ御希望モアルヤウ

デスガ、是ハ本日散會マデニ交渉致シマシ

テ、大藏大臣ノ出席シ得ル日ト時間ヲ決メ

マシテ、サウシテ其ノ時ニ集中ノ各委員

諸君カラ質問シテ貰ハウト云フ建前デ行キ

タイト思ヒマスカラ、御承知置キ願ツテ置

キマス、是ヨリ質疑ニ入リマス——川俣清

音君

○川俣委員 大體要點ダケヲ御尋ネ致シタ

イト思ヒマス、先ヅ第一ニ興業銀行、勸業

銀行、農工銀行、此ノ三銀行ノ金融進出ノ

部面ヲ如何ニ區別サレ、又其ノ分野ヲ如何

ニ活動セシムルカト云フコトガ將來問題デ

アラウト思ヒマスノデ、其ノ指導サレル心

組ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○節田政府委員 只今ノ御尋ネハ興業銀行、

勸業銀行、農工銀行等ニ付テ、將來ノ事業

分野等ニ付キマシテ、ドウ云フ風ニ指導シ

テ行クカト云フ御尋ネデアルト存ジマス、

是ハ御承知ノ通り興業銀行ハ事業金融ノ中

心機關トシテ長イ歴史ヲ持ツテ居リマス、

又勸業銀行等モ亦御承知ノ通り、主トシテ

不動産抵當銀行ト致シマシテ、長イ歴史ヲ

持ツテ、今マデ發展ヲシテ來テ居ルノデア

リマス、農工銀行ニ付キマシテモ同様、勸

業銀行ト同ジヤウナ性格ヲ持チマシテ、地

方ノナ仕事ニ當ツテ居ル譯デアリマスガ、

是ハ御承知ノ通り勸業合併ノ方法ガ從來カ

ラ行ハレテ居リマシテ、今數ガ非常ニ少ク

ナツテ居ル譯デアリマス、今後ト致シマシ

テハ、事業金融ノ中心トシテハ興業銀行、

不動産金融ハ勸業銀行ガ中心ニナツテ行キ

マスコトハ變リガナイ所デアリマス、唯今

度提案致シマシタ勸業銀行、農工銀行法等

ノ各種ノ制限ノ緩和ニ關シマシテ申上ゲマ

スナラバ、勸業銀行、農工銀行等ハ不動産

金融機關ト致シマシテ多年ノ歴史ヲ持チ、

又其ノ信用ノ基礎ハ非常ニ固マツテ居リマ

ス、又其ノ資金ノ供給能力ト申シマスガ、

非常ニ力ガ附イテ來テ居ルノデアリマスガ、

他面時局金融ト申シマスガ、軍需工業、生

產擴充工業ニ對スル資金ノ需要、又此ノ資

金ノ疏通ヲ圓滑ニ致シマスコトガ、當面緊

急ノ問題デアリマスノデ、勸業銀行、農工

銀行等ヲシテ、其ノ餘力ヲ以テ時局金融ニ

寄與セシメル、隨ヒマシテ時局金融部面ニ

於キマシテ今後興業銀行、勸業銀行等ガ多

少カチ合フト云フ點ガ觀念的ニハ存スルノ

デアリマスアレドモ、元來勸業銀行等ヲシ

テ、其ノ餘力ヲ舉ゲテ時局金融ノ方ニ乗出

シマス所以ノモノハ、大體ニ於キマシテ勸

業銀行ハ、全國ニ跨ガリマシテ百ニ近イ程

ノ店舗ヲ持ツテ居ル、又地方ノ事情等ニ通

ジテ居リマスノデ、隨ヒマシテ興業銀行ニ

比較的小口ノモノ、又地方ノモノ、斯ウ

云フ時局金融ノ方ニ力ヲ注ガセタイ、斯ウ

云フ關係ニナリマス、又兩銀行ノ當局者モ

常々連絡ヲ持ツテヤツテ居リマス譯デアリ

マシテ、其ノ間何等兩者ノ間ニ分野ノ混淆

等カラ生ズル競争等ヲ起スコトナクシテ、

付託議案

日本勸業銀行法中改正法律案(政

府提出、貴族院送付)(第六二號)

農工銀行法中改正法律案(政府提

出、貴族院送付)(第六三號)

北海道殖産銀行法中改正法律案

(政府提出、貴族院送付)(第六四號)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政

府提出、貴族院送付)(第六五號)

稅務代理士法案(政府提出、貴族院

送付)(第六六號)

社債等登錄法案(政府提出、貴族院

送付)(第六七號)

會計法戰時特例案(政府提出、貴

族院送付)(第六八號)

族院送付)(第六九號)

此ノ時局ノ要求スル金融ニ邁進スルコトガ
出來ルモノト存ズルノデアリマス

○川俣委員 大藏省ノ各委員會ノ答辯等ヲ
推察致シマス、時局ノ必要性ニ基イテ生
産金融ト云ヒマス、事業金融ト云フ方面
ニノミカヲ入レザルヲ得ナイト云フヤウナ
方向デアルト云フ大體ノ意向ノヤウニ察ス
ルノデアリマス、サウ云フ必要性ガ現在生
ジテ居ル、斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居ラレ
ヤウニ見受ケルノデアリマス、當然ノコト
ダト考ヘマスガ、サウ云フ方面ニ立ツテ參
リマスルト、此ノ提案理由ニモアリマス通
リ、餘力ヲ以テ斯カル方面ニ應ジヨウト云
フノデアリマセウカ、或ハ度々ノ聲明ニア
ル通り生産金融、事業金融ノ方面ガ目下ノ
時局ガ要求シテ居ル方面デアラカシテ其
ノ方ニ力ヲ入レルト云フ意味デアルカ、其
ノ點モ明瞭ニシタイト思ヒマス

○瀧田政府委員 餘力ヲ以テト云フコトヲ
申上ゲタノデアリマスガ、元來先程申上ゲ
マシタ通り、勸業銀行ノ元々ノ行キ方トシ
マシテ不動産金融部面ハ、現在ニ於キマシ
テモ決シテ閉却スルコトハ出來ナイ部面ダ
ト存ズルノデアリマス、特ニ農村方面ニ於
キマシテハ最近相當金繰リノ狀況ガ宜イ
ウニ聞イテ居リマスケレドモ、現在ノ東亞
全體ノ問題トシマシテ、特ニ戰爭ニ直面シ
マシテ、食糧増産デアリマス、漁業方
面デアリマス、トカ云フ方面ニ對シマシテ、
力ヲ注ガネバナラスト云フコトハ申上ゲル
マデモナイト存ジマス、又都市ノ方面ニ於
キマシテモ住宅問題デアリマス、或ハ
防空關係ノ問題デアリマス、サウ云フ
方面ニ對シマスル金融ト申シマスノハ、非
常ニ大キナ分野ヲ占メテ居ルト申上ゲテ宜

イト思フノデアリマス、隨ヒマシテ斯ウ云
フ方面ニ專門ナル知識ヲ持ツテ居リマス
勸業銀行、農工銀行ガ之ニ專念スルト云フ
コトハ當然ノコトデアルト思ヒマス、隨ヒ
マシテ時局金融ト申シマシテモ、生産金融
ノ方ニハ勿論勸業銀行ヲシテ其ノ餘力ト申
シマス、其ノ本來ノ農村貸付ナリ、都市
ニ於キマスル各種ノ不動産關係ノ金融ヲ賄
ヒマシテモ尙ホ相當ノ餘力ヲ現在持ツテ居
ル譯デアリマスルカラシテ、之ヲ擧ゲテ現
在ノ時局ノ要求スル生産金融ノ方ニ活用シ
タイ、詰リ金融機關ガ澤山ゴザイマスルガ、
其ノ全力ヲ擧ゲマシテ重點ニ必要ナ所ニ
流シ込ミタイト云フ譯デアリマス、手續ヲ致
シタ譯デアリマス、御諒承ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○川俣委員 各委員會ノ答辯ヲ見ルト、大
臣及ビ大藏省各政府委員ノ答辯、又政府ノ
聲明ヲ大體大難把ニ擱シテ見マス、特ニ
大藏大臣ハサウダト思ヒマスガ、生産性
ヲ持タヌ方面ヘノ金融ハ「インフレ」ヲ起シ
易イカラ、生産方面ヘ極力流スノダ、斯ウ
云フ風ニ私共ハ受取ツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ點ニ付テハ私共ノ考ヘガ誤ツテ居
ルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○谷口政府委員 此ノ資金ノ配分ノ問題ニ
付キマシテハ、大藏大臣ニ於キマシテ度々
其ノ方面ノコトヲ御答ヘ致シテ居ルノデア
リマスガ、事變開始以來其ノ方面ノ措置ト
致シマシテハ資金調整ノ措置ヲ講ジマシテ、
資金ガ不要不急ノ方面ニ流レ出ルコトヲ防
止メ、斯ウ云フ考ヘデ只今マデ參ツテ
居ルノデアリマス、今日ニ於テモ其ノ考ヘ
ハ變ラナイノデアリマス、資金ハ生産力
擴張、其ノ他時局的ニ見マシテ緊急已ムヲ

得ザル場面ニ出テ行クヤウニ致シマシテ、
今日ノ場合不急不要ノ方面ニ流レ出ルコト
ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソコデ現在勸業銀行ノ金融方
面ヲ見マシテ、農村ノ問題——農村ノ問題
全部生産性ヲ持タヌトハ私共ハ考ヘテ居リ
マセ、時局ニ即應シタ、ヤハリ生産場面
ヲ相當持ツテ居ルト考ヘテ居リマス、併シ
ナガラ茲ニ問題ニナルノハ、農村ニ金融致
シテ居ル勸業銀行ノ全部ガ生産性ヲ持ツタ
方面ヘノ金融デアルト云フ解釋ニハ、私共
ハ承服出來ナイノデアリマス、今日農村ニ
於ケル公債消化ノ上カラ察セラレノデア
リマスケレドモ、土地ノ賣買或ハ土地ニ對
スル金融等ハ、必ズシモ生産性ヲ持ツテ居
ル投資トハ私共ハ見ニクイノデアリマス、殊
ニ今日ノヤウニ公債利潤利廻ト、農村ノ土
地ニ對スル投資トノ間ニ於テ非常ナ開キヲ
持ツテ居ル今日ニ於キマシテ、公債消化

ガ——農村ニ於テ生産者以外ノ所謂地主カ
ラ見タ公債消化ガ非常ニ惡イト云フノハ、
ヤハリ土地ニ對スル利潤ノ利廻ガ非常ニ宜
シイカラダト考ヘテ居ルノデアリマス、斯
カル方面ニ投資サレルコトニ付テノ考ヘ方
ハヤハリ農業全體トシテノ生産性ヲ高メ
ル、斯ウ云フ意味ニ於テ投資サレテ居ルノ
デアルカドウカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○瀧田政府委員 今ノ御質問ハ大變難カシ
イ問題ダト思フノデアリマス、簡單ニ
申上ゲマスナラバ、勸業銀行ハ金融ヲ致シ
テ居ル譯デアリマスケレドモ、別ニ土地ニ
對シテ投資ヲ致シテ居ル譯デハゴザイマセ
ス、簡單ニ申シマスレバ、結局今最後ニ仰
シヤイマシタヤウナ農業全體ノ生産性ト申
シマス、農業其ノモノノ全體トシテ引括

メテ見タ日本ノ經濟ナリ、産業ナリニ於キ
マスル重要性ニ鑑ミマシテ、勸業銀行ガ今貸付
ケテ居リマスモノハ全體的ニ見テ重要ナモ
ノデアル、又勸業銀行從來通り、又場合ニ依
リマシテハヨリ以上ニ此ノ方面ニモ力ヲ注
ガナケレバナラナイノデハナイカト云フコ
トハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○川俣委員 私人ノ質問ノ要點ヲ能ク理解願
ヘナカツタト思フノデアリマスガ、私ハ金
融ト投資ト二ツ使ツタノハ、勸業銀行ガ、是
ハ合法のカドウカ分リマセヌケレドモ、地方
ノ地主ノ土地ヲ持寄ツタ土地會社、質權ヲ設
定シテ居ルヤウナ土地會社ニ對シテ金融シ
テ居ルノハ、投資ト云フ風ニ考ヘテ投資ト
申上ゲタ、一般ノ個人ニ對スル金融ハ金融、
土地會社ニ對スルヤウナ貸付ヲ私ハ投資デ
アルト云フ風ニ考ヘテ、サウ云フ觀點デ

御尋ネシタ、其ノ點ハ宜シイト致シマシテ、
現在ノ日本ノ農村ノ生産ト云フモノハ或ル
限度ニ達シテ居ル、勿論マダ改良ノ餘地
ハアリマス、併シナガラ大體ニ於テ精密農
業ト致シマシテハ日本ノ農業ハ或ル限度ニ
達シテ居ル、ソコデ此ノ達シテ居ル限度ヲ
高メルカ、高メナイカト云フコトハ、是ハ
農業技術ニモ依リマスケレドモ、氣候ニ支
配サレル點ガ大キイ、勿論其ノ氣候ヲ克服
スル點ニ於テ技術ノ必要デアルコトハ是ハ
當然デアリマス、併シサウ云フ技術ノ場面

ハ持ツテ居リマスケレドモ、銀行ノ金融ニ
依ツテ生産場面ヲ高メルト云フヤウナ狀態
ハ何處ニモ見受ケラレナイト思ヒマス、唯
自作農ヲ創設スル、或ハ肥料資金、サウ云
フ方面ノ資金ハ是ハ別デアリマスケレドモ、
單ナル土地ニ對スル金融ハ必ズシモ生産性
ヲ高メルト云フコトハ私共考ヘラレナイノ

デアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ御尋ネ致シマス

○嶺田政府委員 土地ノ生産性ヲ高メルト申シマスカ、サウ云フ問題ニ付キマシテハ

非常ニ難カシイ問題デアルト思ヒマスノデ、例ヲ擧ゲテ申上ゲテ見タイト思フノデ

アリマス、例ハ自作農地ノ買入デアルトカ、耕地ノ開發、改良デアルトカ、重要農

産、水産、林産物ノ増産ト云フヤウナモノニ付キマシテ、例ハ組合、或ハ組合員連

帯ニ貸付ケルト云フヤウナヤリ方、ソレモ先程御配リシテアリマス資料御覽ニナル

ト分ルノデアリマスガ、勸銀ノ貸付金利子認可最高歩合ト云フノガゴザイマス、例ハ

於テハ五分、連帶貸付ニ付テハ五分三厘、斯ウ云ツタ最高歩合ヲ認メテ居ルノデアリ

マスガ、特ニ勸業銀行ト致シマシテハ、更ニ勉強致シマシテ特別ノ低利ノ金ヲ貸付ケ

テ居リマス、例ハ四分八厘デアリマス、カ、五分三厘ヲ五分貸付スト云ツタヤウナ

工合ニ、例ハ今申上ゲマシタヤウナ自作農地ノ買入デアリマス、耕地ノ開發改良、重要農産物、水産物、林産物ノ増産、

斯ウ云フモノニ付テハ勸銀ハ長期ノ低利ノ金ヲ貸付ケル、普通ノ金利カラ比ベマス

ト安イ金ヲ貸付ケル、斯ウ云フコトハ金融面カラシテヤハリ非常ニ援ケテ居ル點ガアルノデハナイカト存ジテ居ルノデアリマス

○川俣委員 今述ベラレタ點ハ私共了承致シマス、ソレハ農村ノ確カニ生産性ヲ高メ

ル部分デアルト存ジマス、併シナガラ其ノ他ノ部分ニ金融サレテ居ナイカドウカト云

フ點ガ私ノ御尋ネシタ所以ナノデアリマス、單ニ地主ニ貸付ケルト云フコト、或ハ土地

ニ單ニ貸付ケルト云フコトガ生産部面ヲ受持ツカドウカト云フ點ガ問題ニナツテ居ルノデ、其ノ點ニ對スル御尋ネヲシテ居ルノデアリマス

○嶺田政府委員 只今例ヲ擧ゲテ御答ヘ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ他ノ方面ニ對

スル貸付ト申シマス、ドウ云フ方面ニ貸サレテ居ルカト云フ一々ノコトニ付キマシ

テハ一寸資料ガ手許ニゴザイマセヌノデ、御答ヘ致シ兼ネルノデアリマスケレドモ、

結局何ト申シマス、單ニ地主ガ土地ヲ擔保ニシテ金ヲ借りタ、ソレハ一體ドンナ結

果ヲ生ムカト云フコトヲ唯理窟ノ上デ突詰メテ參リマス、其ノ金ヲ例ハ地主ガ何

ニ使フカト云フコトニ依ツテ決マルノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ

付キマシテハ銀行ト致シマシテハ恐ラク個々場合々々ニ付テ、大體ニ於テ從來カラ

ノ取引先、長年ノ馴染ガ多イノデアリマスカラ此ノ人ハドウ云フ仕事ヲシテ居リ、ド

ウ云フ工合ニナツテ居ルカト云フコトヲ能ク存ジテ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ

點ヲ勘案シテ銀行デハヤツテ居ルノダラウト思ヒマス

○川俣委員 ソレデハ私ハ問題ニナラヌト思フ、谷口次官ハ不要不急ノ方面ニハ絕對

ニ流サヌト斯ウ云フ風ニ言ツテ居ルガ、實際ハ何處ヘ流シテ居ルカ分ラヌト云フヤウ

ナコトデアリマスナラバ、ソレハ先程ノ谷口次官ノ御聲明ト相反スルコトナル、少

クトモサウ云フ方面ニハ流サヌノダト云フ建前デアラナラバ別デスガ、何處ヘ行ツテ

居ルカ分ラヌ、ケレドモソレハ銀行ガ信用シテ適當ナル場面ニ流シデアラウト云フコトデアレバ、先程ノ聲明ト相反スルコトニ

ナルト思フ

○嶺田政府委員 一寸言葉ノ使ヒ方ガ不十分デ相濟ミマセスデシタガ、只今申上ゲタノハ不動産其ノモノヲ抵當トシテ貸シマシ

タモノヲ、借りタ人ガ何ニ使フカト云フコトニ依ツテ色々決マルデアラウト云フコト

ヲ申上ゲタノデアリマス、銀行トシテ資金調整法デアルトカ、銀行等資金運用令トカ

ノ法令ニ依リマシテ、ドウ云フ方面ニ使ハレルノデアアルカト云フコトヲ調ベナケレバ

ラスノデアリマス、ソコデ先程申上ゲマシタ通り銀行ト致シマシテハ從來カラ取引ヲ

繼續シテ居ル得意先デアアルカラ、何ニ使フモノデアアルカト云フコトハ分ツテ居ル譯デアリマス、又サウ云フ點ヲ銀行デハ勘案シ

マシテ貸シテ居リマスカラ、次官ガ言ハレルノハ不要不急ノ方ニ流レテ行クト云フコ

トハ大體ナイト、斯ウ申シテ居ルノデハナイカト申上ゲタ積リデアリマス、單ニ不動

産ヲ抵當ト致シマシテモ其ノ用途等ニ付テハ銀行ガ具體的ニ能ク分ツテ居ルト斯ウ云

フ譯デアリマス

○川俣委員 私ノ申上ゲルノハ、大體農村地主ノ勸銀カラ借入レマシタ資金ノ行方ト

云フモノガ、ドウ方面ニ流レテ行ツテ居ルカト云フコトハ、大體御想像ガツク方面デアラウト思ヒマス、大體是ハ農村ノ場面カ

ラ見マスレバ色々ナ制肘ヲ受ケテ居リマスケレドモ、特別ノ企業ヲ目論ム資金ト云フ

コトヨリモ、資金ノ範圍内ニ於テハ主ニ生活費ダラウト思ヒマス、中小地主、大地主

ニ於キマシテモ金融ヲ受ケタ場面ノモノバ殆ド生活費、教育費デアラウト、新ウ考ヘ

テ宜シイノデハナイカト想像致シテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ場面ニ付テモ生産性

ヲ十分考ヘテ見マセスケレバ、金額ハ一人一人トシマシテハ小サクアリマシテモ、其

ノ村、其ノ郡、其ノ縣ト云フコトニナリマスレバ、相當ノ資金ニナルト思ヒマス、一

個人ガ小サイカラ全體ガ小サイト云フ風ニ判斷スルコトハ出來ナイ、殊ニ農村ノ場合

ニ於キマシテハ一人々々ノ金融ガ小額デアリマシテモ、村全體トシマシテハ相當大キ

ナ金融場面デアリマス、其ノ金融ガ生産場面デアアルカ、消費場面デアアルカト云フコト

ハ、村全體トシテ見レバ相當大キイ場面ニナツテ來ル、全體カラ判斷シテサウ申上ゲ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○谷口政府委員 先程カラノ御話デアリマスガ、農村ニ對スル貸出ト云フモノガ、必

ズシモ全部ガ時局的ニ見テ至急必要ナルモノトモ考ヘラレナイノデアリマシテ、ソレ

ハ御話ノ通りデアリマス、其ノ方面ニ對スル貸出ニ付テ政府ハドウ云フ考ヘ方ヲシテ

居ルカト云フノガ御質問ノ御要點デアルト伺フノデアリマス、御話ノ通りニ農村ニ貸

出サレテ居ルモノ必ズシモ時局ニ急ナルモノデハナイト思フノデアリマシテ、肥料ノ

購入資金デアリマスカ、或ハ農地ノ改良資金デアリマスカ、サウ云フ方面ノ生産

増進ニ直接關係アルモノモ勿論アリマスルケレドモ、ソレト同時ニ極メテ不急ナル場

面モ御指摘ノ通りニアルト思フノデアリマス、此ノ場面ニ對シマシテハ政府ノ方針ト

致シマシテハ、資金ガサウ云フ不要不急ノ方面ニ流レテ出ナイヤウニ指導シタイト云

フコトヲ豫テ固ク考ヘテ居ルノデアリマシテ、極ク少額ノ不要不急方面ニ出ルモノモ、積リマスレバ大キナ金額ニナルト思フノデ

アリマシテ、此ノ方面ニ對スル指導ハ今後モ十分ニヤツテ行キマシテ、ヤハリ大體ノ方針通り、農村ノ方面ニ於キマシテモ不要不急ノ方面ニ資金ノ行カナイヤウニ心掛ケテ行キタイト思フノデアリマス

○川俣委員 大體了承致シマシタ、斯クアラネバナラスト私共モ思フノデアリマス、ソコデモウツハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、私ハ所謂農村カラ見タ公債消化ガ必ズシモ良好ナ方向ヲ取ツテ居ルトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、寧ロ此ノ點ハ非常ニ私共ハ遺憾ニ思ツテ居ルトデアリマス、是ハ原因ガ何處ニアルカト云フコトニ付テ相當御研究ニ相成ツテ居ルト思フノデアリマスガ、私共ノ大體ノ見當カラ致シマシテ、ヤハリ土地ニ對スル利廻ガ宜シイノダト云フ點ガ非常ニ大キナ影響デハナイカト私共ハ考ヘテ居ル、又地方銀行或ハ勸業銀行ノ其ノ當面ノ關係者カラ見マシテモ、土地ニ對スル利潤ガ非常ニ宜シイコトガ公債消化ノ大キナ障礙ニナツテ居ルト云フ風ニ見ラレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點ニ關シテハ如何デアリマスカ

○谷口政府委員 農村ニ於キマスル所ノ公債ノ消化ノ狀況等ニ付キマシテハ、必ズシモ満足致スベキ狀況デハナイノデアリマス、併シナガラ最近ニ於キマシテハ、農村ニ流出致シマスル政府系統ノ資金ガ相當多額ニナツテ居ルノデアリマシテ、是等ハ組合ノ手ヲ經テ吸收サレテ居リマシテ、組合系統ト致シマシテモ、政府ノ方針ニ應ジマシテ成ベク國債ノ消化ニ貢獻スルト云フ方針ハ採ツテ居ルノデアリマス、只今御指摘ノ點ハ、農村ニ於ケル國債ノ消化ノ現況ト云フモノハ土地ヲ購入スル方ノ慾望、サウ云フ

方面ト鈞合ヲ取リマシテ、其ノ方ニ面白味ガ多ク爲ニ國債消化ガ鈍ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ點アルト拜承致シタノデアリマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、政府トシテハ貯蓄獎勵其ノ他ノ方面カラ十分勸奨致シマシテ、餘剩ノ資金ノ出來マシタ場合ニハ成ベク國債ノ消化ニ資金ガ向キマスルヤウニ十分指導シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○川俣委員 私ハモウ少シ端的ニ一ツノ例ヲ以テ申上ゲタイト思フノデアリマス、普通デアレバ土地ガ賣買サレテ、此ノ金ト云フモノガ何處カニ預金ナリ、或ハ企業ナリニ實ハ廻ルノデアリマスケレドモ、御承知ノヤウニ農村デ土地ヲ賣ツタ資金ト云フモノハ、預金ニモ幾分ハナルデアリマセウケレドモ、大體預金ト言ヒマシテモソレハ主ニ生活資金トナルノデアリマス、即チ預金デハアリマスケレドモ、ソレハ消費場面ノ補完トシテノ預金デアリマシテ、其ノ預金ト云フモノハ必ズシモ持続性ヲ持ツタ預金デハナイノデアリマス、隨テ土地ガ賣買ニ依ツテ非常ニ動クト云フコトガアツテモ、必ズシモ其ノ資金ガ國債消化ニ役立ツトハ私共ハ農村ノ場合ニ於テハ考ヘラレナイノデアリマシテ、サウ云フ點ニ付テ特ニ相當ナ配慮ガ必要アルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、モウ一ツノ點ハ大體今日農村ノ行キ方ト致シマシテ、農林省ハ色色ト食糧増産ニ力ヲ入レテ居ラマスケレドモ、其ノ食糧増産ハ單ニ個人ノ爲ノ食糧増産ト云フコトヨリモ、農村全體トシテノ食糧増産ト云フ工合ニナツテ參リマシテ、生産者ト非生産者トヲ括メテ農村ト稱シ、其ノ全體ニ對スル金融ト云フヤウニ農林省

ガ之ヲ取扱ツテ居ルヤウデアリマス、モツト露骨ニ申シマスレバ、今度ノ所謂米ノ生産費補助ニ致シマシテモ、大藏省ノ最初ノ考ヘ方ハ、是ハ鹽廻シハイカス、斯ウ云フ立場ヲ取ツテ居ラレタヤウデアリマスケレドモ、今日行ハレマシタ現在支給サレテ居ル狀態ハ是ハ鹽廻シヲ許シテ居ルヤウナ狀態デアアル、例ヘバ具體的ニ申シマス、此處ニ甲ト云フ小作人ガ地主ニ納メル場合——最初ハ小作人ガ消費スベキ一定量ヲ保管シテ其ノ保管以上ノ所謂自家消費以外ノモノニ對シテノミ生産補助ヲ出スヤウニ計畫サレタト思フノデアリマスガ、併シ今日デハ小作人ハ全部小作料ヲ納メテ、サウシテ食ヘナイ部分ハ買ツテ來テモ宜イ、斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居ラレタヤウデアリマス、是ハ何處デサウ云フ風ニナツタノカ、確カニ私共ノ聞ク範圍ニ於キマシテハ、大藏省ハ小作人ガ自家消費ノ米ヲ保有シテ、其ノ保有シタ以外ノモノニ生産補助ヲ出スノダ、斯ウ云フ風ニ聞イテ居ツタノデアリマスガ、何時サウ云フ風ニ考ヘテ變ヘラレタノカ、其ノ點ニ付テ御尋ネシタイノデアリマス

○谷口政府委員 最近ニ於キマシテ農村方面ニ相當資金ガ潤澤ニナツテ居ルト云フ狀況ニ付キマシテハ、或ハ土地ノ賣買等ガ盛シニ行ハレルト云フヤウナ點モアルカト思フノデアリマス、又先般ノ戰爭以來ノ狀況ト致シマシテ、ヤハリ農村方面ニ於テ相當投機的氣分ガ出テ居ルト云フヤウナコトモ耳ニシタコトモアルノデアリマス、ソレ等國民貯蓄ノ方面カラ見マシテ若干面白カラザル現象デアアルト云フ方面ガアルノハ説明ノ通りデアアルノデアリマシテ、是ハ今後ニ於

キマシテハ、貯蓄ノ國民的運動ニ依リマシテ其ノ幣害ヲ是正致シマスルト同時ニ、政府ト致シマシテモソレ等ノ投機的ナ方面ニ付キマシテハ、課税ノ方面ニ於テモ御承知ノ通りニ按配工夫ヲ凝ラスヤウナコトニモ相成ツテ居ルノデアリマシテ、尙ホ又今回ハ臨時資金調整法中改正法律案ニ於キマシテ、土地ノ賣買等ガ行ハレマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ後ヲ跟イテ廻リマシテ、サウシテ其ノ賣リマシタ金額ヲ政府ノ指定スルヤウナ方法ニ依ツテ使ハセル、公債ノ購入デアルトカ、又ハ長期ノ貯蓄デアルトカ、サウ云フ方ニ指導スルト云フヤウナコトモ——臨時資金調整法中改正法律案ニ依リマシテサウ云フ仕組モ今回致スコトニ相成ツタノデアリマス、斯様ナコトニ依リマシテ、御指摘ニナリマシタヤウナ問題ニ付キマシテモ弊害ガ少クナリマシテ、公債ノ消化方面ニモ貢獻スル所ガ今後ハ相當多クナラウカト考ヘルノデアリマス

ソレカラ生産獎勵金デアルトカ云フ方面ノ實際ノ狀況デアリマスガ、是ハ只今御話ニナリマシタヤウニ、小作者ニ於キマシテハ自分ノ手許ニ保有米ヲ留メテ置キマシテ、供出シタモノニ付キマシテ、獎勵金ヲ取ルト云フヤウナ仕組ニナツテ居ツタノデアリマス、是ハ別ニ當初決定致シマシタ方法ヲ後ニ變替ヲ致シタト云フコトハ別ニナイノデアリマスガ、斯ウ云フ補助金デアルトカ、獎勵金デアルトカ云フコトノ支出ノ致シ方ト致シマシテハ、實際ニ於テ行ハレテ居ル方法ガ、當初其ノ計畫ヲ定メマシタ時ニ考ヘテ居ル方法ト必ズシモ同ジヤウニ行カナイト云フノガ從來ノ例デアリマシテ、吾々ト致シマシテハ當初計畫致シマシタ通りノ

資金ノ出シ方ヲ希望ハ致シテ居ルノデアリマスガ、場合ニ依リマストソレガ極メテ實際ニ適シナイヤウナ狀況デアリマシテ、計畫ノ通りノ徑路ヲ取ツテ行クコトガ、必ズシモ期待出來ナイヤウナ場合モアルト思フノデアリマス、要シマスルニ生産獎勵金等ノ給付ノ致シ方ト致シマシテハ、別ニ其ノ後ニナリマシテ變替ヲ致シタト云フコトハナイノデアリマスガ、實行ノ方法ニ付キマシテハ、色々變ツタ方法ガ出テ居ルカモ知レナイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ弊害ガアルカドウカ、弊害ノアリマシタ場合ニ於キマシテハ之ヲ是正スルコトニ致シマシテ、生産獎勵金ノ趣旨ノ没却サレナイヤウニ致シタイト考ヘルノデアリマス

○川俣委員 今ノ御答辯デ、前ノ問題ニ付テノ御答辯ハ了スルノデスガ、後ノ所謂生産獎勵金ノ問題デアリマスガ、小作農デモ自作農デモ同様デアリマシテ、自家消費ヲ除イタ供出米ニ對スル生産獎勵金デアツタト思フノデアリマス、併シ是ガ全部供出致シマシテ、サウシテ新シク買ツテ來ルト云フコトニナリマスレバ——是ハ當初ノ考ヘ方ガ惡カツタトカ宜カツタトカ云フヤウナ問題デナクテ、當初ハ自家保有米ヲ除イタ供出米ニ對シテ、生産費ニ對スル獎勵金ヲ出スノデアル、斯ウ云フ建前デアラレタト思フ、ソレガ兎ニ角全部自分ノ消費スル部分モ出シテ國家ノ補助ヲ受ケタ米ヲ食フノダト云フコトニナリマスレバ、是ハ最初ノ計畫ヲ變更シタトカ云フノデナクシテ、根本カラ變ツテ來タノデハナイカ、何故サウ云フ風ニ變ヘナケレバナラナカツタカト云フ點ニ付テ、大藏省ハドウ考ヘテ居ラレカ、斯ウ云フ點ナノデス

○谷口政府委員 農村ニ於テ小作ニ從事シテ居ル者ガ、當時生産サレタ米ヲ獎勵金ヲ受ケマシテ供出致シマシテ、サウシテ手許ニナクナツタ場合ニ更ニ政府所定ノ價格ヲ以テ購入スル、斯ウ云フヤウナ筋道ニナリマスコトハ、當時トシテハ甚ダ好マシカラヌ方法デアルト云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマス、計畫ノ當初ト致シマシテハ、小作者ニ於キマシテハ必要ナ米ハ手許ニ保有致シテ置キマシテ、サウシテ供出出來得ルモノヲ供出致シマシテ、所定ノ獎勵金ヲ受ケル、斯ウ云フ仕組デ考ヘテ居ツタノデアリマス、併シ此ノ手許ニ保有サレテ居ル米ガ不足致シマシテ、其ノ場合ニ於キマシテ已ムヲ得ズ他カラ改メテ之ヲ購入スルコトモ、當時トシテハ全體トシテ之ヲ止メルト云フ譯ニモ行カヌ問題デアルト云フコトハ考ヘテ居ツタノデアリマス、其ノ事ハ計畫ト致シマシテハ趣旨ニ合致致サナイノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、此ノ實行ニ當ツテ居リマス農林當局トモ更ニ能ク協議ヲ致シマシテ、當初ノ趣旨通りニ生産獎勵金ノ制度ガ動イテ行キマスマウニシタイ、左様ニ考ヘルノデアリマス

○川俣委員 私ノ御尋ネガ少シク足りナカツタノデハナイカト思ヒマス、或ル保有米ヲ殘シテ、ソレガ不足ニナツタカラ買フト云フ點ヲ申上ゲテ居ルノデハナイ、初メカラ手許ニ全然殘サナイデ、全部供出サシタ例ハ多々アルト思フ、私ハ其ノ點ヲ尋ネテ居リマス、例ヘバ地主ガ小サカツタ場合、地主トシテノ保有米ヲ欲シイ爲ニ、全部小作人ニ供出サセル、サウシテ地主或ハ農會等ニ於キマシテモ、其ノ方ガオ前ニ得ナンダ、小作人カラ云フト、自分ノ自家消費米

ヲ持ツテ居タイト云フ熱願ガアルガ、其ノ方ガ高ク賣レテ安イ米ヲ買ヘルカラ得ダト云フ風ニ相當獎勵シテ、小作人ヨリ全部供出サセテ地主ノ手許ニ小作米トシテ出サセテ、地主ハ供出米トシテ出スベキモノヲ地主ノ自家消費米トスル、斯ウ云フ傾向ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、非常ニ最初ノ目的ノ根本ヲ變ヘタコトニナルノデハナイカト云フ考ヘヲ私共持ツテ居ルノデアリマス、農林省ガ斯カル指導ヲ行ツテ居ルコトニ付テ、大藏省ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ、斯ウ云フ點デス

○谷口政府委員 若シサウ云フ指導ガ全面的ニ行ハレテ居ルト致シマスレバ、初メノ趣旨トハ大分違ツタ動キ方デアルト思フノデアリマス、併シ農村ニ於ケル實際ノヤリ方ニ付キマシテハヤハリ農林省ニ尋ネマシテ、ソレガドウ云フ理由デアツタカト云フコトヲ質シテ見ル必要ガアリマスノデ、此處デソレガ全面的ニ不都合デアルト云フコトヲ斷言スルコトモ如何カト思フノデアリマスガ、アア云フ獎勵金トカ補助金トカ云フコトノ制度ハ、動モスレバ當初考ヘテ居リマシタ筋道ヲ違ヘマシテ、便宜ニ從ツテ處理サレル傾向ガ從來モ甚ダ多イノデアリマシテ、其ノ都度吾々ト致シマシテハ遺憾ノ意ヲ表シテ、本來ノ趣旨ニ合致スルヤウニ是正致シテ參ツタコトモアルノデアリマス、只今御指摘ノヤウナ點ハ、全面的ニサウ云フコトヲ致シマスコトハ初メノ趣旨ニ反スルコトデアルト、私ハ考ヘルノデアリマスガ、只今申シマシタヤウニ一應ハヤハリ事情ヲ聽キマシテ、或ハ或ル部分ニ付テハサウ云フコトノ已ムヲ得ナカツタコトハ

ナイコトハナイカモ知レマセヌ、能ク事情ヲ聽キマシテ、本來ノ趣旨ニ合スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○川俣委員 モウ一點附加ヘテ御尋ネ致シマス、私ハ決シテ過去ヲ責メヨウト云フ考ヘ方デアリマセヌ、唯サウ云フコトガ許サレルト云フト、例ヘバ現在ノ米ノ配給量ガ足りナイ爲ニ、地主トナツテ自分ノ保有米ダケハ確保シタイト云フヤウナコトカラ、小サイ土地ノ賣買ガ行ハレテ、ソレデ小作人カラハ全部供出米トシテ受取ル、ソレハ地主ノ所謂保有米ニナツテシマフト云フコトニナリマシテ、サウ云フ傾向ガ助長サレル結果ニナリハセヌカ、寧ロ私ハ其ノ點ヲ惧レテ御尋ネ致シテ居ルノデアリマス、是ハ大體農林省ノ方針ト致シマシテ、同一町村ノ地主デナケレバ出來マセヌケレドモ、同一町村内ノ土地ノ小作米ハ、小作トシテ現物ヲ地主ガ經由シテ受取ルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスノデ、其ノ經由サレタ小作米ガ所謂地主ノ保有米ト相成ルノデアリマス、サウスルト一方ニ於テハ制限ヲ受ケナケレバナラナイ米ノ規正ガアリ、一方ハ土地ヲ小サク持ツタト云フコトガデ、規正ヲ受ケナイデ濟ム、規正ヲ受クベキガ當然デアリマスケレドモ、ソコニ保有米ト云フモノガ相當豐富ニ持チ得ラレル結果ガ生レテ來ルト云フヤウナコトニナリマスレバ、問題ハ他ニモ影響スルト云フコトヲ惧レテ、此ノ點ヲヤカマシク申上ゲテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テモウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○谷口政府委員 只今御話ノヤウナコトモ或ハ行ハレテ居ルカモ知レナイノデアリマスガ、若シサウ云フコトガ行ハレテ居リマ

スレバ、甚ダ以テ遺憾ナコトデアリマシテ、元來アノ獎勵金等ヲ設ケマシタ趣旨ハ、生産ノ増加ト云フコトモアリマスガ、又同時ニ又供出米ノ増加ト云フコトモ其ノ趣旨ニアルノデアリマシテ、小サナ地面ヲ持チマシテ、ソレヲ機縁トシテ保有米ヲ増加シテ供出米ガ少クナルト云フヤウナ結果ガ起リマシテハ、甚ダ遺憾デアルト思フノデアリマス、此ノ點ハ直接其ノ衝ニ當ツテ居リマス當局ト能ク嚴重ニ話ヲ致シマシテ、サウ云フ弊害ノ起ラナイヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 此ノ點ハ諒承致シマシタ、次ニ私ハ小作料ノ問題デ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、農林省ノ管轄ダト云フ意味御聽取リナク、全體ノ日本ノ金融ノ上カラ、或ハ物價政策ノ上カラ、或ハ勞働力ノ供出ノ點カラ、十分御配慮ニナツテ然ルベキデアルト云フ點カラ御尋ネ申上ゲルノデアリマス、所謂物ノ生産費構成要素ハ何カト言フト、此ノ事ハ既ニ御承知ノ通りデアルト思フノデアリマシテ、ヤハリ一ツノ社會カラ見タ場合ト、國民經濟全體ノ立場カラ見タノトデハ自ラ違フコトハ明瞭デアリマス、併シナガラ社會全體ノ經濟ノ運行ト云フ立場カラ見ルト、私ハ一ツノ基準ガココニ出テ參ルト思フノデアリマス、ソレハ所謂普通ニ人ノ言ハレテ居ルヤウニ原料ト勞賃ト地代トニ相成ルト思フ、其ノ原料ガ補助材料竝ニ固定設備ノ償却サレル部分デアルト云フヤウニ、極メテ大雜把ニ言ヘルノデアリマスガ、此ノ中デ原料、補助材料ト云フモノハ、具體的ニハヤハリ鑛石デアリ、木材デアリ、或ハ石油デアリ、石炭デアリ、電力ト云フヤウナモノデアルト思

フノデアリマスガ、結局煎ジ詰メテ參リマスト、生産費ハ原料、勞賃、利潤、斯ウ三ツニ大別サレルト思ヒマス、而モ生産費ハ煎ジ詰メテ參ルト原料、勞賃、利潤デアツテ、結局ハ其ノ地代ニ戻ツテ參リマスノデ、生産費ト云フモノハ勞賃ト地代ト利潤ト三ツヨリ成ツテ居ル、隨テ此ノ三ツヲ考ヘテ物價ノ規正ヲサナケレバ相成ラスト思フノデアリマス、勞賃ニ對スル規正、利潤ニ對スル規正ト云フモノハアリマスガ、今日尙ホ地代ニ對スル規正ハ、兎角農林省ガ、此ノ點ニ付キマシテハ、色々ナ日本古來ノ慣習モアルコトデアリマセウシ、中々色々ナ障礙モアルコトデアラウケレドモ、モウ一步突詰メテ此ノ點ニ付テノ解決ハ致シテ居ラナイト思フ、所謂利潤ノ點ニ付テハ大藏省、或ハ商工省ガ相當ノ掣付ヲ加ヘテ居ル、或ハ勞賃ニ付テハ厚生省ガ相當ノ掣付ヲ加ヘテ居ルガ、地代ダケニナリマスト農林省ガ是ハ事ハ日本ノト云フコトデ、中此ノ點ニ付テノ解決ヲ澁ツテ居ルヤウナ形ニ相成ツテ居ルト思フ、併シナガラ此ノ生産費ノ三ツノ中ノ一ツダケヲ見逃シテ放任シテ置キマスナラバ、私ハ物價ノ規正、昂騰ヲ抑ヘルト云フコトハ不可能ニナルノデハナイカ、ヤハリ生産力擴充ノ上カラ此ノ三ツノ點ヲ嚴格ニ規正シテ行カナケレバナラス、大藏省ガ利潤ヲ抑ヘテ參リマシテモ、地代ヲ抑ヘテ參リマセスケレバ、利潤ヲ抑ヘテ意味ガ半減サレルト思フ、此ノ三ツガ相協力シテ同一方向ヲ取ラナケレバ、私ハ物價ノ規正ト云フコトハ出來ナイト考ヘマスケレドモ、此ノ點ニ對スル次官ノ御答辯ヲ願ヒマス

○谷口政府委員 全ク只今御話ノ通りデア

リマシテ、利潤ノ統制ヲ致シ、又其ノ他ノ統制ヲ致シマシテモ、他ノ一ツノ要素デアリマス所ノ地代ノ統制ニ付キマシテモ色々考慮ヲ運ラサナケレバナラスト云フコトハ、全ク御説ノ通りデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、主トシテ農林行政ニ互ル點デア

ルカト思フノデアリマスガ、是等ノ諸要素ノ統制ニ付キマシテハ、吾々ノ方面トモ關係ガアリマスノデ、御話ノ趣旨ニ付キマシテハ、今後關係當局トモ能ク協議ヲ致シマシテ、尙ホ調査致シタイト左様ニ考ヘマス

○川俣委員 此ノ際一寸申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、大體私共農村ニ居ツテ見テ居リマス、以前ハ資金ガ中央ニ流レテ來テ、地方ガ涸渴スルト云フコトヲ非常ニ憂ヘラレテ居ツタノデアリマスガ、最近株ニ對スル投資、所謂生産力擴充方面ニ對スル投資ト云フモノガ、非常ニ澁ツテ居ルヤウナ傾向ヲ持ツテ居ルノデハナイカト、是ハ私ノ觀測デアリマスケレドモ、サウシタ觀測ヲ持ツテ居リマス、ヤハリ此ノ點ニ付テ大藏省ガ一方ニ於テ利潤統制ヲスル、商工省デモ色々ナ株價ノ統制ヲスル、或ハ生産力擴充ノ上カラ統制規正ヲ致シマシテモ、一方ニ於テ昔ノヤウニ中央ニ資金ガ非常ニ流レテ來ルヤウナ狀態デアリマスケレバ結構デアリマスケレドモ、ソレト反對ノヤウナ方向ヲ今日取ツテ參ツテ居ル、所謂大東亞戰爭ノ目的完遂ノ爲ニハ、是ハ大藏省ノ考ヘテ居ラレマス通り金融全體ノ一元化ト申シマセウカ、兎ニ角モ全體ヲ集中シテソレヲ適當ニ按分シテ行クト云フコトガ當然ナコトデアラウト思フノデアリマス、所ガ地方ニ資金ガ固定スルト云フコトハ、地方「インフレ」ヲ起シヤウナ結果ト相成ルバカリ

デハナクシテ、國全體ノ金融ノ上ニ於キマシテ、或ハ生産力擴充ノ方面ニ於ケル所ノ統制ノ上カラモ、私ハ大キナ缺陷ヲ現ハシテ來ルノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ方向ニ對スル將來ノ是正ト云ヒマスガ、指導ト云ヒマスガ、其ノ方向ニ付テノ御意見ガアレバ此ノ際際リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 先程カラ色々ノ御話デアリマシテ、之ヲ只今綜合シテ御話ニナツタノデアリマスガ、此ノ農村方面ニ於キマス金融ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通りニ從來ニ於キマシテハ農林系統、大藏系統等ガ共同シテ其ノ處理ニ當ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレデ只今御指摘ニナリマシタヤウニ、今後ニ於キマシテハ、金融方面ニ付キマシテハ一元的全體的ニ統制ヲ致シマシテ、必要ナル調整ヲ加ヘルト云フコトガ、大東亞戰爭ノ後ニ於キマシテハ益、必要ニナツテ來タト思フノデアリマス、今後ニ於キマシテハ此ノ農村ノ金融狀況ニ付キマシテ從來トハ更ニ一段進メマシテ、此ノ金融ノ統制方面カラ、農林省トモ更ニ一段ト協調ヲ進メテ行キタイト思フノデアリマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ、行政ノ機構トカ云フヤウナ因襲ノ問題ガソコニ介在スルノデアリマシテ、中々一刀兩斷のニ斷チ難イ點モアルノデアリマスケレドモ、ソレハソレト致シマシテ、金融統制ノ必要ナルコトノ理解ヲ行政各官廳間デモ十分ニ持ツテ貰ヒマシテ、御話ノ如キ農村方面ニ於ケル金融ト云フモノガ茲ニ孤立スルコトヲサナイデ、他ノ方面ト全體的ニ統制シテ、國家ノ經濟總力ノ發揮ニ貢獻シ得ルヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘルノデア

リマス

○川俣委員 大體此ノ程度ニ致シマシテ、
法制局トアトハ大藏大臣ガ見エタ時ニ讓リ
タイト思ヒマス

○由谷委員 吉植庄亮君

○吉植委員 私人第一ニ勸銀ノ農民ニ對ス
ル貸付利率ノ點ニ付テ御尋ネシタイト思ヒ
マス、戴イタ表ニ依リマシテ現在ニ付テ
見マシテモ、公共團體ノ貸付ガ四分六厘、
アトハ全部五分以上デアリマス、農村ノ主
タル不動産デアリマスル田畑等ニ至リマシ
テハ、是ハ五分三厘、所デ茲ニ問題ニナリ
マスノハ御承知ノヤウニ土地利廻デアリマ
ス、是ハ農林省アタリニ御問合セニナツテ
モ直グ分ルコトデアリマスカラ、大藏省ニ
於テハ夙ニ此ノ御調査ハ付イテ居ル筈デア
リマス、三分五厘以上ニハ廻ラヌト云フノ
ガ定説ニナツテ居ル、此ノ農村ノ土地利用
價值ガ三分五厘、ソレニ對シテ勸銀ガ貸付
ケマスル金利ガ五分三厘、此ノ勸業銀行ト云
フモノガ普通銀行デアレバ又別デアリマス
ガ、特殊銀行デアリマシテ、是ハ農村ノ一
ツノ大キナ味方ノ銀行デアアルノデアリマス、
然ルニ實情ハ今申上ゲタヤウナ次第デアリ
マス、ソコデ問題ニナリマスルノハ、今日
ノヤウナ時代ニハ此ノ問題ガ左程痛切ニハ
農民ニ感ジマセヌガ、併シ昭和五年、六年、
七年ト云フアノ農村地獄ト云ツタヤウナ時
ニハ此ノ點ガ實ニ農村ヲ苛ミ盡シタ、過般
來政府ノ御方針ヲ承リマシテモ、日滿支ヲ
通ジテ農民ノ人口ノ保有量ガ四割、此ノ方
針デ邁進スル、現在ハ慥カ五割以下、四割
八、九分カト思ヒマスガ、ソレモ僅カ一割足
ラスノ加減ヲシマシテモ、四割ハ絕對ニ保
有スルノダ、此ノ方針デ參ラレル、此ノ方

針デ行キマス、然ラバ農村ノ經濟ハ樂ニ
ナルノカト云ヒマス、農村ニハ相變ラズ
是ガ宿命的ナモノニナツテ居リマスルノデ、
適正規模農家ガ一町八反デアルトカ或ハ二
町、二町五反ト言ハレテ居ル時ニ、内地ノ
農家ハ九反七畝ニ甘シナケレバナラス、
ソレガ四割ノ人口ノ保有量ト致シマス、約
一町位耕サナケレバナラス、所謂此ノ土地
ノ利潤ト土地ニ貸付ケラル金利トノ開キ
ガ一方ニアリマスル上ニ、反面ニハ斯ウ云
フコトガアルノデアリマス、今日ノ農村ガド
レダケノ役割ヲ盡シテ居ルカ、人口四割ヲ
農村ニ保有シナケレバ相成ラヌト云フ國策
ノ立チマシタノモ、此ノ農村ガ言フニ言ハ
レナイ所ノ食糧生産、或ハ凡ニル産業ニ對
スル人的資源ノ供給トカ、或ハ國軍ノ根幹
トナツテ居ルト云フヤウナ點カラ左様ナ國
策ガ生レ出テ來タモノト思ヒマス、サウシ
マスト今日ニ於テモ今日ノ農村ト云フモノ
ノミヲ見ナイデ、將來ノ農村ヲモ考ヘテ、
此ノ點ハ餘程御考慮カネバナラスト思
ヒマス、先程農村地獄出現時代ノ御話ヲシ
マシタガ、私ハ痛切ニ其ノ當時、此ノ勸業
銀行、普段御厄介ニナツテ居リマシタ勸業
銀行、泌々ト此ノ勸業銀行ガ一體農民ヲ助
ケルノカ殺スノカト云フ感ジニ打タレタ、
其ノ當時私ハ斯ウ云フ歌ヲ詠ミマシタ「赤ク
書キテ差押威ス葉書通知、老配達夫笑ミツ
ツ示ス」赤ク書イテ差押ヲ威カス、黒イ印刷
デハナイ、態、赤ク書イテ、サウシテ何月何
日マデニ、納メナイト直チニ差押ヲスルゾト
言ツテ來ル、郵便配達ガソレヲ見ナガラ、
私ノ顔ヲ見テ笑ヒナガラ、ヤア來マシタノ
ト言ツテ來ル、是ガ當時私ノ詠ンダ歌デア
リマス、モウ一ツアリマス、是ハ上ノ句ハ

忘レマシタガ、下ノ句ハ「勸業銀行苛ミ盡ス
農民ヲ」斯ウ云フヤウニ赤ク書イテ、サウシ
テ農民ヲ苛ミ盡ス、今申上ゲマシタヤウナ
三分五厘ヲ出デナイ範圍ニ農業經營ヲヤツ
テ居リマス時ニハ、アノ農村地獄ニナツタ
米價暴落、況シテヤ此ノ三分五厘ガ二分ト
ナリ一分トナリ生産費ヲ割ツテシマツテ、
農民ハ血肉ヲ喰ハナケレバナラスト云フ風
ナ時ニ、勸銀カラ借りタ金利ガ高イ、ソコ
デ完納ガ出來ナイト云フト、差押ヲ以テ威
カシテ來ル、勸銀ガ農民ヲ苛ミ盡スト云フ
歌ガ私ニ當時生レマシタ、是ハ私ガ間違ッ
テ居ルノカドウカト云フコトハ、後世批判
スル者ガアリマス、是ハ私一人ノ聲ニアラ
ズシテ、當時ノ全農民ノ聲デアツタ筈デア
リマス、デアリマスルカラ今日ノ狀態ニ於
テハ當時カラハ改善サレマシテ、良クハナ
ツテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ戰爭ノ
成行、或ハ財界ノ變動其ノ他ニ伴ツテ、將
來今日同様ノ農村ノ姿デ行カウト云フコト
ハ到底考ヘラレマセヌ、何等カソコニ又變
化ガ來ルコトモ豫想シナケレバナラスノデ
アリマスガ、左様ナ時ニ此ノ問題ガ洵ニ
重大トナツテ參ルノデアリマス、サウ云フ
深ク大キク農村問題ヲ取扱フタ際ニ、土地
利潤ガ三分五厘以下、借受ケル所ノ金利ガ
五分三厘、是デ果シテ宜シイカ、此ノ點ヲ
御伺ヒシタイノデアリマス

○山際政府委員 農業利潤ガ極メ低イノニ
拘ラズ、勸業銀行ノ農業ニ對スル金融ノ利率
ガ、ソレニ比較シテ高キニ失スルヤウニ思
フガドウデアアルカト云フ御趣旨ノ御尋ネト
存ジマス、農業ノ利潤ガ只今御話ノヤウナ
率ニ相成ツテ居リマスルカドウカ、實ハ私
ハ承知ヲ致シテ居リマセヌケレドモ、併シ
ナガラ企業ト致シマシテ相當低利潤ノモノ
デアアルコトハ、私モ了承致シテ居ルノデア
リマス、又一面ニ於キマシテ、然ラバ勸業
銀行自體ハ其ノ全體ノ構成ノ上ニ於テ不當
ナル高イ利率ヲ適用致シテ居ルカト云フコ
トヲ檢討致シマスル際ニハ、必ズシモサウ
デナイト云フ結論ガ出ルト思フノデアリマ
ス、御承知ノ如ク勸業銀行ハ廣ク債券ヲ募
集致シマシテ、ソレニ依ツテ資金ヲ調達シ
テ居リマス、又預金ヲ取りマシテソレニ依
ツテ貸付ノ資金ヲ得テ居リマス、是等ニ對
シマシテ一般市場ノ利率ニ從ヒマシテ、或
ハ預金利率、債券ノ利率ヲ支拂ツテ居ルノ
デゴザイマス、而シテ勸業銀行自體ト致シ
マシテハ格別國家カラ特殊ノ恩惠ヲ受ケル
譯デナク、ソレ等ノ資金ヲ使ヒマシテ、ソ
レ等ノ金利ヲ負擔シナガラ、金融機關トシ
テ與ヘラレマシタル使命ヲ達成致シマスル
爲ニ、必要ノ限度ノ利率ニ於テ貸付ヲ致シ
テ居ルノデゴザイマス、而モ其ノ貸付ノ利
率ハ、ヤハリ農村其ノ他不動産金融ニ取ツ
テ重要ナ關係ガアリマスル爲ニ、政府ニ於
テ之ヲ每期其ノ最高ヲ認可致シテ居ルヤウ
ナ仕組ト相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒ
マシテ現在勸業銀行自體ガヤツテ居リマス
ル仕事ノ上カラ見マスルト、其ノ貸出利率
ト、經費ト、ソレカラ得テ居リマスル資金ノ
利率即チ資金「コスト」、是等ヲ眺メ渡シマ
シテ、勸業銀行自體トシテ著シク利益ヲ食
ツテ居ルト云フコトハ、私共ハナイト確信
致シテ居リマス、然ラバ茲ニ問題ハ、勸業銀
行ノヤウナ普通金融機關ノ力ヲ以テシテ、
只今吉植委員ノ御示シノヤウナ農村ノ金融
ガ全面的ニ満足セラレ得ルヤ否ヤト云フ、
大キナ農村ノ金融機構ノ問題ニ移ラザルヲ

得ナイト思フノデゴザイマス、即ち端的ニ申シマスレバ、勸業銀行自體トシテ私ハ利益ハ貪ツテ居ラスト思ヒマス、併シナガラ農村ノ要求シテ居ル所ノ金融ノ全部ガ果シテ能ク勸業銀行ノ如キ機構ヲ以テ充シ得ルヤ否ヤ、ココニ問題ガ潜ムノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ解決ト致シマシテハ、御承知ノ如ク政府ハ預金部資金等各種ノ低利資金ヲ放出致シテ居リマシテ、出來ルダケソレ等特殊ノ資金ニ依ツテ低利ノ融通ヲ農村ニ對シテ致シテ居ルノデアリマス、又産業組合等モ極力農村ノ協同組織體ト致シマシテ、農民ノ需要ニ應ジ得ルヤウナ金融ニ努メテ居リマスコトモ御承知ノ通りデゴザイマス、是等ヲ綜合致シマシテ、農村ガ立行ク爲ニ、金融機構ヲ整備シナケレバナラスト云フ點ハ、是ハ御話ノ通りデアラウト思フノデアリマシテ、今後ニ於キマシテモ或ハ低利資金ノ特殊ノ融通デアルトカ、或ハ農村協同體ニ於ケル信用事業ノ發達ヲ圖ルトカ、又他面ニ於キマシテハ農業政策自體ノ方面ニ於テ農業利潤ノ今少シク上昇ヲ圖ルトカ、各種ノ綜合サレタ面ニ於テ此ノ問題ハ將來解決サレテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、勸業銀行自體ノ勘定カラ申シマス、只今申上ゲマシタヤウナ次第ニ相成ツテ居ルト考ヘテ居リマス

特ニ預金部カラ流レ出シテ、直接農村ニ來テ居ル、是ハ事實デゴザイマス、其ノ點ニ於テハ私心配ドコロデハナイ、此ノ趨勢ヲモツト擴大強化シテ貫ヒタイト云フコトヲ念願スル一人デアリマス、唯私ガ御話申上ゲルノハ、勸業銀行ノ機構ノ中ニ於キマシテモ、今ノ低利潤デアリマスル土地ニ貸ス金利ガ、其ノ土地ガ取得スル利潤ヨリモ遙カニ大キイ、此ノ點ガ問題デアツテ、此ノ點ヲ大ニ御考慮願ハナケレバナラス、斯ウ云フ點ナノデアリマス、農村ガ飽クマデモ日本ヲ背負ツテ立ツテ行ツテ居ル、其ノ農村ヲ振興セシメテ行カナケレバナラス、其ノ一部ノ役割ヲ勸業銀行ガ負擔シテ居ルト私ハ考ヘテ居リマスガ、其ノ時ニ土地利潤ガ三分五厘以下デアアルニ拘ラズ、其ノ土地ヲ抵當トシテ金ヲ借りナケレバナラスト云フ時ニ、其ノ金利ガ五分三厘デアリマス、勸業銀行ノ使命カラ見テ此ノ點特ニ今一段ノ御檢討ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、實ハ打割ツテ申上ゲマスト、モウ故人ニナラレタカラ此ノ席デハツキリ申上ゲマスガ、前ノ勸業銀行總裁デ、後ニハ大藏大臣モセラレタ馬場鐵一氏ハ、此ノ點ニ付キマシテ私ノ父竝ニ私ニ向ヒマシテ、實ハ勸業銀行總裁ヲ致シテ居ツテ心苦シクテ仕方ガナイコトガアル、ソレハ今私ガ申上ゲタ例、土地ノ利潤ガ三分五厘以下、然ルニ農民ニ貸付ケルノハ、今日ハ五分三厘ニナツテ居リマスガ、當時ハ七分何厘カト思ヒマス、左様ナ高利ヲ今日取ツテ居ルト云フコトハ勸業銀行總裁ヲ致シテ居ツテ是程心苦シイコトハナイ、何トカ此ノ點ハ將來ニ於テ考慮シナケレバナラスト思フガ、凡ユル機構ノ下ニ中々今日此ノ志ヲナスコトガ

出來ナイ、君ナンカニ會ツタ時ニハ先ツ第一ニ此ノ點デオ詫シナガラ會ツテ居ル、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、是ハ馬場鐵一氏ガ總裁トシテ立派ナ良心ノ持主デアルカラデアル、此ノ觀點カラ馬場サンハ確カニ此ノ利率ノ低下ト云フコトニ付テハ大變オ骨折下サツタ御一人デアアル、斯ウ云フ點ヲ一ツ御酌ミ取り下サイマシテ、將來此ノ點ニ於テ農民ガ合點ガ參リマスマヤウ一ツ御骨折ヲ願ヒタイノデアリマス

一面斯ウ云フ風ニナツテ居リマスニ拘ラズ、他面今御話ノアリマシタヤウニ凡ユル債券ヲ發行スルト云ツタヤウナコト、其ノ他凡ユル勸銀ノ機能ガ發揮セラレマシテ、ソコデ株主ノ配當ガ今日一割以上ト私ハ思ツテ居リマス、先程申上ゲマシタ昭和六、七年ノ農村地獄ノ時、農民ハ赤イ葉書ヲ突付ケラレテ困ツテ居ル時ニ、株主ハ一割ノ配當ヲ取ル、一體斯様ナ不合理ノコトガアルカ、何故ニ斯様ナ配當ヲモツト少クシテ、農村ガ本當ニ地獄ニ墮落シテ居ル姿ヲ救ハナイノカ、此ノ聲ハ全國津々浦々ニアツタ、ソコデ私ハ此ノ事ヲ力ヲ強メテ御話申上ゲルノデスガ、何カ斯ウ云フ點ニ付テ將來勸業銀行全體ノ機能カラ見テ、此ノ土地ニ對スル利率ト云フモノモ何カ技術的ノ工夫ガ出來ヌモノカドウカ、又サウ云フコトニ對シテ將來ドウ云フ御關心ヲ持ツテ居ラレカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○山際政府委員 我ガ國ノ現在竝ニ將來ニ於キマシテ、農村ノ占メル地位ガ特殊ノ意味ニ於テ極メテ重要ナモノデアリ、隨ヒマシテ農村振興ノ必要ト云フコトガ非常ニ急務デアリマスルコトハ洵ニ御同感デアリマス、隨ヒマシテ、農村振興ノ一役ヲ買ツテ居リマス勸業銀行ニ於キマシテモ、其ノ運営ノ方針ト致シマシテ、努メテ此ノ刻下ノ急務デアル所ノ農村振興ニ役立チマスルヤウニ、其ノ營業ヲ致シマスマベキコトハ申スマデモナイ所デアリマス、當局ト致シマシテモ、從來トモ、左様ナ方針ヲ以テ勸業銀行等ヲ監督致シテ居ルノデアリマス、認可利率ノ如キモ只今御話ノ如ク極力其ノ低下ヲ圖リマシテ、最近ニ於キマシテハ逐年相當ノ低減ヲ見ツアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、併シナガラ御話ノ根本ニ於テ、農業利潤ガ非常ニ低イノニ對シテ、ソレニ合フ程度ニ勸業銀行モ貸出利率ヲ低下スベキダト云フコトニ相成リマス、是ハヤハリソコニ勸業銀行ダケノ仕組ヲ以テ其ノ點ヲ解決スルコトハ相當困難デアルト云フコトハ前段私ガ申上ゲマシタ通りデアリマス、然ラバ政府ハ例ヘバ勸業銀行ニ對シテ補助金デモ出シテ、之ニ依ツテ低利率ノ資金ノ融通ガ出來ルヤウナ方法ヲ考ヘルトカ、或ハ勸業銀行ノ貸出シヌスル資金ハ悉ク政府ノ低利率ノ資金ニ依ツテ之ヲ賄フトカ、何等カサウ云フ方法ハナイカト云フ種類ノ御尋ネガ後ニ續イテ居ツタカト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、私ガ農業政策ノ方面ハ能ク承知致シマセスケレドモ、御承知ノ通り今ノ行キ方ハ金融ニ付テ特殊ノ銀行等ニ補助金ヲ出スト云フ行キ方デハナク、農民自體ニ其ノ農業ノ繼續ノ爲ニ、振興ノ爲ニ必要ナル各種ノ補助金デアリマストカ、又公共的ナ施設ニ對スル各種ノ國家的援助デアリマス、農業自體ヲ成立タシメル方面ニ於ケル各種ノ助長政策ガ只今執ラレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレ等ノ政策ヲ基調ト致シマシテ、前段申

上ゲマシヤウナ各種ノ不動産銀行ナリ、又農村ノ共同組合ナリ等ガ相寄リマシテ金融ノ部面ヲ擔當スル、斯様ナ仕組ニ於テ全體ノ農業政策ノ調和ヲ保ツテ居ルノデハナイカト實ハ考ヘテ居ル次第ゴザイマス、御話ノ點ハ農業政策ノ全般ニ跨ル中々大キナ問題ト承ツテ居ルノデアリマス、獨リ金融部面ニ於テノ解決シ得ル問題デハゴザイマセスガ、金融方面ニ於キマシテモ今後トモ十分其ノ點ヲ考ヘマシテ、出來ルダケ御期待ニ副ヒ得ルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○吉植委員 ドウカ大先輩デアリマス馬場鎮一氏ノ深キ思ヒヤリト云フヤウナコトモ心ノ中ニ取入レテ、將來此ノ點ニ對スルアタ方ノ溫イ心ニ依ル善處方ヲ切ニ御願ヒシテ此ノ問題ハ是デ打切りマス

モウ一ツ御尋ネシタイノハ、今度ノ第十五條ノ條文中ニ「耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合若ハ其ノ聯合會ヨリ借用ヲ申出タルトキハ共同施行者ガ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ抵當ヲ徵セシテ定期償還貸付又ハ割賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得」斯ウアリマス、所デ第十五條ノ二ニ「日本勸業銀行ハ割増金附勸業債券ノ發行ニ依リテ得タル資金ハ田、畑、鹽田、山林、牧場若ハ養魚池ヲ抵當トシ」斯ウアリマス、此ノ中ニハ原野ト云フモノガ入ツテ居リマセヌ、サウシマス、茲デ此ノ二ツヲ睨合ハシテ見マス、茲ニアナタ方ガ御承知ニナラナイヤウナ大キナ問題ガ起キテ居ルノデアリマス、片方ハ資金ノ貸付目標ヲ田、畑、鹽田、山林、牧場、養魚池、土地ニ於テハ之ニ限定シテシマツテ居リマスカラ、原野ト云フモノハ借リルコトガ出來ナイ、原野ニ

對シテ資金ヲ貸付ケマスト重役ガ背任罪ヲ構成スルト云フコトニナツテ居リマス、然ラバ耕地整理ヲヤルト云フ際ニ、耕地整理ト云フモノハ今マデノ立派ナ田畑ニ依ル耕地整理モアリマスガ、開墾ノ目的トスル耕地整理モアリマス、其ノ時ニ持ツテ居リマスモノハ其ノ開墾致スベキ原野ノミデアリマス、ソコデ此ノ條文ニアリマス通りニ、無抵當定期償還貸付又ハ割賦償還貸付ヲスル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、是デ開墾ガ出來ルト思ツテ居リマス、此ノ方デハ「貸付ヲ爲スコトヲ得」貸付ケルノデハナイ、片方ノ方ハ原野ニハ貸サナイト云フ消極の規定ガアリマシテ、コチラノ方ハ貸付ケルコトヲ得トナツテ居リマスカラ、茲ニ實際問題トシテ一ツノ大キナ齟齬ヲ來シマス、丁度今カラ十數年前デアリマスガ、私が開墾ヲ思ヒ立チマシテ、當時勸業銀行ノ窓口ニ、農林省カラ發行致シマシタ開墾ノ契ト云フモノガアリマシタ、ソレヲ見マスト、二萬圓以下ノ少額資金ハ地方農工銀行又ハ勸業銀行シテ長期無擔保低利資金ヲ以テ貸付ケセシム、二萬圓以上ノ金額ハ勸業銀行ヲシテ之ヲ貸付ケセシム、斯ウアル、私ハ勸業銀行ノ窓口デサウ云フ冊子ヲ貰ヒマシテ、サウ云フコトガ書イテアルモノデスカラ、是デ資金ハ借り得ラレルモノト思ツテ居リマシタガ、段々ヤツテ見ルト今ノ此ノ條文ニ觸レテ原野ニハ貸サナイ、片方ハ貸付ヲ爲スコトヲ得トナツテ居ル、是ハ勸業銀行ノ當局者ガ貸出シシナイガ適當ト思ヘバ貸出シ得ル、斯ウ云フコトニナリマシテ、着手シテシマツテサア途中デ此ノ資金ガ手ニ入ラナイト云フノデ非常ニ戸惑ヒヲ致シマシタ、其ノ當時ノ千葉縣ノ狀況ヲ

申上ゲマス、政府カラノ低利資金ヲ縣ニ於テ割當テマス、縣ニ私ノ耕地整理組合ノ方ニ割當シテ呉レト云フ御願ヒヲ致シマシテモ、千葉縣ニ於テハ開墾ノ目的ノ耕地整理組合ニハ政府ノ低利資金ハ割當テナイコトニナツテ居ルカラ、割當デモ駄目ダカラ割當テナイト言フ、私ノ方デハ駄目デモ宜イカラ割當テテ呉レ、駄目カ駄目デナイカハ先ノ話ダト言ツテ割當デテ戴キマシテ、勸業銀行ニ行ツテ貸付ヲシテ貰ヒタイト言ツタケレドモ駄目ニナリマシタ、當時勸銀ノ本店ニ私ノ友人ガ勤メテ居リマシタカラ、私が不信用デ貸付出來ナイノカモ知レナイガ、ドウナツタラ貸付ケテ貰ヘルノカ、貸付ケテ貰ヘナイト事業ガ中途ニ於テ駄目ニナル、食糧増産ノ目的ガ私ニ於テハ挫折スルノダガ、ドウシタラ貸付ケテ貰ヘルノカ、實情ヲ君カラ聽キタイト言ツテ能ク内情ヲ實シテ貰ツタ所ガ、開墾ガ出來上ツタラ貸スト云フコトデアリマシタ、當時食糧増産、食糧自給策ト云フモノヲ政府ガ立テテ斯ウ云フ仕組ニナツタト承知シテ居リマス、其ノ頃初メテ開墾助成法モ設ケラレデ一意食糧増産ニ邁進シテ居リマス時ニ、斯ウ云フ穴ガアツタ、ソコデ致シ方ガナイカラ、然ラバドウ云フ譯デ貸セナイノカ、是ハ國ノ一大事デアアル、政府ハ之ニ依ツテ食糧増産ガ出來ルト思ツテ居ルガ、民間ニ於テハ資金ヲ得ルコトガ出來ナイ、開墾ト云フヤウナモノハ、金ハ餘リナイ、併シ力ト元氣トガアル、サウ云フモノガ開墾ヲシヨウトスル時ニ、何ノモノニ限ツテ資金ガ借リラレナイト云フコトニナルト、政府ノ食糧増産ハ机上ノ計畫ニナツテ實際ニ行ハレナイコトニナルカラ、容易ナラナイ

コトデアアル、ドウ云フ譯デ貸シテ呉レナイノカ、ソレヲ明瞭ニ教ヘテ貰ヒタイ、是ハ議會ニ於テ友アタリカラ此ノコトニ付テ質疑ヲシタ、私ノ自己ニ對スル不信用カラ借リラレナイナラ宜シイノデアリマスガ、日本全國ニ於テ斯様ナコトガアツテハ一大事デアアルカラ、其ノコトヲ教ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ話ヲ段々進メテ行キマシタラ、其ノ内ニ無事ニ擔保ナシ、長期償還ノ文句通りノモノガ借リラレマシタ、ソコデ私ハ千葉縣ノ耕地整理組合長會議ニ出席シマシタ此ノコトヲ申述ベテ、千葉縣ニ於テハ開墾ヲ目的トスル耕地整理組合ハ、政府ノ言フ低利資金デサヘモ其ノ言フ所ト反シマシテ借リルコトガ出來ナイコトニナツテ居ツタノガ、私ハ借リマシタ、此ノコトヲ諸君ニ申上ゲテ置キマスカラ、諸君ガ若シ貸シテ貰ヘナイヤウナ時ニハ斯ウ云フ前例ガアルデハナイカト云フコトデアリマシタ、其ノ後私ノ友人ガ來テ、アナタガアノ話ヲシテ呉レタノデ大變助カリマシタ、私ノ方デモドウシテモ駄目ダツタノガ、漸ク政府ノ低利資金ヲ勸業銀行ヲ通ジテ借リルコトガ出來ルヤウニナリマシタ、御禮ヲ申シマス、言ツテ挨拶ニ來ラレマシタ、ソレカラ千葉縣ハ開墾ヲ目的トスル所ノ耕地整理組合デモ、政府ノ低利資金ヲ借リラレルコトニナリマシタ、ソコデ現在ノ千葉縣ノ耕地課長ガ一昨日參リマシタノデ、千葉縣ハ斯ウ云フ風ニナツテ居ルガ、アナタノ前任地デハドウデアリマシタカト云フコトヲ聽キマシタ、無擔保、長期低利貸付ト云フコトニハナツテ居ルガ、ドウシテモ擔保ヲ出セト云フコトニナツテ居ル、サウデナイト一面原野

ハ貸付目標カラ除外シテアルノダカラ、ドウシテモ信用ノアル組合ノ役員ノ財産ヲ提供セシメテ、ソレヲ擔保トシテ貸スト云フコトニナツテ居ツテ、ソレモ中々容易デナイガ、マアサウスレバ借りラレル、此ノ無擔保借入ナント云フコトハ到底出來ナイ實狀デアリマシタ、斯ウ云フ話デアツタガ、恐ラク是ハ宜シイ方デ、十四五年前ノ千葉縣ノヤウニ、開墾ヲ目標トスル所ノ耕地整理組合ニハ貸サナイト云フノガ私ハ全體ノ傾向デハナイカ、良クトモ千葉縣ノ耕地課長ノ前任地ニ於ケルヤウナ事情デハナイカ、斯ウ考ヘマスガ、今日食糧増産方國ノ至上命令トナツテ居リマス時ニ、此ノ二ツノ條文ノ示シテ居リマス所ガ導キ出シマス斯様ナ不合理ト云フモノハ、何トカハ善處シテ戴カネバナラナイト思ヒマスガ、之ニ關シマシテ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○山際政府委員 先ヅ御示シノ條文ノ關係カラ申上ゲマス、第十五條ノ第二項ニ依リマスルト、耕地整理ヲ行ヒマスル場合ニ於テ、無擔保貸出ヲナシ得ル規定ガ設ケラレテ居リマスルガ、此ノ規定ハ第十五條ノ二ノ中ニ於キマシテ、只今御示シノ「田、畑云云」ノ少シ先ヘ參リマシテ、「前條第一項乃至第四項ノ貸付」ト云フコトガゴザイマシテ、之ニ依リマシテ第十五條ノ二ノ割増金附勸業債券ノ發行ニ依ツテ得マシタ資金ニ依リマシテ、十五條第二項、即チ耕地整理ヲ行ヒマス爲ノ資金ニ充テルコトガ出來ルコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、第十五條ノ二ノ規定ハ割増金附勸業債券ノ發行ニ依リマスル結果、特ニ比較的安イ利率ノ資金ヲ勸業銀行ガ得ラレマスノデ、ソレヲ以テ農村ノ中心ノ方面ヘ資金ヲ流サウト云フ

趣旨ノ規定デゴザイマス、斯様ナ意味合ニ於キマシテ、此ノ法律自體カラ申シマシテモ、又從來カラノ運營ノ方針ニ致シマシテモ、御話ノ如ク、農村ノ食糧増産ナリ耕地擴張ナリ、其ノ他緊要ナル方面ヘ資金ガ能ク疎通致シマスルコトヲ努メテ參ツテ居ルノデゴザイマス、唯偶、御話ノヤウナ事態ガ過去ニ於テアツタト云フコトデゴザイマスガ、何等カ此ノ條文ノ關係以外ノ他ノ都合ニ依リマシテ御話ノヤウナ結果ニナツタノデハナイカト想像致サレルノデアリマス、尙ホ低利資金ヲ耕地整理組合等ニ融通致シマスル場合ニ於キマシテハ、其ノ貸出先ノ選擇ハ、現在ハ勸業銀行ガ致シマセズデ、預金部其ノ他政府直接ニ其ノ割當ヲ決定致シテ居リマス、場合ニ依リマシテ何等カノ都合デ其ノ決定ノ方ガ遅レマス等ノ爲ニ現實ニ勸業銀行カラノ貸出ガ遅レル、斯ウ云フヤウナ場合モアラウカト思フノデアリマス、只今ノ低利資金ノ割當ノ仕方ハ大體今申上ゲマシタヤウナコトデ進メテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 今御尋ネシマシタ第十五條ノ二ニ對スル御答辯ノ後ノ「前條第一項乃至第四項」ト云フ規定ガアリマスルシ、ソレカラ今第十五條ノ耕地整理云々ト私ガ申上ゲマシタ此ノ規定モアル「貸付ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウナツテ居リマスカラ、ソコデ今申上ゲマシタヤウナ結果ガ出來マシテ、私自身ニ關スル實例ハモウ十四五年前ノコトデアリマスガ、千葉縣耕地課長ノ前任地ノコトハ昨年デアリマス、是ハ現在モヤハリサウ云フヤウニ低利資金ヲ預金部カラ割當テ下サル、サウナルト今度ハ借りラレナイト云フ心配ハナクナツタ、所ガ今度借り

ル段ニナリマス、此處ニ無擔保貸スト云フコトガアルニ拘ラズ、大體ニ於テ擔保ヲ供シナケレバ貸サナイ、是ガ實情ナノデス、ソレカラハ私ノ先輩デアリマスガ、ヤハリ勸業銀行關係者デアリマス、其ノ人ニ私ガ聴キマシタ所、政府ハ斯ウ云フヤウニ「貸付ヲ爲スコトヲ得」斯ウ規定シテアルダケデ、原野ノ開墾スル耕地整理組合ニ對シテ幾許ノ金ヲ貸出ス——「爲スコトヲ得」ト斯ウアルカラソコデ貸出ラシタ、所ガ其ノ事業ガ途中デ挫折シタ、サウスルト勸銀デハ原野ガアルノミデ擔保ニ取ルコトガ出來ナイ、一體誰ガ損害負擔ヲナスカ、政府ガ貸出ラスルコトヲ得ルト云フコトデアラナラバ、其ノ債務保證ハ政府ガシテ呉レルト云フコトニナツテ、勸銀ガ初メテ「スムース」ニ貸出シ得ル、サウデナイト云フト、ココデ勸銀トシテハ自營策ヲ執ツテ、擔保ヲ増徴スルトカ、何等カノコトヲスルコトニナル、是ガ實情デアル、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタ、成程勸銀側ト致シマス、尤モ至極ト考ヘマス、ソコデ損害ガ出來タノデハ致シ方ナイ、斯ウナツテ居リマス、是ハ貸出スルコトヲ得タルノデスカラ、此ノ條文カラ見テ、先ヅ貸出ラシヨウト云フ意思表示ノ條文デアルト私ハ思ヒマス、所ガソレガ實際ニ於テハ無擔保貸出ガ出來ナイト云フノガ現状デス、是ハ政府ノ債務保證ガナイト云フコトニ關聯ヲ致シテ居リマス、一體擔保ヲ増徴スルト云フコトニナリマス、是ハ事業ノ進捗ヲ大變阻碍致シマス、農民ハ自分ノ祖先以來ノ田地田畑ヲ抵當ニスルト云フコトヲ非常ニ嫌ヒマス、堅イ人程嫌フ、ソレヲ一切ノ調印ヲ取ツテ擔保ニ提供セシメルト云フコトニナルト、此ノ仕事ハ

中々涉リマセス、今日ハモウ單刀直入ニドンドン食糧増産ニ邁進セバナラス時デアリマスカラ、斯ウ云フ點ガ、非常ニ差障リニナル、之ニ對シテ何カ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス

○山際政府委員 耕地整理組合ノ事業ヲ進メマスル爲ノ所要資金ヲ預金部ヨリ融通致シマス場合ハ、預金部ニ於テ其ノ貸出先ヲ決定致シ、又貸付條件ヲモ定メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ割當ガ既ニ決マリマシタモノニ付キマシテ、更ニ中間ニ於テ勸業銀行ガ他ノ擔保ヲ要求スルト云フコトハ、政府資金ノ融通ニ付テハ原則トシテナイ筈ト實ハ心得テ居ルノデアリマス、偶、何カノ都合デサウ云フコトガアルト致シマスレバ、ソレハ政府ノ趣旨トハ違フ場合モアルト思ヒマス、今後尙ホ其ノ邊ハ十分注意致スコトニ致シタイト思ヒマス

○吉植委員 其ノ御話ヲ承リマシテ安心致シマシタ、私ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマス

○由谷委員長 午前ノ會議ハ是デ休憩ニ致シマシテ、午後ハ一時十分カラ開會致シマス、ドウゾ委員ノ諸君モ政府委員ノ諸君モ時間ノ御勵行ヲ願ヒマス

午後零時十二分休憩

午後一時十八分開議

○由谷委員長 ソレデハ午前ニ引續キマシテ、是ヨリ會議ヲ開キマス——深澤君

○深澤(吉)委員 私ハ大藏當局ニ「三ノ質疑ヲ致シマスガ、農業經營上自由耕作アリ、制限耕作アリ、又其ノ販賣價格ト云フモノハ一定ノ公定價格ニ依ツテ制約ヲ受ケルト云フ關係上、舊來ノ金融ニ依ル農業經營上ニ於ケル金利、斯様ナ關係ニ付テ大藏當局

ノ御所見ヲ先ツ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 農業ノ方面ニ於キマシテモ、各種ノ方面ニ於キマシテ、種々統制ガ試ミラレテ居リマスルコトハ御指摘ノ通りデアリマスルガ、ソレニ對シテ勸業銀行ナドガ用ヒテ居リマスル貸付利率ノ關係ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フ御尋ネデアリマスルガ、勿論政府當局ト致シマシテモ、不動産金利ハ極力之ヲ低下セシムル方針ヲ以チマシテ、相當久シイ以前カラ其ノ實現ニ努力ヲ續ケテ居ルノデゴザイマス、現ニ本年ノ一月以降ニ於キマシテモ、御手許ニ差上ゲマシタ資料ニモアリマスルヤウニ、極力其ノ利率ノ低下ヲ圖リマシテ、田畑ノ如キモ從來五分六厘ヲ最高ト致シテ居リマシタノヲ五分三厘マデ貸付利率ヲ引下ゲルト云フ措置ヲ執リマシタヤウナ次第デアリマス、尙ホ此ノ方針ハ今後ト雖モ之ヲ繼續スル積リデゴザイマシテ、此ノ邊デ此ノ方針ヲ止メルト云フ考ヘモ勿論ゴザイマセス、尙ホ出來ルダケ努力ヲ續ケタイ考ヘデゴザイマス

○深澤(吉)委員 農業經營、殊ニ土地ノ上ニ立ツ金融ニ付キマシテ、現下速カニ改正シナケレバナラヌ問題ハ、地方的デアリマスガ、北海道ニ於ケル土功組合ノ資金整理問題デアリマス、是ハ大藏當局ニ於テモ既ニ御承知ノコトト思ツテ居リマスガ、由來北海道地方ニ於ケル水田經營ハ自然障礙ヲ受ケマシテ、更ニ最近ニ於キマシテハ病蟲害ト云フヤウナ被害ガ多ク、當初企業上ニ於ケル錯誤ト云フヤウナコトモ引掛リマシテ、非常ニ經營ガ困難ニ陥リマシテ、刻下ノ絶對要請ハ、一面ニ於テハ増産ヲ要請シ、一面ニ於テハ時局下ニ於ケル肥料關係、勞銀

關係ト云フヤウナモノニ追ハレルト云フヤウナ關係カラ、在來借受ケタ事業資金ニ對スル金利ト云フモノハ、低利資金ノ運用ヲ受ケマシテヤツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、金利負擔ニ付テモ、低利デハアリマスルケレドモ、尙ホ且ツ當局ニ於テハ此ノ金利ニ對シテ中繼スル銀行ノ利轄ト申シマス

カ、或ハ手數料ト申シマスカ、斯様ナモノニ對スル御見解ヲ御伺ヒシタイノガ一ツ、其ノ次ニハ還付年限ヲ最高限ニ延長スル、五十年マデ延長スル御考ヘガアルカドウカ、此ノ二點ヲ一ツ御伺ヒシタイノデアリマス
○山際政府委員 北海道ニ於キマシテ土功組合ニ融通ヲ致シテ居リマスル資金ノ整理問題ガアリマスコトハ、私モ承知致シテ居リマス、又其ノ結果ガ只今御指摘ノヤウナ事情ニ基クコトモ能ク承知致シテ居リマス、而シテ斯様ナ事實ニ依ツテ現在ヤツテ居リマスル低利資金融通ノ利轄ヲドウスルカト云フ點デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、斯カル種類ノ資金ノ性質ニ鑑ミマシテ、當局ト致シマシテハ實費ヲ建前ト致シテ居リマス、極力費用ノ節減ヲモ圖リマシテ、相成ベクハ利轄ヲ低下スルコトヲ考ヘテ居リマスガ、建前ハ實費ト云フコトデ進ミタイ考ヘデゴザイマス、尙ホ最長年限マデ其ノ期限ヲ延長シテハドウカト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ點ハ只今ノ考ヘト致シマシテハ、個々ノ組合ノ其ノ事情等ニ基キマシテ、出來ルダケ無理ノナイ限度ニ於テ其ノ期限ヲ延長シタイ、斯様ナ考ヘデ居リマス

ルト思ヒマスルガ、一體此ノ差ト云フモノハドウ位ヲ以テ至當ト見ルカ、當局ノ御所見ヲ一ツ御伺ヒシマス

○山際政府委員 金融機關ガ吸收致シマスル資金ノ「コスト」ト貸付ヲ致シマスル場合ノ運用利子トノ開キガドウ程度ヲ妥當トスルカト云フ問題ハ、是ハ其ノ集メテ居リマスル資金ノ性質、ソレカラ又運用致シマスル方法等ニ依リマシテ、一概ニ申スコトハ甚ダムヅカシイト思フノデゴザイマス、又只今ノ御話ノヤウニ金融機關ノ規模ニ依リマシテモ、經費ニ相當スル部分ノ割合ガ比較的多ク要ル場合、比較的少クテ濟ム場合等、様々ナル場合ガアラウト思フノデアリマス、之ヲ理窟トシテ申シマスルコトハ中々ムヅカシイノデゴザイマスルガ、大體ニ於テ現在ノ貸付ノ利益ニ付テハ政府ガ之ヲ監督致シテ居リマス、先ツ現在ノ程度ニ於キマシテハ金融機關ノ側ニ於テ不當ナル利益ヲ稼イデ居ル、斯様ナ風ニハ見テ居リマセヌノデ、現狀ニ於テハ大體適正ナル水準ニ來テ居ルノデハナイカ、斯様ニ見テ居ル次第デゴザイマス

斯様ノ點ニ對スル當局ノ御所見ヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 現在生産擴充ノ中ニ於キマシテモ、食糧ノ増産ノ方面ニ於テ非常ニ努力ヲシナケレバナラヌ點ノ多イコトハ御話ノ通りデアリマスルガ、此ノ場合ニ必要ナル資金ヲ如何ニシテ調達スルカ、開墾セラルベキ土地ハ何等マダ收益ヲ擧ゲテ居ラヌ土地デアルカラ、直チニ是ガ擔保ニハナラナイ、然ラバ如何ニシテ是等ノ耕作者ガ、其ノ資金ヲ調達出來ルカト云フ御尋ネト承ツタノデアリマスルガ、斯カル場合ニ備ヘマシテハ、是ハ午前ノ委員會ニ於テモ御話ガ出タノデアリマスルガ、例ヘバ耕地整理法ニ依リ耕地整理組合、又ハ其ノ聯合會ニ對シ、若シハ耕地整理ノ共同施行者ニ對シマシテ、連帶デ借用ヲ申出デマシタヤウナ場合ハハ無擔保デ金ヲ融通スルコトカ出來ルトカ、或ハ又五人連帶ノヤウナ場合ニ於キマシテハ無擔保デ開墾其ノ他農業上ノ資金ヲ融通シ得ルトカ、法律ヲ建前ト致シマシテハ様々ナル道ヲ設ケテ居リマシテ、必要ニ應ジテ斯カル場合ニ於テハ擔保ヲ微セザル資金ノ調達ガ行ヘルヤウニ配慮致シテアル次第デアリマス

○深澤(吉)委員 次ハ延滞利子ノ問題デアリマスガ、自由經濟ノ時代ニ決メテ延滞利子ト申シマセウカ過意金ト申シマセウカ、斯様ナモノヲ今尙ホ續行シテ居ルヤニ承知致シマスガ、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 延滞利子ノ限度ニ付キマシテハ、大體政府ノ方ニ於キマシテ之ヲ監督致シテ居リマシテ、漸次引下ゲツツアルノデゴザイマス、併シナガラソレハ最高ヲ

押ヘテ居ルノデアリマシテ、實際今ヤツテ居ル所ヲ申上ゲマスレバ、延滞シタヤウナ場合ニ於テモ特ニ延滞ノ故ニ利息ヲ増加スルト云フ取扱ヲ致シテ居リマセスノデ、延滞ヲシタヤウナ場合ニ於キマシテモ此ノ基本ニナツテ居ル約定利率ヲ以テ其ノ延滞期間ニ相當スル利息ヲ支拂ツテ戴イテ居ル、斯様ナ取扱ヲ實際上致シテ居リマス

○深澤(吉)委員 終リマシタ

○松田(正)委員 關聯ガアリマスカラ、此ノ際一寸勸業銀行ニ付テ承ツテ見タイト思ヒマス、午前中カラ大分勸業銀行ニ付テ質問應答ガセラレマシテ、私ハ勸業銀行ノコトダケニ付テハ質問ヲ致サス積リデアリマシタガ、少シ其ノ質問應答ノ結果ドウモ複雑ニナツタヤウニ思ヒマスノデ、簡單ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、勸業銀行ノ貸付ハ、現在擔保トナツタモノカラ收益ガ得ラレ、ソレヲ以テ辨濟ガ出來得ルト云フコトヲ根本ニ置イテ貸付フシテ居ルノデハナイカト云フコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 勸業銀行ガ擔保ヲ微シマシテ資金ヲ融通致シマスル場合ニ、其ノ擔保トナリ得ル物件ハ、収益性ノアル物件デアルコトヲ原則ト致シテ居リマスルコトハ、是ハ通常ノ金融ノ場合ニ於ケル擔保ノ關係カラ致シマシテ必然ナコトデアラウト思フノデアリマス、唯擔保物件ハ収益性ヲ持つト云フコトガ一つノ要件デアリマスルケレドモ、具體的ノ貸出ノ利子ガ、其ノ擔保物件ノ收益ニ依ツテ支拂フコトニナツテ居ルカト云フ關聯性ニ至リマシテハ、必ズシモソレハ當然ソレヲ豫定シテ居ルトカ、其ノ間ニ必然的ノ關係ヲ持つテ居ルトカ云

フコトデハナカラウト思フノデアリマス、即チ擔保物件カラノ收益ニ必ズシモ期待致シマセズデモ、債務者ノ他ノ資産デアルトカ、或ハ信用デアルトカ、其ノ他ノ各般ノ事情ヲ取入レマシテ融通ガ行ハレテ居ルト考ヘルノデアリマシテ、ソコニ必然的ノ關係ハ考慮セラレテハ居ナイノデハナイカト考ヘマス

○松田(正)委員

ソレハ必然的トハナツテ居ラヌカモ知レマセスガ、ソコ午前中モ原野ノ問題ガ起ツタノデハナイカト思フ、原野ハ收益ガ無いノデ勸業銀行、農工銀行等ノ擔保ニナリ難イ、尤モ今ハ段々ソレガ緩和サレテ居ルヤウデスガ、マダ地方デハ擔保物ノ收益ガ、割賦辨濟ヲナスニ足ルベキ收入ノナイ場合ハ貸サナイト云フノデ、拒ンデ居ル事實ガ澤山アリマス、ソレガ今ノ問題ニナルノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ヲハツキリ伺ヒタイト思フノデアリマス

○山際政府委員 債務者ガ資金ノ融通ヲ受ケマスル場合ニ、其ノ擔保物件ヨリ上リマス所ノ收益以外ニ何等期待シ得ベキ所ノ收入ガナイト云フヤウナ場合ニハ、勢ヒ其ノ擔保物件ノ収益性ニ相當重キヲ置クト云フコトハ免レ難イ所デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ實際ノ場合ニ於キマシテハ、單ニ其ノ擔保物件ノ收益ノミニ着眼スルコトナク、例ヘバ今御話ノ原野ノ問題ニ致シマシテモ、相當個人的ニ其ノ借入人ノ信用ガアリマス場合ニ於キマシテハ、其ノ者ガ一定ノ條件ニ從ツテ連帶ラシテ申込ミマシタヤウナ場合、無擔保デ其ノ資金ヲ融通スルト云フヤウニ對人信用ニ依ル資金ノ融通ノ道モ相當考ヘラレテ居ルノデアリマシ

テ、ソレヲ通ジテ見マスル場合ニ、全體トシマシテ必ズシモ擔保物件ノ收益ノミニ着眼ヲ致シテ居ルノデハナイ、斯様ニ申シ得ルト考ヘテ居リマス

○松田(正)委員

ソレハ今度ノ改正法律案ニ於テモ範圍ハ廣クナツテ居リマス、ソレ段々緩和サレテ來テハ居ルヤウデアリマスガ、午前中ノ質問應答デ問題ニナツタノハサウ云フ點デハナイカト思フ、一體信用貸ト云フモノハ今ノ所デドウ位アルカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員

手許ニアリマス材料ハ昭和十六年上半期末ノモノデスガ、ソレニ依ルト勸業銀行ニ於テハ有抵當貸付ノ現在高ハ九億六千六百萬圓デアアルノニ對シテ、無抵當貸付ハ二億二千八百萬圓ニナツテ居リマス

○松田(正)委員

ソレガ地方デハ信用貸ト云フモノハ大部分拒マレテ居ルヤウニ見受ケラレマス、近頃段々貸付ケラレルヤウニナツテ來テハ居リマスガ、モウ一段ノ御考慮ヲ願ヒタイ、一例ヲ申上ゲテ伺ヒマスガ、田地ヲ五町半、宅地ヲ三千七百六十坪、建物ガ一千四百二坪、是ダケ所有シテ居ル者ガ息子ヲ教育スル爲ニ親戚其ノ他高利貸カラ一万五千圓餘ノ借財ガ出來タ、高利貸カラ最初一万五千圓借りタモノガ、借替ヘ借替ヘラシ、手數料ヲ拂ヒナドシテ四年半ニ九万三千百圓ニナツタ、此ノ儘デ行ツタナラバモウ一年カ二年デ財産ハ少シモ無クナツテシマフ、勿論幾ラカ自作農モワツテ居ルシ、小作モ取立テテ居ル、ソレヲ相談ヲ受ケタノデスガ、ソレデ色々考ヘテ見テ、是ハ勸業銀行デ一部救済ハシテ貰ヘヌノカト言ツタ事實ガアルノデスガ、之ヲ放ツテ

置クト、モウ二年モ経タヌ内ニ全財産ガナクナツテシマフ、高利貸ノ餌食ニナツテシマフ、斯ウ云フモノハ勸業銀行デ救済ニナルデセウカドウデセウカ

○山際政府委員

只今ハ非常ニ不幸ナル具體的ノ例ヲ御舉ゲニナリマシテ、其ノ救済方法ニ付テハ御尋ネデアリマスガ、直チニ其ノ實例ニ當儀マルカドウカハハツキリ分リマセスガ、只今ハ御承知ノ如ク農村負債整理法ニ依リマシテ、農村負債ノ處理ヲ進行セシメツツアリマス、又不動產融資及ビ損失補償法モ施行中デアリマス、之ニ依リマシテ適正ナル金利ニ依ル通常ノ不動產金融機關ヘノ肩替リノ方法モ設ケデアリマス、差當リ不動產擔保債務ノ整理方法ト致シマシテハ、ソレ等ノ整理方法ガ活用セラレルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレガ的確ナル今御舉ゲノ例ニ該當スルカドウカハハツキリシタコトハ申上ゲ兼ネマス

○松田(正)委員 サウ云フ場合ニハ勸業銀行ハヤハリ借りニ行ツテモ貸サスト云フコトニナルノデスカ、外ニ融資方法モアリマスシ、肩替リ方法モアルコトハ承知シテ居リマスガ、ソレハ高利貸シカラソナ高イ金ヲ借りテ居ル債務者デアリマスカラ、ソナ法的ノ考ヘモ何モナイ、唯不動產デ貸シテ呉レルノハ勸業銀行ダト實ハ思ツテ居ル、ソレデコンナ場合ハ借りニ行ツタラ、勸銀デ貸スノカ貸サヌノカ、外ノコトハ別ニ致シマシテ、今聽イテ居ルノハ、勸業銀行デ是ガ借レルノカ借レヌノカ、勸業銀行ハコンナ者ヲ救済スル銀行デヤナイノガラウカドウカト云フコトダケ承ツテ置キマス

○山際政府委員 勸業銀行ト致シマシテハ

只今ノヤウナ御話ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ擔保トナツテ居リマスル不動産ノ鑑定價格ノ範圍内ニ於キマシテ、從來ノ規定ニ依リマス。三分ノ二ト云フコトデアリマシタケレドモ、其ノ規定ノ制限ヲ受ケズニソレ以上、恐ラクハ鑑定價格ヲ以チマシテ肩替リスル方法ガ、只今申上ゲマシタ不動産融資及ビ損失補償法デ出来ルノデアリマス、又只今申上ゲマシタ負債整理ノ方法ニ依リマスレバ、債權者ニ對シテ相當ノ讓歩ヲ求メル、或ハ他ノ金融機關ヘノ其ノ結果トシテ肩替リヲ容易ナラシメル、左様ナ途ガ設ケラレテ居ルノデアリマス。

○松田(正)委員 勸業銀行デ借レルノカ借レヌノカト云フノデスガ、ソレヲ答ヘテ貴ヘバ宜イノデス、外ノ途ハ分ツテ居ルノデス、コンナ場合ハ勸業銀行デ借レルノカ借レヌノカ、擔保物ノ評價ノ三分ノ二デアツタノガ三分ノ三ト、法律ハソナナ風ニ變ツテ行クコトニナツテ居リマスケレドモ、ソレヲ言フノデヤナイ、コンナ場合ニハ勸業銀行ハ救済シテヤレルノカヤレナイノカト云フコトヲ聽イテ居ルノデス。

○山際政府委員 勸業銀行ガ扱ヒマスノハ、サウ云フ御示シノヤウナ場合ハ、恐ラクハ擔保デ取レル限りニ於テ肩替リスルト思ヒマス。

○松田(正)委員 ドウモ恐ラクカ何トカ言フコトデナク、是ハスツバリ貸付ヲスルノカドウカ、勸業銀行ノ營業カラ見テ當然貸付ケナケレバナラス、價格ノコトヲ言フノデヤナイ、コンナモノニ對シテハ當然貸付ケテ行カナケレバナラス義務ガ營業ノ上カラ言ウタラアルノデヤナイカ、價格ヲ一パイニ見テ肩替リ出来ルダラウト言フノデ

スカ、其ノ價格デアリマスガ、ソレハ今マデ三分ノ二ト云フノデアツテ、今度ハ價格一パイ見ルト云フノデスガ、コンナヤウナコトハ見方ニ依ツテハ甚ダ相違ガアリマシテ、或ハ水掛リガ惡イトカ、或ハ耕地整理ガ未完成ダトカ、色々ノ理窟ハ附ケヨウト思ツタラ附クデアリマス、三分ノ二トカ一パイト云フヤウナコトガ書イデアリマスケレドモ、ソナナ改正ハ何ニモナラス、之ヲヤルト言ツテ、價格ヲ高ウ見ヨウトスレバ高イヤウニ理窟ヲ附ケルシ、安ク見ヨウト思ツタラ安イ理窟ヲ附ケルシ、借主カラ言フ理窟ト云フモノハ勸業銀行ハ相手ニスベキモノデヤナイ、又相手ニシテハ弊害モ起ルデセウケレドモ、今承ツテ居ル所ニ依ルト、擔保物ノ價格アルダケハ是ハ肩替リ出来ルダラウト云ヘバ、是ハモウソレデ宜イノデスガ、其ノ擔保物ノ價格ダケ貸付ケテ居ルカドウカハ、事實ニ於テハ大分違ツテ居ルノデ、ソナナハ相手ニシマセヌ、ト云フノハ自作農ガ、午前中ノ吉植君ノ質問ニアツタノデスガ、自作ガ今ノ場合ニ七反程デアトハ小作、其他ハ小作カラ上ツテ來ルノヤ一ツノ收入トシテ、其ノ額ガ出テ行クカト云フト出テ行カナイ、サウスルト貸付ケヌト云フ、ソレデドウ云フ風ニナツテ行クカト云フト、吉植君ノ如クヤハリ小作ニ取ツテ居ル利息ガ所謂三分五厘、ソレデ五分五厘ノ利息ヲ拂ハナケレバナラスルト、ソレハ返シテ行ケマセヌ、ソレデ地方ニ於テハ色々問題ガ起ルノデスガ、斯ウ云フヤウナコトヲ根本的ニ何カ解決スル方法ハナイモノデセウカ、他ノ肩替リノ融資其ノ他ハ別ト致シマシテ、勸業銀行自身トシテ何カ是等ノモノヲ救済スル便法ハナ

イモノデセウカ、實際ハ是ハ貸シテ居ラス、實際ハ收入ガ得ラレテソレデ返シテイケナイノデスカラ、又ソレデ高利貸カラ九万三千圓モ借りテ居ルノダカラ、ドウセ勸業銀行ハ一番ノ抵當デナケレバ取ラスノデス、ダカラ勸業銀行ハ九万三千圓ト云フモノヲ貸サナダナラバ、債務者ハ返シテ其ノ餘力ヲ見ルコトハ出来マセヌ、ト云フノハ皆擔保ノ抵當ヲ食ツテシマヒマス、二番デ承知シテ呉レ。勸業銀行ガ一番デアアルモノガ、アトハ二番デ承知シテ呉レルカト云フト、ソナナコトハ承知シテクレマセヌ、結局價格如何ニ拘ラズ、斯ウ云フモノニハ貸付ハ出来ヌト云フコトニ結論ガナル、ソレニ二

三ノ勸業銀行ノ支店ニモ私當ツテ見マシタガ、斯ウ云フヤウナモノモ大分アルヤウニ承ツテ居リマスガ、是ハ今一時ニ機構ヲ全然變ヘテシマフト云フ譯ニハ行カヌカモ知レマセヌガ、何カ斯ウ云フ際ニ一ツ勸業銀行ガ出テ救済スル方法ガ大藏省ノ方デ御考ヘニナレヌモノデアラウカト云フコトヲ伺ヒマス。

○山際政府委員 勸業銀行ト致シマシテモ、其ノ力ノ許ス範圍ニ於テ、極力農村方面ニ於ケル負債整理ニ貢獻スベキコトハ、私ハ勸業銀行ノ使命ノ一ツデアルト信ジマス、併シナガラ一面ニ於キマシテ勸業銀行ガ其ノ自力ヲ以テ此ノ負債整理ノ爲ニ働キ得ル限度ト云フモノハ、ソコニ自ラ一定ノ程度ガアラウト思フノデアリマス、只今ノ御話ハ九万何ガシカノ負債ヲ直チニ全部肩替リスルト云フコトデアリマスレバ、其ノ御話ハヤハリ其ノ適當ナル限度ヲ超過シタ御話デハナイカト思フノデアリマス、ドウ致シマシテモ其ノ超過部分ニ付キマシテハ、或

ハ債權者ニ讓歩ヲ求メルナリ、所謂負債ノ整理ヲ致シマシテ、一定ノ用途ガ立チマシタ上ニ於テ、勸業銀行ナリ或ハ其ノ他ノ機關ナリガ、其ノ力ノ及ビ範圍ニ於テ肩替リヲシテ行ク、斯ウ云フ手續ヲ履ムヨリ致シ方ガナイカト思フノデアリマシテ、直チニ全部ニ付テ不動産銀行ノ肩替リヲ促スコトハ困難ナヤウニ考ヘラレマス。

○松田(正)委員 ソレハ價格ノ點ハサウ云フ風デスガ、皆ソレヲ見マシタ所ガ、十七萬圓バカリノ評價ガアル、所デ十七萬圓ノ評價ガ銀行デシタ評價ナラバ、ソレハ三分ノ二デスカラ貸サヌ譯ニ行カヌコトニナルノデセウガ、唯モウ門前デ斷リタイガ爲ニ特ニ見積價格ヲ低クシテ、債務者ガソレダケノ金ヲ借りテ肩替リ出来ヌト云フ所ニ陷レテ拒ンデ居ル、斯ウ云フ事實デアリマス、サウ云フコトガアツタ場合ニモ、是位ハ評價ニ付テノ改正ガアルノデスカラ、銀行ノミデ評價ヲ考ヘルト云フコトニナツタラ勝手氣儘ナ評價ヲスル、デスカラ評價ヲスル上ニ第三者トシテ信用ノ出来ルヤウナ何カ一ツノ機構ガ新シク設ケラレル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、ソレニ對シテ御意見ガアレバ承リタイ。

○山際政府委員 不動産價格ノ鑑定ハ他ノ有價證券等ト違ヒマシテ、所謂客觀的ナ時價ナルモノヲ立テルコトガ中々難シイヤウナ物件デアリマスルカラ、隨ヒマシテ一律ニ誰ガ見テモ此ノ標準ニ受取レルト云フヤウナ客觀的標準ヲ作ルコトハ困難ナ事情ニアルカト思フノデアリマス、併シナガラ銀行ト致シマシテモ、既ニ不動産金融業ヲ始メテカラ長イ歴史ヲ經過致シテ居リマスシ、其ノ間當局モ銀行ト一緒ニナリマシテ、御話

ハ債權者ニ讓歩ヲ求メルナリ、所謂負債ノ整理ヲ致シマシテ、一定ノ用途ガ立チマシタ上ニ於テ、勸業銀行ナリ或ハ其ノ他ノ機關ナリガ、其ノ力ノ及ビ範圍ニ於テ肩替リヲシテ行ク、斯ウ云フ手續ヲ履ムヨリ致シ方ガナイカト思フノデアリマシテ、直チニ全部ニ付テ不動産銀行ノ肩替リヲ促スコトハ困難ナヤウニ考ヘラレマス。

○松田(正)委員 ソレハ價格ノ點ハサウ云フ風デスガ、皆ソレヲ見マシタ所ガ、十七萬圓バカリノ評價ガアル、所デ十七萬圓ノ評價ガ銀行デシタ評價ナラバ、ソレハ三分ノ二デスカラ貸サヌ譯ニ行カヌコトニナルノデセウガ、唯モウ門前デ斷リタイガ爲ニ特ニ見積價格ヲ低クシテ、債務者ガソレダケノ金ヲ借りテ肩替リ出来ヌト云フ所ニ陷レテ拒ンデ居ル、斯ウ云フ事實デアリマス、サウ云フコトガアツタ場合ニモ、是位ハ評價ニ付テノ改正ガアルノデスカラ、銀行ノミデ評價ヲ考ヘルト云フコトニナツタラ勝手氣儘ナ評價ヲスル、デスカラ評價ヲスル上ニ第三者トシテ信用ノ出来ルヤウナ何カ一ツノ機構ガ新シク設ケラレル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、ソレニ對シテ御意見ガアレバ承リタイ。

ノヤウナ鑑定方法ナリ又融通ノ方法ナリニ付テ種々研究ヲ重ネテ參ツテ居ル今日ノコトデアリマスカラ、銀行ト致シマシテ鑑定シテ居リマス所ガ著シク不當ナ場合ト云フヤウナコトハ、漸次少クナツテ參ツテ居ルノデハナイカト思フデアリマス、尙ホ此ノ點ハ將來トモ能ク私共トシテ留意致シマシテ、其ノ鑑定ガ適正ナ程度ヲ逸シマセヌヤウニ十分考ヘテ參リタイト思フデアリマス

○松田(正)委員 結局三分ノ二ト云フノト一バイト云フノト法律ハ改正ニナリマシテモ、今ノ所何カ公平ナ鑑定ヲスル方法ガナケレバ、此ノ改正ハ何ニモナリマセヌ、事實何ニモナリマセヌ、デスカラ其ノ點ヲ考ヘテ置イテ貰ヒタイ、法制局長官モオイデニナツテ其ノ方ノ順序ガ出來テ居ルサウデスカラ、私ハ一寸茲デ止メテ他ノ方ニ譲リマス

○由谷委員 法制局長官ガ見エマシタカラ川俣君ニ保留質問ヲ許シマス

○川俣委員 此ノ委員會ニ掛ツテ居リマスル戰時金融庫及ビ勸業銀行ノ改正ニ伴フ要點カラ致シマシテ、政府ハ日本ノ國防力ノ増大發展ノ爲ニ新規ノ企業ノ計畫ヲ要スルモノ、或ハ擴張ヲ要スルモノ、或ハ原料生産確保ノ爲ニ採算ヲ割ツテモ尙ホ操業ヲ要スルモノ等ニ對シテ金融ヲスルヤウデアリマスガ、其ノ中デ時局産業ト致シマシテ、軍需産業ト致シマシテ、原料生産ガ主ナルモノダト思フデアリマス、ソコデ私ハ法制局長官ニ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、日本ノ鑛業法ハ諸外國ノ鑛業法ト、大體模倣デアリマスカラ同様デアリマシテ、鑛業權ハ物權ト致シマシテ不動産ニ關スル規定

ヲ準用スル、鑛業權ハ不可分トスト云フヤウナコトデ、鑛業法ノ十五條、十六條ニ明確ニナツテ居リマス、又其ノ鑛業法ノ發展ノ歴史カラ見マシテモ、土地ノ所有權ヨリ獨立シテ、鑛業權ト云フモノガ發生致シマシタ歴史カラ見マシテモ、地下資源ノ開發ハ土地所有權者ニノミ一任スベキモノデハナクシテ、之ヲ國家ノ爲ニ開發ヲ期待シナケレバナラスト云フ所カラ、土地所有權カラ分離致シマシテ、所謂地下埋藏資源ノ開發ノ爲ニ出來タ法律デアリマス、隨テ大體所有權ト同様ナ權利ヲ鑛業權ニ認メテ居ルト私共ハ考ヘテ居リマスガ、サウ御解釋ニナツテ居リマスカ、其ノ點ヲ御尋ネシタイ

○森山政府委員 鑛業權ノ法律上ノ性質ニ付テ御見解ヲ御述ベニナリマシタガ、私モ大體同ジヤウニ考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソレデ御尋ネシタイノデスカラ、大體鑛業法ノ重點ガ鑛業法第四十條「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日ヨリ一箇年以内ハ事業ニ著手セヌ若ハ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ採掘ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」又三十九條ニハ「鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、大體公益ヲ害スルト云フノハ今マデハ保安警察ノ上カラノミ考ヘラレテ居ルヤウデアリマスガ、日本ノ産業ノ全體カラ見マシテ今日ノヤウナ大東亞戰爭ノ下ニ於テ國防力ヲ増大シナケレバナラス場合ハ、凡ユル生産方面カラ見テ尙ホ公益ヲ害スルト云フ風ニ擴大シテ考ヘラレナイノデアルカドウカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイ

○森山政府委員 鑛業法第三十九條ノ公益

ノ解釋デアリマスガ、此ノ公益ノ解釋ニ付テ今御話ニナリマシタヤウナ廣イ解釋ガ出來ルカドウカハ私ハ今一寸ハツキリ御答辯シ兼ねマス

○川俣委員 大體今マデノ通説ハ保安上ダケニナツテ居ルノデアリマスガ、ナゼ保安上ダケニナツテ居ルカト云フト、鑛業權ヲ非常ニ重大ニ認メテ居ツタ爲ニ、特別ニ危害ヲ與ヘナイ限リニ於テハ鑛業權ヲ尊重シヨウト云フ建前デアラウト私ハ思フデアリマス、ソレデ擴大解釋ガ出來ナイデ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソコデ更ニ話ヲ進メテ行キタイノデアリマスガ、鑛業權ニハ御承知ノヤウニ處分ノ規定ガアツテ「鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得」ト云フコトデ、鑛業財團ヲ作ツタリ、鑛業權ヲ抵當物件トスルコトヲ許シテ居リマス、隨テ其ノ反對ト致シマシテ、鑛業權一般ノ處分能力ニ制限ヲ加ヘテ居リマスノハ鑛業警察上ノ責任ヲ十分ニ盡サセルト云フコトハ論ヲ俟タナイ、隨テ鑛業權ヲ先掘ト稱シテ鑛業權ノ賃貸借ヲナス慣習等ハ大體認メナイ解釋デアルト云フコトガ通説デアリマスガ、大體同様御考ヘニナツテ居リマスカ

○森山政府委員 所謂先掘ト云フモノハ政府トシテハ大體認メナイ方針ニナツテ居ルト思ツテ居リマス

○川俣委員 鑛業法ノ四十三條、四十四條、四十五條等カラ見マシテ、鑛業權者ト云フモノハ誠實ニ採掘ヲナシ、其ノ採掘ニ基イテ色々ナ企業計畫——鑛業法デハ施業案ト申シマスガ、色々ナ企業計畫ヲ付ケマシテ許可ヲ要スル、其ノ許可ニ基イテ鑛區稅ヲ

納入シテ鑛業權ヲ明確ナラシメテ居ルノデアリマスガ、ソコデ問題ハ具體的ニナリマスガ、鑛區稅ト云フモノハ御承知ノ通り前拂ヒデアリマス、前年拂ヒデアリマス、所ガ今度企業許可令ニ石炭ノ採掘權ガ許可ヲ要スルヤウニナリマシタ、大體企業許可令ノ本體ハ企業ノ整備ニアルコトハ政府ノ説明ニ依ツテ是ハ明瞭デアルヤウデアリマス、又許可令ト申スケレドモ、大體不許可令デアルコトモ政府ノ聲明ニ依ツテ明ラカナヤウデアリマス、サウ致シマスルト、企業許可令ノ狙ツテ居ル所ハ、企業合同、所謂事業ノ整備ニアル、ソコデ事業ノ整備以外ノ物權デ此ノ企業許可令ニ入ツテ居ルノハ石炭ノ採掘權ダケデアリマス、外ノ事業ハ事業權デアリマス、一方カラ言フト施業案、事業計畫ニ基イテ計畫書ヲ出シテ、ソレニ依ツテ認可ヲ受ケタ鑛業權ガ又企業許可令ニ依ツテ認可サレナイト云フコトニナリマスルト、鑛業權ヲ否定スルヤウナ傾キニ相成ルノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ所見如何デスカ

○森山政府委員 今ノ御質問ハ大變難カシイ御質問デアリマスガ、最近ノ統制法規ト云フモノハ從前アル所ノ事業法規トカ、其ノ他鑛業法ノ如キ一種ノ物權ヲ發生サセルヤウナコトヲ規定シテ居ル法規、サウ云フモノノ上ニ網ヲ被セタヤウナ形ニ行ツテ居ルノデス、勿論法規ニ依リマスレバ、事業法規自體ノ中ニ制統ノ色彩ヲ非常ニ濃厚ナ程度ニ持ツテ居ルモノモアリマスケレドモ、鑛業法トノ關係カラ言フト、鑛業法自身ハ別ニ統制的ノ色彩ノ規定ヲ持ツテ居ナイ、其ノ儘ヤルト、言葉ハ、非常ニ惡イケレドモ、唯權利ヲ自由ニ使ツテヤツテ行ク、一種ノ

施業案ヲ立テテ、ソレサヘ差支ヘナケレバ、其ノ儘ヤツテ宜シト云フコトニナルノデアリマスガ、唯ソレダケデハ困ルノデ、他ノ一般ノ國家ノ統制ノ見地カラ産業能率ヲ最高度ニ發揮サス爲ニ、ドウシテモ別ノ見方カラ統制法規ヲ作ラナケレバナラス、換言スレバ從前ノ儘ノ法規ヲ其ノ儘適用シテ、國家ノ最高目的ニ事業ノ經營ガ合シテ行クヤウニスル爲ニハ、ドウシテモ別ノ見地ノ統制ヲシナケレバナラスト云フ所カラ、企業許可令ノ上ニ統制法規ガモウ一ツ被ツテ來ルト云フコトニナルト思フ、其ノ爲ニ從來持ツテ居ル權利等ガ或ル程度ノ制限ヲ受ケルトカ云フヤウナコトハ、統制法規ノ當然ノ結果トシテ已ムヲ得ナイノデハナイカト思フノデアリマス、唯既存ノ權利ハ成ベク尊重シテ行カケレバナラスノデアリマスガ、統制ノ結果或ル制限ヲ受ケテ持ツテ居ル權利ガ實際ノ效果ヲ發揮シナイ狀態ニ立到ルコトハ、是ハドウモ已ムヲ得ナイノデハナイカト思フノデス

○川俣委員 我ハ大體長官ト考ヘハ同ジデス、同ジ點カラ尋ネテ居ル、去年ノ議會ニ於キマシテ、私ハ建議案ヲ出シテ、鑛業法ガ不備ニ現在ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ナイカラ、此ノ法規ヲ事業法規ニ改正シタルドウカト云フ建議案ヲ出シタ、時ノ政府ハ、ソレマデニ立到ツテ居ラナイ、其ノ法規ヲ十分活用スルコトニ依ツテ其ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルト云フ答辯ヲシテ居ル、私ハ改正ノ要點ヲ述ベテ居ルノデス、又政府ハ此ノ重要鑛物増産法ニ基イテ不備ナルモノハ其ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルト答辯シテ居ル、今日マデノ日本ノ鑛業界ノ發展ノ上カラシテ之ヲ整備シナケ

レバナラナイト云フ意見ハ、私モアナタ以上ニ熱烈ニ持ツテ居ル、ケレドモ之ヲ適用スル場合ニ於テ寧ロ私ハ鑛業法ヲ改正シテ其ノ目的ヲ達成スベキデアルト云フ點ニアルノデス、唯企業許可令ノ中ニ、ヤハリ一ツノ鑛業法ノ求メタ物權デアルカラソレヲ制限スルコトハ決シテ惡クハナイ、鑛業法ニ基イテ制限ヲシ公益ヲ害スルナラバ施業案ヲ變更スルコト云フ法規モアルカラ、ソコマデ加ヘテ行カケレバナラスト思フ、大體意向ヲ聽イテ見ルト、斤先掘ガ現實ニアルノデアル、ソレヲ今統合シナケレバナラスノデ、斯ウ云フ規定ヲ入レタト云フノガ大體ノ意向ノヤウデアル、一方ニ於テ鑛業權ハ斤先掘ヲ認メテ居ナイ、是ハアルモノナリトシテ許可令ヲ設ケタト云フコトニナルナラバ、ドウシテモ是ハ矛盾ガアルノデハナイカ、ドウシテモ解決シナケレバナラスノデハナイカト思フ、或ハ興業銀行等モ物權抵當權ト致シテ貸付ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、或ハ鑛業財團ヲ設ケテ居ル爲ニ鑛業財團ニ對シテモ非常ナ貸付ヲ致シテ居リマス、ソレガ設備致シテ居リマスル事業ガ許可ヲ受ケナケレバナラス、大體政府ノ答辯ニ依リマス、石炭ニ付テハ、探掘權ニ對シテ全部許可スル方針ナラバ、敢テ許可令ノ中ニ之ヲ加ヘル必要ハナカッタデハナイカ、試掘權ノヤウナモノデアアルカラ曖昧ニシテ置クト云フナラバ企業許可令ニ加ヘル必要ガアルカモ知レヌガ、試掘權ノ如キ事業ヲシナケレバ權利ヲ剝奪スルコト云フノガ鑛業權ノ建前デアル、一年以內ニ事業ヲシナケレバナラス、又施業案等ニ基イテ事業ヲシナケレバナラスト云フ義務ヲ負ハシテ居ル、一方ニ於テ施業

案ヲ認メ、事業計畫ヲ認メ、ソレヲ探掘權ヲ許可シテ居ル、而モ監督ヲシテ居ル、所ガ一方ニ於テヤハリ企業許可令ニ基イテ企業許可ノ申請ヲシナケレバナラス、私ハドウシテモ茲ニ矛盾ガアルト思フ、又一方ニ於テ鑛業權ハ税金ハ前拂ヒデアルカラ、税金ハ先ニ取ツテ居ルケレドモ許可ハシナイト云フコトニナルト、他ノ事業トハ違フト思フ、鑛業權ハ色々ナ危險ヲ負ヒマス、又冒險デアアル爲ニ、土地所有權ヲ制限シテ居ル所ノ鑛業權ヲ取得シテソレヲ拋棄スルト云フヤウナコトハ、國家ノ爲ニモ好マシクナイト云フコトデ、税金ヲ前取致シテ居ルト云フコトハ十分察シマス、其ノ通りダト思フ、併シナガラ誠實ニ探掘シヨウトスルモノヲ、尙ホ許可ヲ受ケナケレバナラナイト云フノハ、私ハ考ヘ到ラナイデハナイカト思フ、石炭ハ増産シナケレバナラナイ、去年ノ議會ニ於テモ改正シテ試掘權ヲ四年ニ致シタノハ、試掘權ヲ今マデハ繼續出願出來タモノヲ許サナイ、所謂眠ツテ居ル鑛區ヲ開發セシメナケレバナラナイト云フコトデ四年ノ期限デ切ツテ探掘ニ向ハセテ、鑛床狀態ヲ明ラカニシテ、其ノ鑛床狀態ニ基イテ探掘ヲサセヨウト云フコトガ此ノ法ノ目的デアルト云フ説明ヲサレタ、成ベク試掘カラ探掘ニ入ツテ行クヤウニ政府ガ助長スルト云フ考ヘノヤウデアアル、隨テソコニ助成金等モ出シテ居ルヤウデアアル、恐ラク今日ノ炭山デ獎勵金ヲ取ツテ居ナイ炭山ハナイト思フ、併シ一方ニ於テ獎勵金ヲ出シ、一方ニ於テ試掘權ヲ制限シテ探掘シナケレバナラナイト云フ探掘權ニ尙ホ許可ヲ要スルト云フ考ヘ方ガ何處カラ出テ來ルノデアアルカ、私ハ非常ナ矛盾デアルト思フガ、

其ノ點ノ見解ヲ伺ヒタイ、商工省トシテハ此ノ點ノ説明ハ到頭出來ナカッタノデス

○森山政府委員 只今ノ御質問、ヤハリ私ニハ非常ニ難問デアツテ、直チニ答ヘルコトハチヨツト出來兼ネマスガ、其ノ問題ニ對スルアナタノ御考ヘ方ト云フノハ、是ハ一ツノ考ヘ方ダト思ヒマス、併シナガラ其ノ御考ヘ方政府トシテ是認シテ、サウ云フ風ナコトデ各種ノ措置ヲシテ行ケルカドウカト云フコトニ付テハ、兎ニ角今私ノ地位ニ於テ、ソレデ宜シト云フコトハ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○川俣委員 商工大臣ハ此ノ點ニ付テハ善處スルト言フノデス、問題ハ善處スルコトガ宜イカ惡イカト云フ問題デハナイ、ソレハ石炭ヲ増産シナケレバナラスカラ、善處スルコトニ付テハ私ハ疑ハナイ、唯企業許可令ニ入レテ置クト云フ方法ニ付テ御尋ネスルノデス、私ハ事業法的ニ鑛業法ヲ改正シテ、其ノ上ニ發展ヲ圖ルベキデアルト考ヘル、又石炭等ニ於テハ、今申上ゲマシタ通りニ、殊ニ九州等ニ於テハ斤先掘ト云フヤウナ、鑛業法ニ基カナイ一ツノ權利モ發生シテ居ル、鑛業法ニ基カナイデ發生シタモノヲ許可令デ取締ルト云フノデアアルカラ、ソコニ矛盾ガアルノデハナイカ、大體ノ狙ヒハ斤先掘ダト云フケレドモ、鑛業法ニ基カナイ、否定シテ居ルモノヲ茲デ許可スル許可シナイト云フ所ニ矛盾ガアル、ソレハヤハリドウシテモ鑛業法カラ改正シテ行カケレバナラス、一方ニハ上盤ノ方ハ斤先掘、下盤ノ方ハ權利者ガ掘ル、是モ此ノ資材、勞力ノ不足ヲ折ニ於テ、色々能率ノ上ニ於テ低下シテ居ル點ハ私ハ認メテ居ル、又鑛區ノ接觸シタ場面ニ於テハ之ヲ合

同セシメル、鑛區ノ合同ノ必要ナコトハ今日論ヲ俟タナイ、併シ斯ウ云フ不十分ナ狙ヒニ依ツテ其ノ目的ヲ達成シヨウト云フコトガ誤リデアル、今マデ出シテ居ル鑛業法ノ四十條ナリ、或ハ重要鑛物増産法ニ基イテアレナイノデハナイ、寧ロ十分ニ發揮スルコトガ出來ル、ソレヲ發揮シナイデ之ヲ死文ニシテ居ル、鑛業法ノ本體デアル四十條ヲ死文ニシ、重要鑛物増産法ヲ死文ニシテ、改メテ又許可令デアラナケレバナスト云フ考ヘ方ハドウモ生レテ來ナイト私ハ思フ、ソレデハ本體ガ不安狀態ニナルノデハナイカ、ヤハリ鑛業法ナラ鑛業法ニ基イタ鑛業權ノ上ニ金融ヲスルト云フコトデナケレバナスト思フガ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイ

○森山政府委員 鑛業法ヲ改正シテ、モウ少シ事業法的色彩ヲ帶ベセテ、仍テ以テ統制ノ色彩ヲ持ツタ法制ニシタラ宜イノデヤナカラウカト云フ御所見ハ、是ハ確カニ一ツノ御所見ト思ヒマス、唯企業許可令ヲ鑛業ヲ營ム者ニ對シテ適用シテ居ルト云フノハ、是ハ戰時ノ場合ノ特別ナ措置デアツテ、國家總動員法ヲ發動シテヤツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ風ナ統制ヲ、平戰時ヲ通ジテ、平時ノ場合モ鑛業法ノ中ニ編込ムノガ宜シイカドウカト云フコトハ、是ハ立法ノ技術、ト言ツテハ何デスガ、立法政策トシテ宜イカドウカハ私一寸考ヘル餘地ガアル問題デハナイカト思ヒマス、平戰時ヲ通ジテ何等カ鑛業法ノ中ニ入レルト云フコトハ、例ヘバ先程カラ御聽キニナリマス所ノ重要鑛物増産法、アレハ二種ノ臨時法見タヤウナモノデアリマスケレドモ、アア云フモノハ實ハ平戰時ヲ通ジテ鑛業法ノ

中ニ入レテ置イテ宜シイト私ハ思フ、折角權利ヲ得ナガラ、ソレヲ使ハナイ、所謂睡眠鑛區ノ儘デ居ルト云フノハ、是ハ宜シクナイ、偶、其ノ人ガ持つテ居ルガ爲ニ其ノ鑛業權ハ眠ルノデ、若シ之ヲ企業慾ノ盛ンナ人ニヤルナラバ、立派ニ其ノ鑛業權ト云フモノハ活キテ働イテ來ルノデアルカラ、サウ云フ場合ニハソレヲ他ノ者ニ譲リ渡セト云フヤウナ法規ヲ作ルコトハ、是ハ私ハ鑛業法ノ中ニ入レテ置イテ宜シイト思フノデス、ケレドモ、今總動員法ヲ發動シテ參ツテ、企業許可令ノ見地ニ立ツテ居ル統制ノ規定ヲ、鑛業法其ノモノノ中ニ入レテ宜シイカドウカハ、是ハ尙ホ研究ヲサセテ戴カナイト、ソレデ宜イト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ行カスト私ハ思ヒマス

ソレカラ斤先掘ノ點ニ付キマシテハ、是ハ法律論トシテハ斯ウ云フモノノ存在ヲ認ムベキモノデハナイト私ハ思ヒマス、併シナガラ斤先掘ト云フモノハ事實トシテアルモノデ、鑛業法ノ改正ヲヤル時ニモ、此ノ問題ヲドウスルカト云フコトハ問題ニナツタノデアリマス、併シナガラ現ニ事實トシテ存在シテ居ツテ、ドウモソレヲ否認スルコトハ出來ナイ、丁度貸借等ニ付テ一種ノ權利金ト云フモノガアツテ、何カ分ラヌ形ノモノデアノケレドモ、實際否ムコトガ出來ナイヤウニ、實際經濟生活ノ上ニ儼トシテソレガ存在シテ來テ居ルナラバ、ドウモソレヲ否認スルコトハ出來ナイノデヤナイカト云フノデ、痛イ物ニハ觸ラヌヤウニシテ置イタ方ガ宜シカラウト云フノデ——恐ラク政府ハ狡イヤリ方ヲヤツテ居ルト言ハレルカモ分リマセヌガ——サウ云フヤウナ措置ヲ執ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、法律論トシテ

ハ斯ウ云フモノハ存在シナイト云フコトニ付テハ、先刻此處デ申上ゲマシヤウニ、私ハ存在スベキモノデナイト申上ゲテ宜シイノデヤナイカト思ヒマス

○川俣委員 私ハ企業許可令ノ狙ツテ居ル點ニ付テハ必ズシモ反對シナイ、併シ其ノ中ニ鑛業權ヲ入レルコトニ付テハ私ハ非常ニ疑問ヲ持つテ居ル、而モ其ノ鑛業ノ中ノ何ヲ狙ツテ居ルカト云フト、所謂斤先掘、ソレヲ狙ツテ居ル、斯ウ言フ、而モ此ノ系統ハ御承知ノ通り、企業許可令ニ基ク所ノ許可ノ申請ハ府縣廳經由デ商工大臣ニ行ク、又鑛床狀態デアルトカ、或ハ掘進狀態、掘進方法等、所謂施業案、或ハ鑛業明細書ヲ添ヘテ商工大臣ニ申請スルノハ鑛山監督局經由デアル、此ノ計畫ガ妥當デアルカドウカト云フコトニ付テ、地方長官ノ意見ヲ求メテ商工大臣ニ參ルノト、常ニ施業案ヲ嚴重ニ監視シテ居リマス所ノ鑛山監督局ヲ經由シテ來ル所ノ、所謂探掘權ニ對スル監督ト、今二ツニ流レテ居ルト私ハ思フ、何レガ現實ニ石炭ノ増産、或ハ國家目的ニ副フ計畫ガ出來ルカト云フナラバ、是ハヤハリ現狀ヲ常ニ監督シテ居ル所ノ鑛山監督局ヲ經由スル方ガ私ハ妥當ナ増産計畫ガ生レルノデハナカラウカト思フ、企業經營ノ本體ガ府縣ヲ經由シテ許可申請スルコトニナツテ居リマス、隨テ之ヲ許可スルカシナイカト云フコトハ府縣知事ノ意見ヲ求メル形ニナツテ居ル、實際ノ運用ニ於テハサウデハナイ、適當ニヤルト言フノデアリマスケレドモ、必ズシモサウデハナイノデアリマス、形式ハサウナツテ居ル、ソコニモ矛盾ガ非常ニアルノデハナイカ、一方ニ於テハ御承知ノ通り、事業ニ着手シナケレバ鑛業權ヲ

失フコトニナツテ居ル、税金ヲ拂ツテ居ルガ鑛業權、物權ヲ失フ、色々ノ企業整備ハ致シマスケレドモ、事業ハ失ツテモ物權ヲ失フ所マデ統制法規ヲ活用シテ居ル點ハ少イト私ハ思ツテ居リマス、サウ云フコトモ必要ナ時期ガ來ルト云フコトハ認メマスケレドモ、今マデノ例トシテ物權ヲ取上ゲル、放棄サセルト云フヤウナモノハナイト私ハ思フ、色々企業ノ整備、事業ノ合同整備ハアリマスケレドモ、物權ヲ放棄サセルト云フマデノ強イ統制法規ハ未ダ曾テ見ナイ、ソレモ石炭ノ増産ノ爲ニ必要デアルト云フナラバ、私ハソコマデ進シテ宜シイト思フ、併シソコマデ目的ハハツキリシテ居ラナイ、企業許可令ダケニ依ツテ増産ガ出來ルト云フコトハ何等期待シテ居ラナイ、ヤハリ期待ハ増産命令ニ依ツテシテ居ル、唯斤先掘ノ何トカシヨウト云フコトデ許可令ニ入レト云フ形ニナツテ居ル、是ガ企業許可令ニ依ツテ増産出來ルト云フ一ツノ方針ガアルナラバソレハ尤モダト思フ、物權ヲ制限シテ其ノ目的ガ達成サレルナラバ、今日ニ於テハ所有權ガ制限サレテ行クコトモ時勢ノ勢ヒダト思フノデ、其ノ物權ヲ否定サレルコトモ反對デハアリマセヌ、鑛業權モ當然制限サルベキモノダト思フ、隨テ私ハ三十九條ノ公益ヲ害セナイト云フコトモ擴大シテ考ヘテ宜シイト思フ、擴大シテ考ヘラレナイト云フノハ鑛業權ニ重キヲ置クカラダト云フ解釋ニ大體ナツテ居ル、私ハ是ハモツト擴大シテ考ヘテ宜シイト思フ、擴大シテ考ヘラレナイト云フ程鑛業權ヲ重要視シテ居リナガラ、一方ニ於テ許可令ニ入レテ行クト云フコトニ付テハ、非常ニ大キナ矛盾ガアルノデハナイカト私ハ思フ、

而モ鑛業權ヲ放棄スルト云フコトニナルト、今マデノ興業財團トカ、興業銀行ト云フヤウナモノハ殆ド行先ガ不明ニナツテシマフ、此ノ點ニ付テハ所見ヲモウ一度御伺ヒ致シマス

ソレハ當然ナノデス、私ハ是ガ善處スルト云フコトノ意味ハ、之ヲ餘リ活用シナイト云フ意向ノヤウニ見受ケルノデアリマス、サウスレバ之ヲ入レタコトハ無意味ニナツテシマフ形ニナル、之ヲ活用スレバ非常ナ矛盾ガ出テ來ルコトニナツテ、無視サレテ居ルヤウニ見受ケル、隨テ此ノ點ハ私ハ速カニ改正スル必要ハナイカド思フ、大體石炭業者ノ意向ヲ聞イテ見ルト、斯ウ云フコトガアル譯ガナイト云フ者ヘデ、別ニ業者ガ反對シタ譯デナイ、寧ロ斯ウ云フコトヲ無視シテ居ルヤウナ形デ、地方ノ鑛山監督局アタリデハ非常ニ困ツテ居ルヤウデアル、十一日マデノ繼續申請ヲ石炭業者ハ殆ド出シテ居ナイ、出シテ居ナイモノヲドウ取締ルカト云フコトニ非常ニ苦慮シテ居ル、新シキ業者ガ許可令ニ基イテ申請シナイヤウナ意向ノヤウデアル、ソレヲドウ云フ風ニスルカト云フト、之ヲ無視シテ掛ツテ居ル石炭探掘業者ヲドウスル積リカ、是ハ私ハ非常ナ問題ヲ發生シテ來ルト思フ、是ハ他ノ業者ガ無視スルノハ兎ニ角轉業サセレバ宜イ、問題ガナイ、石炭業者ヲ速カニ轉業サセルト云フコトハ恐ラク出來ナイ私ハサウ云フ大キナ矛盾ガ間近ニ出テ來サウナ形勢ガアリマス、私ハ石炭業ヲ營ンデ居ラスガ、非常ニ憂慮シテ居ル、而モ之ヲ作ル時ニ斯ウ云フコトヲ露骨ニ申上ゲルトドウカト思フガ、燃料局ト鑛山局ト分レテ居リマシテ、燃料局ノ方ハ鑛山局ト意見ガ一致シタヤウニモ見受ケラレナイノデアリマス、是ハ非常ナ善處ヲ要望シテ置カナケレバナラスト思フ、サウデナケレバ金融方面ヲ片付ケマシテモ、金ト斯ウ云フ物體ト大體同一ノ方向ヲ取ツテ居ラナケレバ、全部

活用ガ出來ナイコトニ相成ル、其ノ點ハ十分御含ミノ上速カニ善處サレンコトヲ要望シテ法制局長官ニ對スル質問ハ打切りタイト思ヒマス

ニ於テ實際ヤツテ居ル額ハ一割五分程度デアリマス、又政府ノ御趣旨ノアル所モ、此ノ法律ヲ昨年御提案ノ場合ニ於ケル御説明等ニ於テモ左様デアラレタト思フノデアリマスガ、國民貯蓄ヲ完遂スル意味ニ於テ、最高三割程度ヲ國民貯蓄場合ニ貯蓄サセル御意思ガアルカドウカ、是ガ第二點、先ヅ以上御伺ヒ致シマス

○森山政府委員 鑛業權者ニ對シテ企業許可令ヲ適用スル場合ニ今御心配ノヤウナコトガ或ハ起ルノデハナイカトモ私ハ思ヒマス、御存知ノ通り企業許可令ハ總動員法ノ發動ニ依ツテ出來タノデアリマスケレドモ、實ハ先ノ先マデハツキリドレダケノ法律效果ガアルカ、或ハ又寧ロ逆效果トシテ、本來狙ツテ居ル所ニ達シナイヤウナ結果ニナルカト云フコトヲ、心配スレバソレハ色々ナコトガアルト思ヒマス、今御述べニナリマシタヤウナ御意見ノ次第ハ能ク承ツテ置キマシテ、兎ニ角企業許可令一度制定サレタコトハ、何處マデモ永久ニ變ヘナイト云フ譯デハナイ、惡イ所ガアツタラ何時デモ變ヘテ宜イト思ヒマス、殊ニ戰時トカ何カノ時代ニハ、其ノ時々ノ要請ニ應ジテ法制モ整備シナケレバイケナイノデ、ソレガ朝令暮改トナツテ、變ヘルコトソレ自身ニ依ツテ大キナ害ヲ及ボスコトハ避ケナケレバナラスノデ、變ヘテ良クナルモノハ何時デモ變ヘテ宜イト思ヒマス、唯私ガ其ノ點ニ付テドウスルカト云フコトヲ今ハツキリ申上ゲル譯ニ行カナイノデ、法制局長官トシテソレヲ承ツテ置イテ、一ツノ政府ノ仕事トシテ、能ク商工當局ノ方ヘモ話シテ、更ニ反省シテ見ルト云フコトニシタイト思ヒマス、ドウスウスルト云フ具體的ノ御答ヘヲスルコトダケハ御勘辨ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森山政府委員 鑛業權者ニ對シテ企業許可令ヲ適用スル場合ニ今御心配ノヤウナコトガ或ハ起ルノデハナイカトモ私ハ思ヒマス、御存知ノ通り企業許可令ハ總動員法ノ發動ニ依ツテ出來タノデアリマスケレドモ、實ハ先ノ先マデハツキリドレダケノ法律效果ガアルカ、或ハ又寧ロ逆效果トシテ、本來狙ツテ居ル所ニ達シナイヤウナ結果ニナルカト云フコトヲ、心配スレバソレハ色々ナコトガアルト思ヒマス、今御述べニナリマシタヤウナ御意見ノ次第ハ能ク承ツテ置キマシテ、兎ニ角企業許可令一度制定サレタコトハ、何處マデモ永久ニ變ヘナイト云フ譯デハナイ、惡イ所ガアツタラ何時デモ變ヘテ宜イト思ヒマス、殊ニ戰時トカ何カノ時代ニハ、其ノ時々ノ要請ニ應ジテ法制モ整備シナケレバイケナイノデ、ソレガ朝令暮改トナツテ、變ヘルコトソレ自身ニ依ツテ大キナ害ヲ及ボスコトハ避ケナケレバナラスノデ、變ヘテ良クナルモノハ何時デモ變ヘテ宜イト思ヒマス、唯私ガ其ノ點ニ付テドウスルカト云フコトヲ今ハツキリ申上ゲル譯ニ行カナイノデ、法制局長官トシテソレヲ承ツテ置イテ、一ツノ政府ノ仕事トシテ、能ク商工當局ノ方ヘモ話シテ、更ニ反省シテ見ルト云フコトニシタイト思ヒマス、ドウスウスルト云フ具體的ノ御答ヘヲスルコトダケハ御勘辨ヲ願ヒタイト思ヒマス

○由谷委員長 庄司一郎君

○庄司委員 國民貯蓄ノ改正法案ニ關聯ヲ致シマシテ大藏省ノ國民貯蓄完遂ヲスル上ニ於テ、特ニ昭和十七年度ノ龐大ナ豫算ヲ本院ハ協賛ヲ致シマシタ、又大東亞共榮圈ノ、大東亞戰爭ノ特別會計ノ軍事費關係ニ於テハ合計百八十億ノ相當多額ノ軍事費ニ對シテ本院ハ協賛ヲ致シタノデアリマス、然ラバ我が帝國財政ノ基礎ヲ磐石ノ上ニ之ヲ強化シテ行クト云フ觀點カラ致シマシテ、政府發行ノ豫定額公債ヲ極メテ圓滑ニ國民ガ消化スル、其ノ基礎的ノ條件トシテ國民ノ貯蓄力ヲ旺盛ニシテ、要スルニ帝國財政ノ基本的ナ強化ヲ完成スルト云フ觀點カラ極メテ重要ナ大キナ國策デナケレバナラナイト思ヒマス、仍テ以テ國民貯蓄組合ニ關スル法律ノ改正等ヲモ御提案ニナラレタト思ヒマスガ、昭和十三年度以來八十億、翌年度ハ百億、其ノ次ハ百二十億、百三十五億、ソレガ大東亞戰爭ニ起因シテ百七十億、斯様ニ逐年國民ニ政府ガ要請スル愛國貯蓄ノ總額ガ龐大ニナツテ參リマシタ、而シテ昭和十七年度ニ於テハ今申上ゲタヤウナ政府ノ豫算ノ上ニ立ツテ、大體下ノ程度ノ國民ニ對スル愛國貯蓄ヲ要請サレルモノデアールカ、其ノ貯蓄額ノ大體ノ御見透シヲ御發表願ヒタイト云フコトガ第一點、ソレカラ只今國民貯蓄組合法ニ依ル貯蓄組合ノ貯蓄ノ割合ハ、御承知ノ如ク愛國貯金ノ割當ノ一割五分ガ最高限度ニナツテ居ルヤウデアリマス、府縣市町村或ハ町内會、部落會等

○川俣委員 商工省モ善處スルト云フガ

第六類第十一號 日本勸業銀行法中改正法律案外五件委員會會議錄 第三回 昭和十七年二月六日

○氏家政府委員 貯蓄ノ目標額ノ十七年度

分ハ如何程デアアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ目下調査中デアリマシテ、マダ決マツテハ居ラナイノデアリマス、唯先般大藏大臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ一寸之ニ觸レラレタコトガアルノデアリマス、其ノ時ハ公債ノ發行額ガ大體百六十億、ソレニ生産力擴充資金ヲ若シ前年度通り六十億見當トスレバ少クトモ二百二十億位ノ目標額ヲ立テナケレバナラナイダラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、大體其ノヤウナ次第デアリマシテ、二百二十億内外ノモノトナルダラウト思フノデアリマスガ、ハツキリシタコトハモウ少シ調査シタ上デナケレバ決定致サナイノデアリマス、ソレカラ國民貯蓄組合ノ貯蓄額ノ割合ガ全體ノ目標額ノ何割位ニナツテ居ルカト云フコトハ、是ハ別ニハツキリ決メテハナイノデアリマス、府縣ニ依リマシテ貯蓄組合ノ非常ニ發達シテ居リマス地方モアリマスシ、又貯蓄組合ト云フモノニ非常ニ重點ヲ置キマシテ之ニ相當強メノ貯蓄ヲ勸奨シテ居リマス府縣モアルヤウデアリマスガ、又ソレ程ヤツテ居ラナイト云フヤウナ所モアルノデアリマスガ、大體ノ見當ト致シマシテハ、全體ノ貯蓄ノ一割乃至一割五分ト云フ位ノモノガ貯蓄組合ヲ通ジテ貯蓄サレテ居ルヤ

ウデアリマスケレドモ、府縣ニ依ツテ非常ニ差異ガアルノデアリマス、之ヲ今同貯蓄組合法ヲ改正致シマシテ、貯蓄ノ種類モ範圍モ擴張シ、又免稅ノ制限モ今マデヨリモ高メマシタノデ、組合貯蓄ト云フモノガ從來ヨリモズツト伸ビラウト云フコトハ想像致サレマスケレドモ、御話ノヤウニ之ヲ三割程度マデニシタラドウカ、サウ云フコトニスル氣ハナイカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、一律ニ各府縣トモ三割ト云フヤウナ所マデ行クト云フノモ無理デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○庄司委員 昭和十七年度ニ於ケル國民貯蓄ノ政府ノ要請ハ二百二十億デアルト云フヤウナコトニナリマシタ場合、一億國民ノ大體一箇年ノ所得ノ總額ハ、大藏省內で發行サレテ居ル財政ト云フ雜誌ノ中ニ、四百五十億程度ガ一箇年間ニ於ケル國民所得ノ總計デアリヤウニ御發表ニナツテ居ラレマス、サウ云フコトニナリマス、昭和十七年度ニ於テハ公課租稅ノ合計ニ於テ約八十億ノ負擔ヲ國民ハシナケレバナラス、ソレ等ノ負擔ニ對シテハ、固ヨリ時局下國民ハ何等ノ不平不滿ナク、昭和十一年度程度ノ國稅負擔ト比較致シタ場合ニ於テハ約六倍近クノ増稅ガ斷行サレヤウトシテ居リマシテモ、何等ソコニ國民ノ不平怨嗟ノ聲ガナイト云フコトハ、是ハ愛國心ノ現ハレデアアルコトハ言フマデモアリマセヌ、併シナガラ約八十億ノ公課租稅ヲ負擔シ、國民ノ生活費ヲ如何ニ最小限度ニマデ消費規正ラシテ切詰メマシテモ、百五十億圓ヲ要スルコトハ是亦大體ニ於テ間違ヒノナイ見透シデアリマス、仍テ二百二十億ト云フ巨額ナル國民貯蓄ヲ完遂シテ行クト云フ點ニ於テハ、

餘程政府ニ於カレテ完遂上ニ於ケル名案ガナケレバナラスト私ハ考ヘテ居リマス、如何ナル具體案ヲ以テ此ノ二百二十億ノ愛國貯金ノ完遂ヲ御計畫サレテ居ルノデアリマスカ、若シサウ云フ要綱等ガゴザイマスナラバ、議會ヲ通シテ全國民ニ御發表ヲ願ヒタイト云フコトガ一點デアリマス

今一點ハ、此ノ二百二十億ノ貯蓄ヲ完遂スルコト云フコトニナリマス、國民所得ノ總額ヲ四百五十億トシマス、一箇年一千圓ノ「サラリーマン」ハ年ニ四百圓程度ノ愛國貯金ヲシナケレバナナイト云フ割合ニナル譯デアリマス、即チ各人ノ所得ノ合計ノ四割強ヲ愛國貯金ニ振向ケナケレバナラヌト云フノデアリマスカラ、生活ノ部面ニ於テ努メテ消費ヲ規正シ、購買ヲ阻止致シマシテ、無駄ノナイ生活ヲスルコトハ言フマデモアリマセヌケレドモ、實際問題トシテハ是ハ中々容易ナコトデハアリマセヌ、私ハ地方ニ於キマシテ愛國貯金ノ田舎部隊長ヲ勤メテ居リマスルガ、中々容易ナコトデハナイ、大藏省ハドウ云フ名案ヲ以テ、此ノ二百二十億ノ貯蓄ヲ完遂サレントスルノデアルカ、從來ノヤウナヤリ方デハ甚ダ微溫的デアリ、又國民ノ中ニ浸透シテ行カナイノデアリマス、從來ノ貯蓄ノ狀況ヲ見マスルニ、農村方面ニ於テハ馬鈴薯ヲ共同出荷スルトカ、或ハ白菜ヲ共同販賣スル、藕ヲ共同販賣スルト云フ場合ニ、其ノ賣上金ノドレダケヲ貯蓄スルト云フヤウニ努力シテ居リマス、又愛國貯金ナシカモ各町村、各部落デヤツテ居リマスガ、都會、殊ニ大都會ニナル程ソレガ眞面目ニ行ハレテ居ナイ、私ハ其ノ不徹底ヲ實例ヲ幾ラモ知ツテ居リマス、ソコデ此ノ二百二十億ノ貯蓄ヲ

完遂スルニ付テ、ドノヤウナ具體的ナ名案ヲ持ツテ居リマスカ、ソレヲ御伺ヒシタイ、ソレガ第三點デアリマス

○氏家政府委員 御話ノ國民所得ノ總額ガ四百五十億ト云フヤウナコトモ、是亦ハツキリシタ調査ノ結果ニ基クモノデハナイノデアリマシテ、大藏大臣モ先般御答ヘノ通り、大體ノ見當ヲ付ケテ見レバマアコンナモノダラウト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ内、稅ノ方ニ約八十億、ソレカラ生活費トシテ百五十億、殘ル二百二十億ガ國民貯蓄ニナルト云フヤウナ、サウ云フ數字モ亦今後ノ調査ノ結果相當動クコトガアル數字デアルト云フコトヲ豫メ御諒承願ヒタイト思ヒマス、何七十七年度ニ於ケル貯蓄ノ總額ト云フモノハ二百二十億内外ニ達スルノデアリマスカラ、今年ノ百三十五億カラ百七十億ニナツタ、是ガドウナルカト云フコトモ非常ナ問題デアリマスカラ、二百二十億ノ貯蓄ト云フコトハ御話ノ通り中々容易ニ達成ノ出來ルモノデハナイト思フノデアリマス、定メシ名案ガアルダラウト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテモ先般大藏大臣ガ一議員ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シテアル筈デアリマス、大體ニ於キマシテ貯蓄ノ増強ノ爲ニ從來執リ來ツタ所ノ色々ナ方法ヲ強化シテ行ク、殊ニ國民ノ愛國心ノ昂揚ト云フコトニ付キマシテ格別ノ努力ヲ注イデ行カウ、色々ナ細カイ方法モ考ヘテハ居ルノデアリマスケレドモ、一番ハヤハリ國民ノ愛國心ヲ利用スルト云フト、非常ニ變デアリマスケレドモ、戰果ガ上ツタト云フヤウナ時ニ於キマシテハ、皇軍將兵ノ奮闘ニ對スル感謝ノ念ガ燃エル、此ノ時統後國民

トシテハ貯蓄ヲスルト云フコトニ依ツテ感謝ノ念ヲ現ハサウト云フヤウナ氣分ニナルノデアリマスカラ、サウ云フ時ヲ巧ミニ捉ヘテ貯蓄ノ増強ニ資スルト云フコトガ非常ニ必要デアラウト思フノデアリマス、現ニ十六年度ノ貯蓄増加ノ狀況ヲ考ヘテ見マシテモ、十月或ハ十一月頃ノ様子ハ非常ニ遺憾ナガラ成績ガ惡カツタノデアリマス、併シ格別ノ方法ヲ採ラナカツタノデアリマスケレドモ、十二月ニナツテ見マスルト、大東亞戰爭ガ開始セラレ、殊ニ「ハワイ」海戰或ハ「マレー」沖ノ海戰ニ於ケル皇軍ノ大捷ガ報ゼラレマシタ、唯ソレダケニ依ツテ非常ナ増加ヲ見タノデアリマシテ、其ノ前年ニ對シテ十二月ダケノ成績ヲ見マスルト、約五割モ増加シテ居ル、曾テナカツタ所ノ増加ヲ見テ居ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、先ヅ第一ニ國民ノ愛國心ノ昂揚ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、ソレカラ細カナ點ヲ申上ゲマスレバ、色々アリマスガ、只今議會ニ提案致シテ居リマス所ノ法律トカ或ハ豫算ノ上ニ現ハレタ所ニ依ツテ申上ゲマシテモ、色々ナ稅法ノ中ニ貯蓄獎勵上必要ナ措置ガ採ツテアルノデアリマス、長期ニ互ツテ安定性ヲ有スル貯金、預金ノ利子又ハ利益ニ對シテ、所得稅ノ課稅上特別ナル輕減方法ヲ講ズルト云フヤウナ方法、此ノ委員會御審議中ノ國民貯蓄組合ノ貯蓄ニ依リマシテノ免稅限度ノ引上、或ハ免稅ノ範圍ノ擴張、或ハ簡易生命保險ノ保險金額ノ限度ノ引上、或ハ郵便貯金ノ預入限度ノ引上、割増金付ノ郵便貯金切手ノ發行、更ニ只今貴族院ノ方ニ廻ツテ居リマス所ノ臨時資金調整法ノ改正ニ依リマシテ、土地賣却代金等ノ處分ニ付キマシテ、政府ガ必要ナル

命令ヲ發シ得ルト云フヤウナコト、尙ホ又
報國債券或ハ戰時債券ト云フヤウナモノヲ
前年度以上ニ發行スル必要モアリマス、其
ノ發行限度ノ擴張ト云フヤウナコト、是ガ
ソレハ豫算又ハ法律ノ上ニ現ハレテ居ル
ノデアリマス、尙ホ此ノ外ニ何事デモ同ジ
デアリマススレドモ、特ニ貯蓄ト云フヤ
ウナモノハ、今後ノヤリ方ト致シマシテハ、
今マデノヤウニ演説ヲ以テヤツテ行クト云
フヤウナコト、ソレモ必要デアリマスケ
レドモ、ソレバカリニ頼ルト云フ時代ハ過
ギテ居リマス、更ニ之ヲ國民ノ間ニ入リ込
ンデ色々ト指導シ獎勵スル必要ガアル、其
ノ爲ニハ人員ヲ強化スル必要ガアルト云フ
ノデ、中央及ビ地方ノ貯蓄人員ヲ強化スル、
斯ウ云フコトガ豫算ニモ上ツテ居ルノデア
リマス、大體サウ云フヤウナコトデ以テ十
七年度ノ大キナ目標額ノ達成ニ邁進シタイ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ今ノ御尋
ネノ中ニ都會方面ガ非常ニ貯蓄ノ成績ガ惡
イト云フヤウナ御話モアリマシタ、是ハ外
ノ方面カラモ時々耳ニスルコトデゴザイマ
ス、私共地方ニ廻ツテ見マシテモ確カニ熱
心サ、眞剣サニ於テ農村方面ガ一層ハツキ
リト見エルヤウデアリマス、十七年度ニ於
キマシテハ都會地方、或ハ工場地帯ノ方
面ニ又格別ノ力ヲ入レマシテ貯蓄ノ増強ヲ
ヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 國民貯蓄法ノ第五條ニハ、貯
蓄組合ヲ組織シテ運営シテ居ル方面ニ補助
金或ハ獎勵金ヲ交付スルコト云フ明文ガゴザ
イマスルガ、尤モ昭和十六年度ノ六月以降
ノ新シイ町村部落方面ノ數字デハアリマス
ルガ、十六年度ニ於テハ大體下ノ位ノ交付
金或ハ獎勵金ヲ地方ニ御交付下サル御見込

デアルカ、又十七年度ノ豫算ノ中ニ大體下
ノ程度ノ獎勵金或ハ交付金ヲ見込シテ居ラ
レルカ、又最後ニ、最近ノ全國的ニ貯蓄組
合ノ數ガ何万アルカト云フ御回答ヲ求メテ
私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○氏家政府委員 貯蓄組合ニ對スル補助金
ハ十六年度ニ於テ百八十二万圓程ニナツテ
居リマスガ、段々其ノ數量モ増加シテ參リ
マシタノデ、十七年度ニ於テハ二百二十五
万圓ヲ豫定致シテ豫算ニ計上致シテ居リマ
ス、尙ホ貯蓄組合ノ數デゴザイマスルガ、
是ハ少シ古イ數字デ、最近ノモノハマダ調
ベガ付キマセヌノデ、十六年ノ三月末デ
ゴザイマスガ、ソレニ依リマス、組合ノ
數ガ百五十三万、組合員ノ數ガ三千六百万、
貯蓄ガ約二十億、斯ウ云フコトニケツテ居
リマス

○庄司委員 私人質問ハ終リマシタ

○由谷委員長 此ノ際只今庄司君ノ質問ニ
關聯シテ、委員長カラ少シ承ツテ置キタイト
思フ點ガアリマスカラ、御答辯ヲ御願ヒシ
タイノデス、ソレハ貯蓄運動ノ目標ヲ決メ
ル上カラ言ツテモ、モツト廣イ意味ノ戰時
體制下ニ於ケル金融操作、或ハ通貨工作ト
云ツタ風ナ點カラ考ヘマシテモ、一番ニ重
點ニナル問題ハ國民所得ト云フ事柄ニ付テ
デアラウト思ヒマス、只今ノ質問應答ノ際
ニモ、十七年度國民所得四百五十億圓ト云フ
大體ノ數字ガ具體化サレテ話サレテ居リマ
シタガ、多少ノ變動ハアルトシテモ、大體
ノ數字ハ四百五十億圓ト押ヘテ間違ヒナイモ
ノダト思ハレルノデガ、其ノ國民所得ト
云フ觀念ニ付テハ、三承ツテ見タイノデアリ
マス、幸ヒ次官モイラツシヤイマスシ、ハ
ツキリ御答辯ヲ願ヒタイノデス、一體國民

所得ノ國民ト云フ觀念ハ、内地ダケノ國民
ノ意味デアルカ、所謂外地モ入ルノカ、此
ノ點ニ對シテ先ヅ御答辯ヲ願ヒマス

○谷口政府委員 今後國民所得ト云フ問題
ヲ論ジマスル際ニハ、内地ノミナラズ外地
ヲ通ジマシテ、國民所得ト云フ問題ヲ扱
テ行クト云フコトニ致ス考ヘデアリマス

○由谷委員長 サウシマス、四百五十億圓
ト云フ數字ハ、内地外ヲ總括セルモノト考
ヘテ宜シウゴザイマスガ

○谷口政府委員 四百五十億ト云フコトヲ
先般來議會ニ於テ御話申上ゲテ居ルヤウデ
アリマスガ、ソレハ只今申シマシタヤウニ、
内地モ外地モ合ハセマシタ概數ト御承知ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○由谷委員長 次ニ一體國民所得ト云フ考
ヘ方ハ、商賣ヲスル、百姓ヲスル國民ガ自分
ノ仕事、自分ノ財產カラ所得スル個人のナ
モノノ總括デアルカ、言換ヘレバ國民所得
ノ中ニハ個人の所得ノ上ニ、所謂法人所得
ガ加算サレテ居ルモノデアルカ、此ノ解釋
デアリマス

○谷口政府委員 詳シイコトニ付キマシテ
ハ貯蓄獎勵局次長カラ併セテ御答ヘ申上ゲ
マス

○氏家政府委員 國民所得ノ見方ニハ色々
其ノ方式ガアルヤウデアリマス、從來大藏
省ノ主税局方面デモ稅ノ方面カラ調査シタ
モノヲ議會ナドデモ御話致シテ居ル所モア
ルヤウデゴザイマスガ、私共只今調査シテ
居リマス其ノ方式ハ、大體一箇年間ニ於テ
費用ヲ超エテ新タニ生産サレタ所ノ物資ノ
價格、ソレカラ加工若シクハ製造ナドニ依
ツテ増加シタ物資ノ價格、ソレニ代價ノ支
拂ハレル勤勞ノ價格、斯ウ云フヤウナモノ

ヲ加ヘマシテ、サウシテソレニ海外投資ノ
收支差額ヲ加除スルコト云フヤウナ方法デ大
體計算ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ法人トカ個人トカ云フヤウナ問題ガ起
ラナイノデアリマス、今申上ゲマシタヤ
ウナ種類ノ所得ガ國家全體トシテ一年間ニ
ドレ位アルカ、斯ウ云フヤウナ計算ヲ致シ
テ居ル次第デゴザイマス

○由谷委員長 只今ノ御答辯ハ隨分面倒ナ
言葉モアツタシ、私モ一寸聽イタバカリデハ
納得ガ行キマセヌガ、要スルニ國民所得ト
云フ數字ノ割出シ方ノ基礎ノ何々ノ價格ト
カ、何々ノ收入ト云フコトハ、私ガ尋ネタ
イ問題デハナイノデアツテ、御答辯ノ終ヒ
ニアリマシタ大藏省トシテハ、個人トカ法
人トカヲ考ヘナイノダト云フヤウナコトニ
實ハ疑問ガアルノデアリマス、一體諄イコ
トヲ言フ必要ハアリマセヌガ、國民總所得
ヲ四百五十億圓、其ノ中貯金運動デ二百二
十億、税金デ八十億、ソコデ残りノ百五十
億デ一人ノ國民ガ生活ヲヤツテ行カタク
レバナラスト云フ建前ノ議論ガ、此ノ議會
ノ初メカラモアルシ、實ハ貯金運動始マツ
テ以來ズツアル、吾々ノ考ヘ方ハ一體四
百五十億ト云フモノノ實質ハ一億人ノ日本
國民個人々々ノ所得ノ累計デアルカ、併シ
所得ト云フ觀念ニハ法人ノ所得モアリマス、
其ノ法人ノ所得モ入ツテノ四百五十億圓デ
アルカ、個人所得ダケノ總計ノ四百五十億デ
アルカ、之ヲハツキリ押ヘヌト、例ヘバ百
八十億ノ公債消化ト云ツテモ、重要産業ノ
生産資金調達ト云ツテモ、一體誰ガ其ノ負
擔ヲシテ行クノダ、法人ニモ相當ナ貯蓄ヲ
サストカ、個人ニモ相當ナ貯蓄ヲサストカ、
或ハ法人ハシナイガ個人ハスルトカ、ソ

コニ貯金ダケノ面カラ見マシテモ、一ツノ方法ガ生レテ來ナケレバナラナイと思フノデス、餘リ議論見タヤウナコトハ止メマスガ、要スルニ四百五十億ハ一億人ノ日本國民ノ個人所得ノ總計デアルカ、法人所得モ入ルノカ、入ルモノトスルト其ノ區別ハドウナルカ、是ガ一番ノ重點ト思フノデス、ソレヲ私聽イテ居ルノデスカラ適當ニ御知ラセ願ヒタイと思ヒマス

○谷口政府委員 要シマスルニ若シ個人ノ所得以外ニ法人ノ所得モ入ツテ居ルノカ、斯ウ云フ簡單ナ形ニ質問ヲ縮メテノ御答ヘトスレバ、兩方トモ入ツテ居ル、斯ウ云フ御答ヘニナルと思ヒマス

○由谷委員長 ハツキリ御説明願ツテ感謝致シマス、サウシマスト個人、法人ガ入ツタモノト見テ、大體此ノ兩者ノ振分けハドシナ割合ニナツテ居リマセウカ、若シ見當ガ御付キニナツテ居レバ御示シテ願ヒタイと思ヒマス

○氏家政府委員 法人ノ分モ個人ノ分モ入ツテ居ルコトハ間違ヒナイノデアリマス、ケレドモ先程モ申上ゲマシタヤウナ方法、所謂物的方法ニ依リ計算ト申シテ居ルノデアリマスガ、其ノ方法ニ依リマス、法人ハ是程、個人ハ是程ト云フ計算ハ特ニヤレバ出來ナイコトモナイカト思ヒマス、ケレドモ、只今ノ所サウ云フ風ナ計算ヲ致シテ居リマセヌノデ、申上ゲ兼ネルヤウナ次第デアリマス

○由谷委員長 段々御説明ヲ願ツテ少シハ分ツテ參リマシタガ、モウ一ツソレニ關聯シテ御尋ネ致シテ置キタイコトハ、國民所得四百五十億圓ノ内譯ハ個人タルト法人タルトハツキリシナイ、是ハ分ツタノデス、

サウナリマス、今度ノ議會デモ豫算委員會其ノ他増稅委員會等デ此ノ問題ニ關シテ政府ト議員トノ間ニ質問應答ガアツタヤウデスガ、私ノ承知シテ居ル意味カラ言フト、四百五十億圓ガ總所得、然ルニ其ノ中カラ三百億圓ハ公債消化、税金、生産資金等ニ依ツテ政府ガ吸收スル、國民ハ百五十億圓デ一箇年ノ生活ヲシナケレバナラヌト云フ風ナ觀念ニ既定サレテ居ルヤウニ思フノデス、所ガ其ノ四百五十億圓ノ基礎ガ個人個人ノ所得ノ累積デハナクテ、其ノ中ニハ法人ノ所得モ入ツテ來ルノダト云フコトニナルト、法人所得、個人所得ノ内譯ハ五分、五分デアラウガ、四分、六分デアラウガ、ソレハ問ハヌトシテ、百五十億圓ガ國民ノ生活資金ダト云フ考ヘ方ニ、相當ナ修正ト云フカ、是正ト云フカ、變化ガ生ジテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ハドウデセウカ

○氏家政府委員 生活ニ使フ金ガ百五十億圓ダト申シマシテモ、色々御話ノヤウナ關係モアリマシテ、之ヲ唯一億デ割レバ一人當リノ平均ノ生活費ガ出テ來ルノダト云フヤウニ簡單ニハ行カナイダラウト思ツテ居リマス、ソコヲドウ云フ風ニ取扱ハナケレバナラヌカト云フコトハ目下調査ノ進行中デアリマシテ、申上ゲ兼ネルノデアリマス

○由谷委員長 結論ハ御研究ヲ願フトシマセウガ、ハツキリシテ置キタイコトハ、百五十億圓ヲ一億人デ割ツテ百五十圓ト云フ數字ガ出ル、サウ云フ所謂畫一的ナ平均割合ナドデハイカヌト云フ御話モ今承リマシタカラ、承知シテ置キマス、併シ私ノ聽キタイコトハ、サウ云フ畫一的ナ割算勘定デハイカヌト云フコトモアルデセウガ、其ノ

一方前提トシテ、百五十億圓ガ全部國民個人ノ生活資金ニハナラヌノダ、其ノ中ニハ相當法人トシテノ所得分ガ殘ルノダト云フコトヲ、實ハハツキリシテ貫ヒタカツタノデス、ケレドモ色々御研究ナリ御調査モ必要デセウカラ、一應私ハ問題ヲ提供シタ意味デ、此ノ委員會ノ適當ナ機會ニ、政府ノ方針トシテハツキリシタコトヲ御發表ニナルヤウニ御願ヒシマシテ、委員長ノ質問ハ止メマス

○瀧澤委員 今ノ委員長ノ質問ニ關聯シテ、委員長ニ御註文ヲ申上ゲタイ、斯ウ云フコトヲ委員長カラ御聽キヲシテ、後デ研究ヲシテ適當ナ機會ニ御話ヲ願ヒタイト云フ委員長ノ御註文ノヤウデス、サウ致シマスレバ、私ハ四百五十億ノ收入ノ基礎トナルベキ生産總額ハ、農業ニ於テ幾ラデアルトカ、工業ニ於テ幾ラデアルトカ、ソレニ對スル利益ガ是ダケデ、所得ガ斯ナルノダト云フコトヲ聽イテ戴キタイ

○由谷委員長 只今瀧澤委員ノ御註文ハ御聽キノ通りデス、ドウゾ是ニモ正解スル意味ノ御答辯ヲ、然ルベキ機會ニ御與ヘ下サルヤウニ御願ヒシテ置キマス

○谷口政府委員 只今ノ委員長ノ御話モ、又瀧澤サンノ御話モ、洵ニ重要ナ御質問ダト思フノデアリマスガ、此ノ國民所得ノ問題ハ中々難カシイ問題デアルト云フコトハ、御兩者トモ御承知ノコトト思フノデアリマス、研究方法ニモ從來幾通りモアリマシテ、色々各方面デ研究ヲ致サレテ居ルノデアリマス、吾々ノ關係致シマスル方面ニ於キマシテハ、委員長ガ特ニ關心ヲ持ツテ居ラレル所ノ國民貯蓄ノ關係ニ於キマシテ、是非結論ヲ持ツテ居ル必要ガアルノデアリ

マス、サウ云フ實際的ノ必要ノミナラズ、國民資金計畫ノ確立ノ上カラモ、前年來學者ヲ入レマシテ、色々研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ途中ニ於テ未熟ナガラモ腰ダメノ結論ハ出來ツツアルノデアリマス、先程委員長カラ御話ノ點ニ付キマシテハ、後刻能ク纏メマシテ、適當ナ機會ニ御答ヘヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレニ關聯シテ瀧澤サンノ御希望ノ點デアリマスガ、是モ亦勿論出來ルダケノコトハ纏メテ御答ヘ致スコトハ致シマスルケレドモ、生産額等ニ至リマシテハ當今時節柄、又例ノ文句デアリマスケレドモ、國家ノ機密トシテ公ノ席デ生産額ガ幾ラアルト云フコトハ、是ハ實際申上ゲ難イヤウナ事情モアルノデアリマス、併シ吾々ノ研究致シテ居リマス所ハ、出來ルダケソレ等ノ資料ヲ集メテ研究致シテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等ノ關係モ考ヘマシテ、御答ヘ申上ゲラレ程度ノコトハ、出來ルダケノ範圍ニ於テ御答ヘ致スコトニ致シタイと思ヒマス

○由谷委員長 ドウゾ御願ヒ致シマス——松田正一君

○松田(正)委員 私勸業銀行ノコトニ付テ御聽キシタイノデスガ途中デアアルノデ、國民貯蓄ノコトニ付テ一寸御伺ヒ致シマス、國民貯蓄デスガ、サウ致シマス所得ガ四百五十億デ二百二十億引イテ、又八十億引イテアトノ百五十億、是ハ消エテナクナル金ナノデスカ、何處ヘ行クノデスカ、先程ノ御話ヲ聽クトドウモ此ノ金ノ行キ所ガナイヤウニ思ヒマス、此ノ百五十億ト云フ生活費、是ハ何處ヘ行クノデスカ、使ツテシマフヤウニ聽イテ居リマスガ、此ノ金ダツ

テ日本銀行へ還元スルノデヤアリマセスカ、還元スルトスレバヤハリ國民貯蓄ニナルノデヤアリマセスカ、ソコガドウモヲカシイヤウニ思ヒマス

〔委員長退席、宮本委員長代理着席〕

ソレハドウナルノデスカ、四百五十億カラ二百二十億、八十億ヲ引イタ残リノ百五十億ガ生活費ダト云フガ、生活費ト云ツテモ金ヲ食フノデハナイ、金ヲ物ヲ買ツテ食フノデスカラ、物ヲ賣ツタ者ハドウスルカ、算算ノ中ニ入レテ置ク筈ハナイ、ソレハドウ云フ計算ニナリマスカ、一寸承リマス

○氏家政府委員 是ハ所得トハ何ヲ云フカ、生活費トハ何ヲ云フカト云フヤウナコトニ付キマシテ、豫メ定義デモ決メマシテ、サウシテ申上ゲナケレバナライコトダテハソレダケノ金ガ何處ニモ行クノデハナイデヤナイカ、日本銀行ニ戻ツテ來ルノデハナイカト云フヤウナ御話ノヤウデアリマスカ、私共ノ考ヘテ居リマスノハ、假ニ生活ノ爲ニ必要ナ資力ガ百五十億ト云フ時ニハ、其ノ百五十億ニ相當スル價值ガ生活ノ爲ニ消費サレテ宜シイ、斯ウ云ウ意味デゴザイマス

○松田(正)委員 消費サレテ宜シイト云フノハ物ノ話デス、私ノ言フノハ現金ノコトデス、現金ハ食フ譯デヤナイデセウ、ドウモソレハカシイデヤナイデスカ、サウスルトモウ一ツ進ンデ考ヘルト、百五十億ト云フ金ヲ國民ノ懷ロニ置イテオク、是カラ生活センケレバナラスト云フ準備金デモ置イテオクト云フナラ話ハ分リマスケレドモ、物ノ消費ヲ百五十億ニシテモ宜イ、斯ウ言フ、其ノ物ヲ買ウタ、賣ツタト云フ其ノ

賣ツタ人ガ金ヲ受取ツタト云フ其ノ金ハ何處ニ行クノデスカ、何處ニ行キヤウモナイ、ヤハリ銀行へ預ケルトカ、郵便貯金ヲスル、幾ラカハ懷ロヘ置イテオクデセウ、置イテオクカラ十二月三十一日ノ兌換券發行高ト云フモノハ上ルノデス、其ノ百五十億ヲ引イテ、二百二十億圓ヲ貯蓄シテ、八十億ハ税金ニナル、税金ニナルモノハ是ハ國民生活費デハナイデスカ、私ハ是ハ一家ノ上カラ言ウタラ生活費ニ入ルベキモノダト思ヒマス、ソレガ入ル入ラスハ別ト致シマシテ、結局其ノ八十億圓ト同ジヤウニ百五十億圓ト云フモノモ流通シテ、其ノ流通ノ結果ハドウナツテ行クカト云フト、ヤハリ日本銀行ニ還元シテ行ク金デハナイデスカ、還元シテ行ク時ニハ國民ノ貯蓄ニナツタリ預金ニナツタリスルノデハナイデスカ、ア

ナタノ今ノ御答辯デハ物ヲ買ウテ宜イト言ハレル、物ヲ買ウテ宜イガ、買ウタ金ハ賣ツタ人ガ持ツテ居ルノカドウカ、ソナコトヲシテ居ルト國民ノ懷ロハ紙幣デ一杯ニナツテシマフ、ソレヲ一ツハツキリシテ貰ヒタイ

○氏家政府委員 金ノ廻リ方デアリマスレバ松田サンノ仰シヤルヤウニ廻ルダラウト思フノデアリマスルガ、先程來私ガ申上ゲテ居リマス所ノ國民所得ト云フノハ、金ノ廻リ方ヤ金ノ話デハナイノデアリマシテ

〔宮本委員長代理退席、委員長着席〕
物ノ話ダラウト云フ御話デゴザイマスガ、物ト云フテハ少シ當ラナイノデアリマスケレドモ、物ノ外ニ努力ト云フヤウナモノモ入ツテ居リマスデセウシ、要スルニ吾等ガ生活シテ行ク上ニ必要ナモノ、モノト云ツテモ物ト云フ意味デハアリマセヌノデゴザイマスガ、サウ云フ風ナ考ヘ方ヲ致シテ居リマスカラ、吾等ノ生活ヲシテ行ク上ニ效用ノアルモノ、價值アルモノ、斯ウ云フヤウナ意味、ソレヲ金ニ見積ツタノヲ先程來所得ト呼ンデ御話ヲ致シテ居ルノデゴザイマス

○松田(正)委員 假ニ一家ノ中ニ書生一人ト女中一人ト居ルトシマス、サウシテ書生、ニ三十圓、女中ニ二十圓ヤル、一家ノ生計費ガ五百圓トスルト其ノ中ノ五十圓ハ書生女中ニヤツテシマフ、是ハ生計費デアル、スルト書生ガ受取ツテ十五圓ダケ使ツテアトハ貯金スル、女中ハ二十圓貫ツテ十圓使ツテ十圓貯蓄スル、サウスルトヤハリ貯蓄ニナツテ行ク、國民所得ノ中ノ國民生計費ガ百五十億ト云フコトガ私ハ分ラスト云フノデアル、諄イヤウデスカ、物ヲ百五十億消費シテ宜イト言フガ、百五十億圓ノ中ニハ女中ヤ書生ニヤツタモノモアリ、病氣ニナツテ醫者ニ拂フノモアル、醫者ハ其ノ金ヲ受取ツテ藥屋ヘ拂ツテ、其ノ残リノ金ハト言ヘバ銀行ヘ貯蓄ヲスルノデ、ソコハ還元スルト云フコトハ其ノ通りデアラウト思フ、私ハ金ノコトヲ言ツテ居ルノデハナイ、

物ノコトヲ言ウテ居ルノデアル、ダカラ餘計分ラナクナル、併シ此ノ邊デ宜シウゴザイマス、宜シウゴザイマススケレドモソレハ諒解出來ナイ、ソレト序ニ承ツテ置キタイノデスカ、吾等ノ考ヘデハ、例ヘバ月ニ五百圓受取ル人ガ最低ノ生活ニ甘シテ、其ノ生活費以外ノ殘ツタモノハ全部之ヲ貯蓄スル、此處マデ一億國民ガ行ケバソレデ精一杯ノ貯蓄デアルト考ヘマス、之ニ對スル貯蓄局ノ方ノ御考ヘハドウカ、是ガ一點デス、サウ云フ風ニ考ヘテ見マス、二百二十

億ノ貯蓄ガ今年ハ必要ダ、サウスルト大藏省ノ方デハ其ノ二百二十億ト云フモノヲ各道府縣ニ割當テテ行ク、道府縣ハ其ノ割當ヲ受取ツテ又市町村ニ割當テル、ソレデ結局市町村ガ國民貯蓄ト云フモノヲヤカマシク言フヤウニナル、サウ云フ所カラ考ヘテ行キマス、市町村モ其ノ割當テラレタ額ニ滿ツルダケノ貯蓄ヲサナケレバ責任ガ果セナイコトニナル、ソレデ地方ニ依リマシテハ斯ウ云フ例ガアル、市民税ノ年額ノ三倍ヲ一箇月ニ貯蓄セヨ、或ハ町村民税ノ一箇年分ノ三倍ヲ月ニ貯蓄セヨト言ハレル、其ノ割當デタモノヲ引受ケタ額カラ言フトサウ云フコトニナルサウデス、サウ云フ方針デヤツテ居ル所ガアル、是ハ道府縣ヲ聽合ハシテ見マシタガ、國內ニ可ナリアルヤウデアリマス、サウスルト斯ウ云フコトニナルノデス、假ニ市民税ヲ年ニ八百圓拂ツテ居ル人ガアルト、一箇月ニ二千四百圓貯蓄シナケレバナラスコトニナル、成程平和時代ニハ隨分儲ケタ家デアルカラ市民税ハ相當高イガ、モウ砂糖ノ配給ガナイモノダカラ、今デハ月ニ三日シカ仕事ガ出來ナイノデ、三日仕事ヲシタ其ノ利益ヲ考ヘテ見マス、幾ラ餘計ニ賣ツテ見テモ百五十圓ニシカナラナイ、ソレニ二百四十圓貯蓄セヨト云フコトニナツテ、實ハ争ヒガ方々ニ起キマシタ、ソレヲセヨト云フコトニナツタナラバ、自分ノ家屋敷ヲ銀行ニ擔保ニ入レテ金ヲ借りテ國民貯蓄ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトニナリマス、銀行カラ金ヲ借りテ來テ貯蓄ニ廻スト云フコトニナルト、結局一方カラ借りテ一方ニ行クノデアリマスカラ貯蓄ニナラスノデ、詰リ謂ハバ貯蓄ヲ免レテ居ルト云フ形ニナル、ソレデ

モ表面ハ二百四十圓ヲ竝ベテ行ケバ、能ク貯蓄ヲシテ呉レタト云フコトニナルガ、裏面ヲ調ベルトサウ云フコトヲシテ居ル所ガアルノデアルカラ、政府ハ地方廳ヲ御取調ニナツテ、御監督指導ヲ能クシナケレバナラヌト思フ、是カラ段々ト國民ノ貯蓄ト云フコトが必要ニナツテ來ルノデアリマスカラ、今マデ通りノヤリ方デハイケンイノデハナイカト思ヒマス、若シソシナモノハナイト言ハレルナラバ、此處ニ澤山各府縣ニ實例ガアリマスカラ、ソレヲ申上ゲテモ宜シヤ、ソレヲドウ指導監督ヲシテ行クカト云フコトガ一ツ、ソレカラ下ナタカラカ御話ガアリマシテ、大都市ニハ貯蓄ノ餘地ガアル、地方デハ割合ニマトモニ貯蓄ヲシテ居ルト云フコトガアリマシタガ、是ハ其ノ通りデアアル、昨年ハ荏原區ヲ調べマシタ、今年ハ大阪ノ方ヘ調べニ參リマシタガ、報國債券一枚ヲ十圓デ買ツテ、ソレヲ質屋ニ擔保ニ入レテ八圓五十錢借りテ居ル、ソレカラズツト西ノ方ノ十三縣ノ質屋ヲ歩いて見マシタ所ガ、彼此レ三十一萬幾ラノ報國債券ガアツタ、サウスルト報國債券ヲ一枚十圓デ買ツテ、ソレヲ質屋カラ八圓五十錢借りテ來タノデハ一圓五十錢シカ國民貯蓄ノ中ニ入ツテ行カヌ譯デス、一圓五十錢シカ吸收サレテ居ラナイ、而モ報國債券ハ質屋ニ置イテアルノデスカラ、當籤權ハ持ツテ居ル、是ハ一圓五十錢ヲ博突ラシテ居ルヤウナモノデアアル、是ハ大都會ニ多イ、地方ニ行ツテ御覽ナサイ、恐ラクソシナモノハアリマセヌ、又ヤツタラ直グニ分リマス、コンナコトハ幾ラデモアリマスガ、政府ノ方モモウ少シ之ヲ考ヘテ戴キタイ、政府ハ貯蓄ハ強要ハシナイト仰シ

ヤルケレドモ、先ニ申シマシタ如ク何トナク心境ヲ惡クシテ貯蓄セシメルト云フヤウナコトヲナサラズ、大都會ニ於テハサウ云フ博突ヲスルヤウナ貯蓄債券若シハ報國債券ノ賣買ヲサセナイヤウニ、何カ取締方法ガナイノデアラウカ、事實ガ斯クノ如クニナツテ居ルノデアリマスカラ、取締ノ方法ガナケレバナラヌ筈デアリマスガ、之ニ對スル所見ヲ承ツテ置キタイ、現在郵便局ニ預ケテアル貯金ノ通帳ト判ヲ持ツテ行ツテ、是デ報國債券ヲ五枚賣ツテ下サイト云フコトヲヤツテ居ル、ソレハ地方デモ折見ル所デアリマス、郵便貯蓄ニシテアル金ハ所謂國民ノ貯蓄デアツテ、是ハ年々殖エテ行クガ、國民ハ今マデ貯金シタ金ヲ引出シテ報國債券ヲ買ツタリ、貯蓄債券ヲ買ツタリ、支那事變公債ヲ買ツタリシテ居ル、是デハ何ニモナラヌノダ、ソコヲ認識セヨト云フコトヲナゼ政府ハモウ少シ徹底シテオヤリニナラヌノカ、一方ニ郵便局ノ貯蓄ヲ引出シテ報國債券ヲ支那事變公債ヲ買ツテ、何ノ貯蓄ニナリ何ノ公債ノ消化ニナリマスカ、一方ニハ貯蓄ガ減ツテ居リ、一方ニハ公債ガ賣レテ居ルノデハ何ニモナラヌ、是ハ地方ニ於テモ随分アリマス、況ヤ大都會ニ於テハ相當アルデアラウト思フ、コンナヤリ方デハ——國民貯蓄ハ二百二十億ダトカ言ツテ居リマスガ、果シテ現在ノ儘デ是ガ出來ルカドウカ、成程國民ハ十二月八日ノ大東亞戰爭ノ戰果ヲ見テ、アノ戦ヒニ敗ケテ居ツタナラバ今吾々ハコンナ呑氣ナコトヲ言ツテ居ラレカ居ラレナイカ分ラナイ、モウ今頃ハ敵ノ飛行機ガ來襲シテ、吾々ハ爆彈ニ中ツテ死ンデ居ルカモ知レナイ、ダカラ今カラ考ヘレバ、吾々ハ此

ノ大東亞戰爭ノ戰果ヲ見テ、吾々ノ命ハ是デ二代目ダ、セメテ貯蓄デモシヨウデヤナイカト言ツテ居ル者モ大分アリマス、今御話ノ如ク大東亞戰爭ガ起ツテカラ貯蓄ノ成績ガ好イト云フノハ是ナンデス、ケレドモ階級ノ上カラ言フト、階級ノ上位ノ者ニ斯ウ云フコトヲスル人ガアルカ、下々ノ階級ニ於テ多イカト云フト、寧ロ下々ノ者ガ多ク、上流者ニハ少イ、之ヲドウナサルカ、其ノ御方針ヲ伺ヒタイ

ソレカラ國民貯蓄ヲナサシメル一ツノ方法トシテ郵便切手貯金トカ云フモノヲ作ラレルト云フ、是モ零細ナル貯蓄ヲ集メル一ツノ方法デアリマセウカラ、其ノ考ヘヲ惡イトハ申シマセヌ、昨年度ハ所謂昭和十六年一月一日カラ昭和十六年十二月三十一日マデノ國民貯蓄ガ是ダケアツタガ、今度ハ公債ノ發行モ殖エルシ、産業資金モ殖エル、ソコデ二百二十億ノ貯蓄ヲシナケレバイケナイ、サウシマス昭和十七年度ハドレダケ國民貯蓄ヲ殖ヤシタラ宜イカ、斯ウ云フコトニナルガ、其ノ御考ヘヲ持ツテオイデニナリマセウ、貯蓄ヲ昨年度ヨリ殖ヤスニハ十六年ノ十二月三十一日マデニ貯蓄シテ、昨年中ニ成績ヲ擧ゲタ貯蓄額ハ之ヲ凍結シテ、昭和十七年一月一日カラ貯蓄、或ハ昭和十七年四月一日カラ貯蓄ヲソレヨリ更ニ幾ラサセタラ宜イカト云フコト、ソレヲドウ云フ方法デオ殖ヤシニナル御考ヘデアルカ、地方デハソレヲドシナ風ニナサルカト云フコトニ對シテ不安ノ念ニ驅ラレテ居ルガ、ソレヲドウ云フ風ニシテナサルカ、取敢ズソレダケ伺ツテ置キマス

○氏政府委員 第一點ハ百五十億圓ノ生活費ト云フモノニ付テ十分納得ガ行カヌト云フ御話デゴザイマシタガ、大體ソレハ百五十億圓ニ相當スル所ノ物資トカ、勞力トカ、色々ノ「サービス」トカ云フヤウナモノハ、各人ガ生活ノ爲ニ使ツテモ宜シイ部分デアルト云フ意味ナノデアリマス、残りノ部分ガ生産擴充ノ爲ニ使ハルベキ物資、勞力、「サービス」ト云フヤウナモノト、ソレカラ政府ガ政府事業ノ爲ニ使フベキソレ等ノモノ、斯ウ云フ風ニ分ケラレルト云フ意味ニ御考ヘヲ戴イタナラバ、ドウデアラウカト思フノデアリマス、併シハ非常ニ複雑ナ入ツタ問題デアリマスカラ、大體此ノ程度ニ致シテ置キマス

次ノ問題ハ目標額ト云フモノヲ國デ決メテ、更ニ道府縣ニ割當テテ、ソレガ市町村ニモ割當テラレル、細カクハ各一戸々々ニモ割當テラレテ居ル、其ノ割當方ガ市民稅ニ基礎トシテ其ノ何倍トカ云フヤウナコトニナツテ居ルノデ、非常ニ無理ガ行クヤウデアルガ、ドウカト云フ御話デゴザイマシタガ、國民貯蓄ノ増強ノ爲ニ此ノ目標額ヲ立テマシテ、ソレヲ目當トシテ邁進スルト云フ方法ガ此ノ支那事變始ツテ勿々ノ際カラ執ラレタノデアリマスガ、ヤハリ貯蓄増強ノ爲ニハ此ノ方法ガ一番ニ效果ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、隨ヒマシテ目標ノ滲透化ト云ヒマスカ、單リ國ガ目標ヲ持ツノミナラズ、府縣モ町村モ、或ハ各個人々々モ自分ハ本年內ニドレ程ノ貯蓄ヲヤラウカト云フ大體ノ目標ヲ立テ、ソレニ依ツテ進ンデ行クト云フヤウナ方法ハ、是ハ益、今後普及徹底サセル必要ガアルト考ヘテ居リマス、但シハ一應ノヤリ方デゴザイマシテ、一遍決メタ所ノ割當ハ、是ハ何處マデモ強行シナケレバナラヌトカ、サウ

云フヤウナ意味ノモノデハアリマセス、各人ガ今後貯蓄ヲヤツテ行ク上ニ、ヤハリサウ云フヤウナ目標ト云フモノヲ各、自分ノ收入トカ或ハ生活状態トカ、サウ云フヤウナモノヲ考ヘテ自發的ニソレノ立テル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ進シテ行カナケレバナラナイト思フノデアリマス、承リマス、此ノ目標額ノ市町村ナリ或ハ個人ナリニ小分けサレタ部分ニ行キマス、非常ニ資力ニ相應シクナイヤウナコトヲヤツテ居ルモノアルト云フ御話デゴザイマス、是ハ私共モ時々耳ニスルコトデアリマス、今後大イニ改善シテ行カナケレバナラス點デアルト考ヘテ居リマス、從來目標額ノ立テ方、其ノ割方ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、言ハバ多少投ゲヤリト云ツタ風ニ考ヘラレルヤウナ節モアリマシタノデ、今後ハ吾々モ、又地方ニ於キマシテモ、十分此ノ點ニハ注意ヲ致シマシテ、サウシテ無理ノナイ目標額ト云フヤウナモノヲ立テル、又一旦立テタ目標額ト云フヤウナモノデモ其ノ者ノ事情之ヲ強行スルコトガ無理ト云フコトガ分ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレノ事情ニ應ジテ適當ナ斟酌ヲ加ヘテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ行キタイト思フノデアリマス

次ニ報國債券ヲ十圓デ買ツテ籤ヲ一回引イタ後直グ八圓五十錢デ賣ツテシマフ、斯ウ云フコトヲスルノニ政府ハナゼモウ少シ趣旨ヲ徹底スルヤウニ説明ナリ何ナリシナイカト云フノ非常ニ激勵ラシテ戴イタノデアリマスガ、是ハ洵ニ御尤モナコトデアリマシテ、之ヲ此ノ儘放ツテ置クト云フヤウナ考ヘハ私共モナイノデアリマシテ、頻リニ債券ノ買入ヲ奨メル其ノ時カラ無理ノナ

イヤウナ獎メ方ヲスルヤウニ、上役カラノ命令ダカラト云フヤウナ譯デ、ドウモナラヌ、金ヲヤリ繰シテ買フト云フヤウナコトガナイヤウニト云フヤウナ注意ヲ常ニ致シテ居ル所デアリマスガ、尙ホソレ程ノ必要ガナイニシマシテモ、之ヲ手許ニ持タシテ置クト云フヤウナコトニ致シテ置キマス、人間ノ弱點デ兎角之ヲ賣リタイト云フヤウナコトニナリマスカラ、成ベク保管ヲ委託サセルト云フヤウナ方法ヲ獎勵シテ居ル積リデアリマス、尙ホ郵便貯金ヲ下シテ報國債券ヲ買ハセル、ソレデ何ニナルカ、十圓ノ貯金ガ減ツテ、サウシテ十圓ノ報國債券ヲ手ニ持ツト云フヤウナコトデハ國民全體ノ貯蓄ノ上カラ何得ル所ガナイデヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ場合ニ依ツテハサウ云フコトモ認メナケレバナラス時モアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、中々月ニ十圓ト輕ツタ金ヲ得ラレナイ、ガ併シ自分モヤハリ報國債券ト云フモノヲ買ヒタイト云フ者ガ、毎月郵便貯金デアリマスナラバ二圓デモ三圓デモ出來ルノデアリマスカラ、ソレヲ積ンデ置キマシテ、愈々十圓ナリ五圓ニ達シタト云フ時ニ其ノ貯金ヲ下シテ債券ヲ買フト云フヤウナコトハ、是ハ別ニ止メル必要ハナイ、初メカラ其ノ豫定デヤツテアル貯金ナノデアルカラ寧ロ獎勵シテモ宜シイデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯或ハ隣組ノ組長サンニ勸メラレタトカ、或ハ町内會ノ役員ニ勸メラレテ斷リ切レナカツタカラト云フヤウナコトノ爲ニ、一方デサツサト貯金ヲ下シテサウシテ債券ヲ買フト云フヤウナコトハハ餘リ私共ノ方トシテハ感心シナイ方法デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、

尙ホ最後ノ御尋ネハ一寸御趣旨ヲ或ハ取違ヘテ居ルカモ知レマセヌデスガ、假ヘバ十七年ノ貯蓄ニ付キマシテハ十六年マデノ分ハ其ノ儘凍結シテシマツテ、サウシテ十七年ノ一月一日カラノ分ヲ計算スルヤウニセヨ、斯ウ云フヤウナ御話カト思フノデアリマスガ、別ニ前年マデノ分ニ付テ特別ノ措置ヲ執ツテ、居ル譯デハアリマセヌケレドモ、私共百三十五億トカ百七十億トカト云フ時ニハ、前年マデノ貯蓄ノ上ニ増加シタ其ノ貯蓄ヲ計算スル、斯ウ云フ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、ソレデ別ニ支障ガナイヤウニ思ツテ居ルノデアリマス

○松田(正)委員 委員長アナタ御辛抱デスガ、何時頃マデオヤリニナルノデスカ、私ハドウデモ出來マスガ……

○由谷委員長 一應君ノ片ガ付クマデヤラウデヤナイデスカ、大藏省全般ニナルト遅クナルカモ知レヌガ、一問題ノ片ガ付クマデヤリマセウ

○松田(正)委員 私ノ言フコトガ能ク分リニクカツタカモ知レマセヌカラ、モウ一應申上デマス、報國債券ヲ買フト云フノハ、ソレハ賣ルノデハナクシテ質屋ヘ入レテ置クノデス、當籤權ハ持ツテ居ル、ソコガ博打デヤナイデスカ、賣ツテシマフノデハナイ、ソレヲ質屋ヘ入レテ置クト當籤權ヲ持ツテ居ルノデス、所有權ハナイガ、占有權ハアル、ダカラソレガ當籤權ニ當レバウシト儲カル、ソレヲ一圓五十錢デヤツテ居ル、ソレガ博打ダト云フノデス、ソレヲ止メサセナケレバイケナイ、ソレカラ郵便貯金ヲ引出シテ報國債券ヲ買フ、ソレハ絕對イカンコトハ申シマセヌケレドモ、效果ヲ舉ゲルコトハ出來マスマイ、一方デ預金ヲ出シテ

一方デ債券ヲ買フノデスカラ效果ハ舉ツテ居ルト言ハレマセヌケレドモ、實ハ效果ガ舉ツテ居ラン、所デ一方利息ノ方ヲ考ヘテ見マスルト、支那事變公債ニシテモ三分五厘郵便貯蓄ハ二分六厘七毛、大分其ノ間ニ開キガアル、今郵便貯蓄ニアル金ヲ公債ニ全部振替ヘテシマツタトシタラ、ドレダケノ損ガ損ニナルカ、是ハ大キナ金ニナリマス、ソレヲ考ヘテ見ルト、郵便貯金ハ郵便貯金デヤラシテ置クノガ宜イ、其ノ上ニ今月ハ郵便貯金ヲ止メテ支那事變公債ヲ買ハウデヤナイカ、報國債券ヲ買ハウデヤナイカ、是ハ宜イノデス、何カ是等ニ付テ方法ガアリサウニ思フノデスガ如何デセウ

ソレカラ一番終ヒノ問題、昨年ノ貯蓄ハドレダケダ、今年ノ貯蓄ハ豫定額ハ是ダケダカラ、昨年ノ貯蓄ヲ超エテ是ダケ殖ヤサネバナラス、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、昨年ノ標準ダケハ各府縣ニ割當テテ、今年ハ今年デ殖エタダケ又道府縣ニ割當テテ、道府縣カラ又各市町村ノ方ニ是ダケノ責任ヲ負ヘト云フ、同ジヤウガ行キ方デ行クノデスカ、他ニ何カ妙案デモアルノカト云フコトヲ聽イテ置キタイ、ナケレバナイ、此ノ儘デアルノダト言ウテ貰ヘバソレデ結構デス、ソレト各府縣ヘ割當テル、ソレヲ市町村ニ割當テル、割當テテ道府縣ノ係員ハソレヲ放ツテ置ク、ソレデ早ウヤツテ來イトヤカマシク市町村ヘ言フダケデハ、一寸モ自分ガ出テ行ツテ御手傳ヒスルコトハシナイ、偶々行クト高い旅費ヲ取ツテ、忙シイ人ヲ集メテドサント納マツテ居ル、ソレデアルカラ結果ガ悪い、是モ一ツ何カ考ヘヤウハナイノデスカ、一生懸命汗水カイテヤツテ居ルノハ隣組長ト市町

村長デアル、是カラズツ殖エテ行クモノニ對シテヤハリ此ノ筆法デオヤリニナル考ヘカ、何カ他ニ考ヘラレテ居ルカ、之ヲ伺ヒタイ

○氏家政府委員 郵便貯金ト報國債券ヤ國債トノ關係ノコトヲ御尋ネデゴザイマスガ、郵便貯金ハ申上ゲルマデモナク當座式ノモノデゴザイマス、出シタリ入レタリスルノガ通常ト言ヘバ言ヘル性質ノモノデゴザイマス、ソレデ郵便貯金ヲ下シテ債券ヤ國債ヲ買ツテモ、貯蓄ノ増加ト云フ點カラ言ヘバ效果ハナイヤウデアリマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウナ譯デ質的ニハ貯蓄トシテハ確力ニ強化サレテ居ルト思フノデゴザイマス、ソレデ郵便貯金ニナツテ居リマスモノヲ債券ナリ國債ナリヲ買ツテ、之ヲ郵便局アタリニ保管サセル、斯ウ云フコトニ致シマス、郵便貯金トシテ直グ出シ入レノ利クヤウナ狀態ニシテ置クヨリハ、國民貯蓄トシテハ望マシイ方法デアルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

尙ホ貯蓄増加目標額ノ割當ノ方法ハ、別ニ今マデヤリマシタコトト大シテ變ツタヤリ方ヲヤラウトモ考ヘデ居リマセス、先程申上ゲマシタヤウニ色々割當額ヲ決メマス上ニ付テ標準トシ、尺度トスルモノ、是ハ餘程從來ヨリハ考ヘ方ヲ變ヘマシテ、サウシテ各地方々々或ハ各市町村等ノ資力ニ相應シタ目標額ガ出來上ルヤウニ指導ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス、但シ大キナ額ヲ割當テソレデ能事畢ツタカノヤウニ考ヘテ居ツテハ困ル、何カ他ニ方法ガアルカト云フ御話デゴザイマスガ、其ノ方法ハ先程御尋ネガアリマシタヤウナ譯デ、色々法律ノ改正或ハ豫算ノ經費ヲ計上スルト云フ

ヤウナ手段ヲ執ツテ居リマシテ、ソレ等ノ法制ヤ經費ヲ活用致シマシテ、從來以上ニ力ヲ入レテ行キタイト思ツテ居リマス、御話ノ通り府縣ノ官吏ガ非常ニ貯蓄ニ付テ不熱心ダ、躍起トナツテヤツテ居ルノハ町村長カ或ハ部落ノ役員ダケデアル、是デハ困ルデヤナイカト云フ御話、是ハ非常ニ御尤モナコトデゴザイマシテ、サウ云フ所モアルカモ知レマセスケレドモ、私共府縣ニ參リマス、中ニハ實ニ感心ニ能クヤツテ

吳レテ居ルヤウナ場合モ非常ニ多イノデアリマス、府縣ニ依リマシテハ總務部ノ或ル一ツノ課ダケデナク殆ド全縣廳ノ總員ヲ擧ゲテ、色々ナ貯蓄推進ノ組織ヲ作りマシテ、中々熱心ニヤツテ居ラレル所ガ相當多イヤウニ思フノデアリマス、但シ今マデ貯蓄ニ付キマシテノ地方ノ陣容ガ非常ニ不十分デアツテ、ソレヲ專擔スル職員ガナカツタト云フヤウナ點ハ、是ハ御話ノ通りデアリマシテ、十七年度ニ於キマシテハ、ソレヲ點ニモ十分注意致シマシテ、相當ノ豫算モ計上致シテ居リマスカラ、地方廳ニ於ケル陣容モ十六年度ヨリハ遙ニ充實サレルト思ヒマス、尙ホ各道府縣ニ於テ中間機關ヲ設置スルト云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ中間機關ガ又貯蓄ト云フコトニ付テ相當働イテ呉レルト云フ豫定ニナツテ居リマスカラ、御話ノヤウナ缺點ハ餘程改善サレルノデハナイカト思ツテ居リマス

○松田(正)委員 中間機關ハ大變結構ト思ヒマス、サウシテ全國津々浦々カラ貯蓄ノ獎勵員ガ出來ルト思ヒマスガ、ソレニ付テノ人選ハ中々難カシイト思ヒマス、兎ニ角此ノ種ノ人選ニ付テハ地方ノ資産家ナドヲ選ビ易イノデスガ、ソレデハ成績ガ舉ラナ

イト思ヒマス、今日貯蓄ヲ免レヤウト云フヤウナ考ヘハ勿論アリマスマイケレドモ、ドウモ貯蓄ハ大變ナコトダト心中デ考ヘテ居ルノハ資産家ニ多イト思ハレマスノデ其ノ人選ニハ十分ノ御注意ヲ願イタイ、ソレカラ今年ノ貯蓄目標ハ相當殖エルヤウナ趣キニ伺ヒマスガ、先ヅ大イニ貯蓄ヲセシムルニ付テハ、各人ノ收入カラ最低ノ生活費ヲ扣除シテ、其ノ餘力ノ分ハ悉ク貯蓄セヨト云フヤウナ目標ヲ立テ行カネバナラ

ナイト思ヒマス、サウシタ場合ニ於テ五千圓ノ年收ノ者、又一萬圓ノ年收ノ者、更ニ何十萬圓、何百萬圓ノ收入ノアル者モ、最低生活ニ甘シズルト云フコトニナツタナラバ、私ハ二百二十億ヤ二百三十億ノ貯蓄ハ何デモナイト思フ、一家ノ生計費ナドト云フモノハ年ニ一萬圓ノ收入ノアル者デモ、家族十人ヲ支ヘテ行クノニ一箇月三百五十圓位デ足りルト思ヒマス、サウスルト月收ニシテ大體八百八十圓入ルトスレバ五百圓ヅツノ貯蓄ガ出來ナケレバナナイト云フコトニナル、ソレガ貯蓄サレナイノハ何處ニ使ハレテ居ルカ、是ハ料理屋ニ拂フトカ、贅澤品ヲ買フトカ云フ方面ニ費消サレルノデハナイカト思フノデ、サウ云フモノヲ止メタラ私ハ二百二十億ヤ二百三十億ノ貯蓄ハ易々タルモノデアルト考ヘマス、然ルニ之ヲヤツテ居ラナイ、假ニ一億國民ガ一日二十錢ヅツ貯蓄スレバ一年ニ三十六億五千萬圓ノ貯蓄ガ出來マス、若シ多額ノ收入ノアル者ガ眞ニ此ノ國難ヲ突破シナケレバナラスト云フ時局認識ニ徹シタナラバ、ズツト上ノ收入アル者ハ一日ニ百圓位ノ貯蓄ノ出來ル人モアルデセウ、又其ノ下ニナツテ一日ニ十圓貯蓄ノ出來ル者、五圓貯蓄ノ出

來ル者、極ク最低ノ者ガ一錢トシテ、此ノ平均ヲ一人一日一圓ヅツノ貯蓄ヲスルト致シマスレバ年ニ三百六十五億圓ノ貯蓄ガ出來ルコトニナリマス、是ハヤリ方ニ依ツテハ出來ナイコトハナイト思ヒマス、假ニソコマデ行カナクテモ一人一日平均二十錢ヅツトシテモ七十何億ノ貯蓄ハ出來マス、此ノ筆法ヲ以テヤレバ今ノ所得ノ上カラ考ヘマシテ相當ノ貯蓄ハ出來ルト思ヒマスガ大藏省ノ方デハドウ云フ御考ヘデアリマスカ、私ノ言フコトハ出來ルト思ヒマスカ、出來ナイト思ヒマスカ

○谷口政府委員 先程カラ松田サンノ御話ハ國民貯蓄獎勵ノ促進的ノ御話ト拜聽致シタノデアリマスルガ、只今ノ仰セノ中デ、此ノコトニ關係スル方々ノ人選ノ問題ト云フコトヲ御話ニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、是ハ將來貯蓄當局ニ於キマシテモ能ク注意ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ色々貯蓄ノ工夫ニ付キマシテ、一年間ニ如何程ノ經費ガ要ルカ、或ハ一世帶當リデドレダケノ經費ガ要ルカト云フコトノ最低ノ基準ヲ設ケマシテ、ソレ以上ヲ起スモノハ全部貯蓄ニ向ケル、斯ウ云フヤウナヤリ方ハ確ニ一ツノヤリ方デアルト思フノデアリマス、最低ニ生活シテ行クニ付キマテ、果シテ幾許要ルカト云フ問題ニ付キマシテハ、貯蓄獎勵局ニ於テモ先年來其ノ方向ニ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ之ヲ發表致シマスノニ付キマシテハ、又之ヲ實踐運動ニ移スノニ付キマシテハ、相當自信ヲ得ナイ上ハ致シ兼ねルヤウナ點ガアルノデアリマシテ、マダ之ヲ實踐ニ移スマデノ運ビニ至ツテ居ラナイノデアリマス、更ニ其ノ方面ノ研究方法ト致シマシデハ、

最低生活費以外ノ殘ツタ所ヲ全部貯蓄ニ振
向ケルト云フコトガ、國民全體同一デアツ
テ宜イカ惡イカ、ヤハリサウ云フ最低ノ標
準ト云フモノヲ幾通りニモ作ル必要ガアル
ノデハナイカ、一色ニ塗リマスカ、或ハ三
色、四色、五色、更ニモツト多クノ色合デ
其ノ最低ノモノノ標準ヲ作ルカ、是等ヲ實
踐ニ移スニ付キマシテハ、愈トナリマスル
ト中々非常ニ難カシイ點ガアルノデアリマ
ス、併シ只今御指摘ニナリマシタ方向ハ、
吾々モ其ノ方向ニハ向イテ行キタイト云フ
コトヲ考ヘテ居リマシテ、從來貯蓄ノヤリ
方ト致シマシテハ、先程モ問答ガアリマシ
タガ、唯々演說或ハ抽象的ニ其ノ事ヲ獎勵
シテ行クヨリハ具體的ナ標準ヲ示シテ、斯
ウ云フ理窟デ是ダケノモノデ、アト殘ツタ
モノハ貯蓄ヲスルト云フ風ニ具體的ニ進
デ行カナケレバ、ドウシテモイケンタイト云
フコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ又
松田サンガ最後ニ仰セニナリマシタヤウ
ニ、或ハ一人一日ト云フコトノ御話ガアリ
マシタガ、是モ亦具體的貯蓄方法ト云フ一
例ト致シマシテ御示シニナツタモノト思フ
ノデアリマス、具體的ナ貯蓄方法ヲ執ルト云
フコトニ付キマシテハ、全ク同感デアリマ
シテ、今後一層ノ努力ヲ致シマシテ、只今
未完成ニ屬シテ居リマスルヤウナ構想ヲ實
踐ニ移シマシテ、貯蓄ノ效果ヲ擧ゲテ行ク
ト云フコトニ進ミタイト思フノデアリマス

○川俣委員 一寸關聯シテ御尋ネシテ置キ
タイノデアリマスガ……

○由谷委員長 川俣君

○川俣委員 「ボスター」ヤ立看板ヲ見ルト
「二點十億、十點百億」ト云フ看板ガ出デ居
リマス、ソコデ問題ハ消費規正ノ點カラ致

シマシテ、アア云フ看板ガ出デ居ルノハ大
變結構ダト思ヒマスケレドモ、一體物資ノ
不足ナ時ニアア云フ看板ニ金ヲ掛ケラレル
ヨリハ、モツト效果のナコトヲ狙ハレタ方
ガ宜イノデハナカラウカト云フ點ガ一點、
尙ホ具體的ニナリマスルト相當切符ヲ握ッ
テ隣組或ハ地方等ノ意見ヲ具サニ聽イテ見
マスルト、此ノ點數制ノ切符制ヲ如何ニ利用
スルカト云フコトニ付テ相當關心ヲ持ツ
テ居ルヤウデアリマス、殘シタラドウカト
云フヤウナ意見ト、殘ツテモ無駄ダト云フ
ヤウナ意見ト色々分レテ居リマス、ソレデ
之ヲ殘シタ場合ニハ特段ノ配慮ヲスルト云
フヤウナコトガ消費規正ノ上カラシテ非常
ニ必要デハナイカ、唯「ボスター」ニ依ッ
テ「一點十億、十點百億」ト云フヤウナコトヨ
リモ、百點アル點數ノ内一點殘スナラバ、
其ノ切符ヲ以テ貯蓄シタ場合ニハ利廻ガ好
イトカ、或ハ其ノ切符ヲ以テ切符ト引換ニ
ヤル、當籤率ノ良イ債券ヲ發行スルトカ云
フコトト相兼ネテ參リマスレバ、消費規正
ノ目的ガ非常ニ進捗シテ來ルノデヤナイカ、
現在ノ所ハ百點ハ百點ニ使ハレルヤウナ狀
態ニアルト思フノデアリマス、ドウカシテ
此ノ百點ヲ或ル程度、二割ナラニ割減ジサ
セル、或ハ三割ナラニ割減ジサセル、百點
ヲ八十點ナリ七十點デ國民ヲ消費規正ニ向
ハシメル、其ノ二十點ナリ三十點デ國民ノ
貯蓄ニ向ハシメルトスルナラバ、或ハ利廻
ノ良イ貯蓄トカ、或ハ特別ノ債券ト云フヤ
ウナ、切符ト貯蓄、貯蓄ト債券ト云フモノ
ヲ引換ニシテ之ヲ吸收スル方策ヲ大藏省デ
考ヘラレテ居ルカドウカ、又考ヘル必要ガ
アルト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御
意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ御話ハ只今ノ所考
ヘテ居リマセス、併シ良イ御考ヘダト私ハ
思フノデアリマス、此ノ衣料ノ切符制ニ付
テハ供給ノ方面トノ關係上一年限リト云フ
コトノ目標ニナツテ居ルヤウデアリマシテ、
繰越關係ノ問題ハ解決ハサレテ居ラナイヤ
ウニ承ツテ居ルノデアリマス、併シソレガ
爲ニ、一年間ニ兎モ角モソレダケノモノヲ
使ツテシマツタ方ガ宜シイト云フヤウナ關
係ニナルコトハ、好マシクタイト云フニト
ハ私モ同感デアリマス、此ノ點ニ付キマシ
テハ單ニ衣料ノミナラズ、其ノ他生活必需
品ニ付キマシテ割當テラレテ居ルモノガア
ルノデアリマシテ、是ガ割當テラレタダケ
ハ是非使ツテシマハウト云フコトデハ物足
ラナイ感ジガアルノデアリマス、最近ニ於
キマシテハ吾々ノ方面ニ於キマシテモ、墜
ニ付キマシテヤハリ通帳ノ制度ヲ執リ始メ
マシタノデ、吾々ノ關係ノ方面ニ於キマシ
テモ段々實感ヲ伴ツテ參ツタノデアリマス
ガ、御氣付ノ點ハ確カニ一ツノ着眼點ダト
思フノデアリマス、現在ハ其ノ點ニ付テ工
夫ヲ凝ラシテ居リマセスケレドモ、段々サ
ウ云フ方面ニモ工夫ヲ凝ラシマシテ、消費
ノ規正ト云フコトノ獎勵ト、ソレニ伴ツテ
貯蓄ト云フモノガ出來タ場合ニ特殊ノ待遇
ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、今後大
イニ研究致シテ見タイ、左様ニ考ヘルノデ
アリマス

○由谷委員長 宜シウゴザイマスカー！ソ
レデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明
日ハ午前十時カラ開會致シマス、尙ホ今朝
開會ノ初メニ申上ゲマシタ大藏大臣ノ出席
デアリマスガ、今尙ホ確答ガアリマセス、
大藏省ノ政府委員ノ諸君デ御心配願ヒマシ

テ、委員長トシテハ明日午後是非御出席セ
ラレルヤウニ御願ヒシテ置キマス
午後四時十分散會

昭和十七年二月七日印刷

昭和十七年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局